

---

第3章 文化会館における舞台芸術活動の実態

---

## 1節 はじめに

本章は、各種の実態調査を通して我國の舞台芸術の活動状況の概況を把握し、それと、文化会館とのかかわり、あるいは問題点を抽出することを主題とする。

まず、2節「東京都における舞台芸術活動と文化会館」では、極度に中央集権化している我國の舞台芸術活動の拠点としての東京に焦点をあてその舞台芸術活動がいかに行われているかを把握することを目標とした。ただし、資料の都合により、舞台芸術全体から音楽活動および広義の演劇活動を対象とした。この目的のため情報紙「ぴあ」の昭和55年1年分の演劇活動をその公演場所、公演回数、公演期間、入場料金などについて分析した。そして、特に民間のホールや劇場と文化会館を含む公共ホールにおける広義の意味での演劇活動の相違点などを明らかにした。

次に3節「世田谷区内の区民会館の利用実態」では、2節の調査を受けて、さらに細かい範囲で、東京における文化会館的な公共施設の利用実態を調査したものである。なお、調査地区として選定した世田谷区は、民間施設を利用した舞台芸術活動と公共施設を利用した舞台芸術活動がともに活発に見られる地域である。本調査の対象は、世田谷区のもつ4つの公共ホール施設である世田谷区民会館、鳥山区民センター、玉川区民会館、砧区民会館である。これらの施設での各種舞台芸術の利用状況を把握することを主題とした。

第4節「地方を主体とした文化会館の利用・運用・管理実態」では、2節、3節の考察が主として、東京という舞台芸術の集積地域の考察であったのを補足する形で、地方の文化会館の利用状況、あるいはそれと舞台芸術のかかわり方を考察したものである。本節は、文化会館の管理者の集まりである関東甲信越静公立文化施設協議会の協力を得て行った施設管理実態調査を主軸として分析を行っている。従って、その内容は、どちらかというと管理者サイドの問題が、多く抽出されている。

5節では、上記の各種調査、特に4節の管理者サイド主体の調査を

補足する意味も含めて、現在、フオー、あるいはセミフオーとして活動している劇団に対してアンケート調査を行い、その活動の概況、そして、文化会館を含む公共ホールとのかかわり方を分析、検討したものである。

これら2節から5節までの調査を通して、先の2章に見た、文化会館やそれをめぐる文化行政のかかえる諸問題の具体的な状況を把握した。そして、最後に6節でこれらの問題の要因を整理して、今日の文化会館の現状に対する批判的な総括を行い、今後解決すべき課題を提示した。

## 2節 東京都における舞台芸術活動と文化会館

### 1) 調査の目的、対象、方法等

#### 1)-a) 調査の目的と対象

本調査の目的は、東京都における舞台芸術の概況を、主として活動の場という観点から把握し、さらに、その中で、文化会館を含む公共ホールがいかなる役割を果しているかを考察するものである。

調査の対象としては、昭和55年1月～12月まで1年間に情報紙「ぴあ」に掲載された広義の意味での演劇活動を対象とした。

情報紙「ぴあ」には「PLAY(演劇)」という部門が設けられており、それは、さらに「演劇」「舞踊」「マイク」「語り」そして「劇場」「寄席・演芸」「能狂言他」「テレビ中継」という項目に分割されている。本調査は、その中で「演劇」「舞踊」「マイク」「語り」「劇場」の項に昭和55年1月～12月までに掲載された活動を全て拾い出したものである。

「寄席・演芸」、「能狂言等」は、対象からははずしたが、上記の対象として取り上げた項目の中に含まれているものは、取捨の判定が客観的にしにくいための便宜上、対象の中に含めた。クラシックやポップラー音楽の活動は、一部の劇場活動の一環として行われた特殊なケースものをいって対象に含まれていない。ただし、オペラ活動については、その性格上、音楽コンサートよりはむしろ演劇に近く、本論文における考察には、重要な対象であるにもかかわらず、情報紙「ぴあ」の「PLAY」部門には含まれていない。そこで、やむを得ず

\*1)  
『演奏年鑑'80』  
『演奏年鑑'81』  
日本演奏連盟編

\*1) 『演奏年鑑』及び『音楽新聞』により補足してデータに加算した。

上記のように対象が特定の情報紙、しかも、主たる演劇活動にあらかじめ限定された調査であり、その範囲で有効な調査であることをあらかじめ確認しておいた。

## 1)-b) 調査対象の位置づけ

調査の内容に入る前に、11つたい情報紙『ひあ』に掲載された演劇活動が、東京における全演劇活動においてどの位置を占めるもので、本調査の結果までのような枠組の中で把握のしやすさを明確にしておかねばならないであろう。

東京及びその周辺地域において一般の愛好者が演劇活動についての情報を得る方法には、知人の紹介、劇団からのダイレクトメール、新聞情報等いろいろあるが、現在では、情報紙が伝達機関として大きな役割を担うようになってくる。そして、東京及びその周辺地域の演劇情報の最も充実した情報紙のひとつが『ひあ』である。不特定で、広域の観客を対象とする公演はアロの活動はいうに及ばず、アマチュアの活動も、必ずといって良い程、こうした情報紙に上演案内が掲載される。11わんや、興行活動として利潤をあげる目的の公演はほとんど、全て掲載されていると考えて良いであろう。しかし、反対に、ある特定の会員のみで公開するような催し物は、掲載されていないとみるべきである。

## 1)-c) 調査の方法

調査は次のプロセスによって行った。

1) 昭和55年1年間に掲載された演劇情報を整理し、重複分をのぞきかつ、東京都内で上演されたもののみ選別した。ひとつの演目ごとに1ケースとした。従って、10回公演した演目も、300回公演した演目も一サンプルとして同様に扱っている。

2) ひとつひとつのケースを、その公演場所ごとにケループングしこれらの場所について、所在地、客席数、場所の性格について、電話によるヒアリングを行い、データの確認を行った。

3) それぞれのケースごとに、地域、公演場所の種類、上演種目の種類、客席数、最高料金、最低料金、公演回数についてデータを行い、種々の統計処理を行った

ここで抽出された全ケースの数は2342ケースであった。

## 2) - d) 上演種目及びホールの種分け

調査の分析にあたり、上演種目は次のように種分けした。

細かい分析は、①オペラ、②舞踊、③演劇・ミュージカル、④人形劇、⑤歌舞伎・新歌舞伎、⑥文楽、⑦邦舞、⑧語り、⑨マイム、⑩その他に分類して行った。舞踊には、バレエ及び現代舞踊を含めている。邦舞には、日本舞踊と民踊を含めた。演劇・ミュージカルは性格の異なる部分もあるが、情報紙上では、区別がつけ難いということで、一括した。

大概の分析にあたっては、上記のものをさらにまとめ、①オペラ、②舞踊、③演劇・ミュージカル、④人形劇、⑤歌舞伎・文楽、⑦邦舞、⑧語りとした。主要な種目ではなく、頻度も高くないマイムは、その他に含めた。歌舞伎・文楽については、本論文の主旨が、現代の舞台芸術を中心に扱っているというところで、古典劇として一括した。

次にホールの種分けである。細かい分類としては、①国立劇場、②民間劇場、③民間小劇場、④劇団稽古場、⑤公共ホール、⑥民間ホール、⑦民間フリースペース、⑧レストランその他、⑨学校の施設、⑩屋外に区別した。しかし、今回の分析では、上記の①～⑥までを主たる対象とした。

劇場とホールの区別は、何らかの企画・制作機能を持ち、どこでオリジナルの公演を行っているものを劇場、専ら貸ホールに徹しているものをホールとして区別した。公共と民間の区別については、財団法人のような特殊な形態のものがあり、明確な区別はつけにくい。ここでは、NHKホールのような、特殊な形態ではあるが、公共性の強いものは、公共ホールに含ませた。

民間小劇場と民間劇場との区別も厳密には、困難である。客席数もある程度の判断規準にはかなり得ない。民間小劇場と劇団稽古場の区別も非常に困難である。ここでは、電話によるヒアリングの結果、劇場と名のついているものを、専ら稽古場として使用さ

れているものは、稽古場に含めている。

このように各カテゴリー間の区別は、漠然としては把握されるものがあるものの、厳密な規準で区別しきれないものである。本論文でここで、厳密な分類軸にかえて、①～④までの主要な施設タイプに含めた、個々の具体的な施設名を示すことにした。分析結果生み出されたものは、それを参照された。

- 1) 国立劇場：国立劇場大劇場、小劇場、演芸場、
- 2) 民間劇場：芸術座、俳優座劇場、三百人劇場、東横劇場、西武劇場、サンシャイン劇場、紀伊国屋ホール、博品館劇場、呉服橋三越劇場、明治座、コマ劇場、日本橋三越劇場、歌舞伎座、日生劇場、東京宝塚劇場、帝国劇場、日本劇場、日ミュージックホール、浅草国際劇場。
- 3) 民間小劇場：劇場工場クロンシュタット、モダンアート地下劇場、甚六屋、中村座、東俳テアトロ館、国際芸術家センター、マキ・アートシアター、スーパーマーケット(世田谷)、ACBホール、ライオン館モレノ、オフオフ新宿スタジオ4、SPECE DEN、三春駒劇場、THEATER 轟二親、テアトルエコー、猿樂町空間、宇宙館、キッドアイラックホール、旧真空館劇場、自由劇場、アトリエフオンテーン、明石スタジオ、アルス・ユー・スタジオ、サブナドACホール、まゆき館劇場、モーツァルトサロン、アートシアター新宿、カフェテアトロモリエール、銅鑼魔館、東芸劇場、D・Dayシアター、文芸坐ル・トリエ、木馬亭、シアターグリーン、ハモス青芸館、JELSホール、池袋小劇場、ツァンツァン、フォルキネラ、ぐるーぷ・ミイとアトリエ、ステージハウス・ショーホート、青年座劇場、70人形劇場
- 4) 劇団稽古場：劇団若草アトリエ、演劇集団テアトロアカデミー、Dah劇場、バレエ・アート東京スタジオ、ドラマスクール・スタジオ、太陽神館、千田スタジオ、劇団鳥獣戯画アトリエ、マイムトルゴ気球座スタジオ、劇団仲間稽古場、竹内演劇研究所、俳協演

技研究所ホール, 天井校敷館, 劇団ひまわりホール, 劇集団劇  
 派スタジオ, 旧青俳アトリエ, 野口企画稽古場, 民衆舞台アトリエ,  
 ミスターグットマンアトリエ, アクト青山ドラマティックスクールスタジオ,  
 東京演劇アンサンブル稽古場, 東京芸術座稽古場, シアタースカ  
 ンダル, 劇団共協稽古場, 68/71黒テント作業場, 芸術劇場稽古  
 場, 劇団時雨座稽古場, 劇団人道豊スタジオ, 劇団千織座アトリエ,  
 演劇集団銅鑼アトリエ, 展望稽古場, 劇団第七病棟稽古場, 企  
 画集団逆光線稽古場, レクラム舎スタジオ, 劇団演舞舞台神保  
 町げまは, サムライ稽古場, 少年探偵団劇場, 演劇集団円稽古場  
 劇団創現アトリエ, テマトロ海アトリエ, すんぷすJORA, 劇団吹き  
 たまり小劇場, 世界劇場, 新演劇人クラブ・マーリン・サロン, 吉沢演  
 劇塾ホール, 東演ルラータ, 新劇場稽古場, 果化劇場アトリエ,  
 劇団サイレン館アトリエ, 劇団索行社工房, 文学座信濃町アトリエ,  
 劇団蓋敷座アトリエ, 劇団転形劇場工房, 劇団未踏稽古場, 杉の  
 りホール寿限無, 劇団世代スタジオ, 劇団登龍門稽古場, 春秋座劇場,  
 シアター・ナック, 劇団早稲田小劇場池袋アトリエ, 劇団俳小アトリエ,  
 劇団未来劇場稽古場, 大駱駝艦豊玉伽藍, 希望ホール, 劇団今井  
 英臣事務所スタジオ, 林泉寺,

5) 公共ホール: 中野勤労青少年会館, 区立中野公会堂, 区立中野文化  
 センター, 区立北部公会堂, 千馬杉谷区民会館, 区立恵比須社会教育会  
 館, 初台区民会館, 代々木八幡区民会館, 東京都児童館, NHKホール,  
 区立渋谷公会堂, 豊島区立青年館, 区立豊島公会堂, 豊島区民セナ  
 文化ホール, 区立新宿文化センター大ホール, 同小ホール, 区立牛込公  
 会堂, 区立四谷公会堂, 東京厚生年金会館大ホール, 同小ホール, 区立中央  
 会館, 東京都勤労福祉会館, 区立日本橋公会堂, 目黒区立青年館,  
 目黒区公会堂, 目黒区立福祉センター, 目黒区民センター, 国民年金中央  
 館こまばエミナス, 国立教育会館虎の門ホール, 日比谷公会堂, 品  
 川文化会館, 荒川区民会館, 区立方南会館, 区立久我山会館, 区立高  
 円寺会館, 区立杉並公会堂, 黒田区民会館, 区立公会堂, 北区公会堂,  
 葛飾区総合区民センター, 区立赤坂公会堂, 区立教布公会堂, 烏山区



センター、碓区民会館、玉川区民会館、世田谷区民会館、高島平区民館、板橋区民会館、江戸川区民センター、区立小岩図書館公会堂、小松川区民ホール、江戸川公会堂、江東区立総合区民センター、区立江東公会堂、大田区民センター、大田区民会館、区立竹の塚社会教育館ホール、足立区立文化会館、東洋文化会館、区立浅草公会堂、都美術館講堂、東京郵便貯金ホール、芝青年会館。

- 6) 民間ホール：増上寺ホール、東芝銀座セブンアラスワンホール、社会文化会館、日本教育会館、東邦生命ホール、山野ホール、硬装館ホール、東医健保会館、日本青年館、野村ビルホール、安田生命ホール、トイツ文化センター、朝日生命ホール、日仏会館ホール、砂防会館ホール、日経ホール、イイノホール、日本新市センターホール、労音会館、読売ホール、第一生命ホール、朝日講堂、久保講堂、セキルトホール、草月会館、青山タワーホール、ABC会館

1) - e) 調査件数

昭和55年1年間の『ひあ』のPLAY部門の演劇、マイム、舞踊、語り及び劇場の項で扱われた上演演目の総数は2342件であった。

これを総公演数で見ると19702公演であった。

$$\text{(均)総公演数} = \sum_{\text{全演目}} \text{1演目ごとの公演数}$$

## 2) 調査の内容

### 2-1) 調査対象の上演種目別の内訳

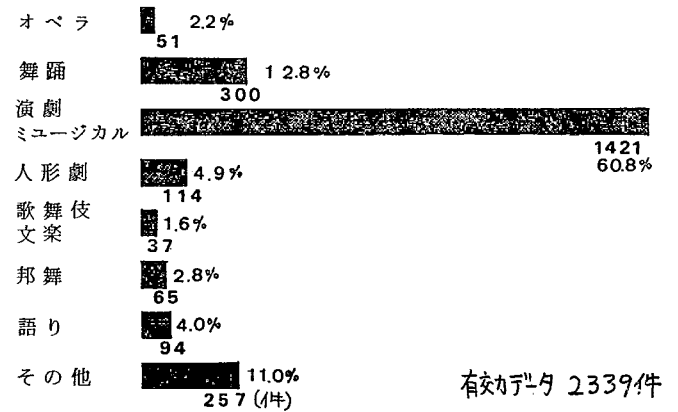


図3-1a 上演種目別演目数

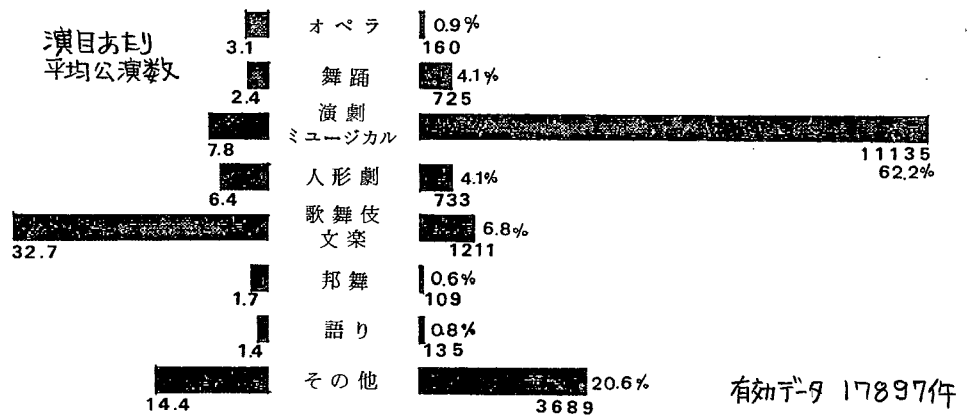


図3-1b 上演種目別公演数と1演目あたり平均公演数

演目数にみる各上演種目の分布は、演劇・ミュージカルが60.8%を占め、圧倒的に数が多く、次いで、舞踊の12.8%、人形劇の4.9%、語り4.0%、邦舞2.8%、オペラ2.2%、歌舞伎・文楽の1.6%と続く。これに、さらに、公演数で見ると、演劇・ミュージカルの占める割合は62.2%とほぼかわりないが、舞踊の占める割合が、上演種目数による比較に比べて、全体に対する割合が4.1%と約1/3に減っている。その他、邦舞、語りも同様に減少している。反対に歌舞伎・文楽の場合は、6.8%と約4倍に全体に対する割合が増加している。これは、各上演種目別の1演目あたりの平均公演回数が異なることによる。ここで、上演種目別に1演目あたりの平均公演回数をみると、歌舞伎・文楽が他の演目に群を抜いて、平均公演回数が多く、1演目あたり平均32.7回も公演を行っている。これは、歌舞伎・文楽が「東京で

は、ほとんど大劇場で行われており、その公演方式も、17月公演方式と、213からである。

歌舞伎・文楽に続いて平均公演回数が多い種目は、演劇・ミュージカル及び人形劇で平均6〜7公演を行っている。反対に、平均公演回数の少ない種目はオケラ、舞踊、邦舞、語りで平均3〜4回程度であり、特に邦舞は平均1.7公演、語りは1.4公演と極めて少ない。

上演種目別の1公演あたりの公演回数をさらに詳しく調べたものを表3-1aに示す。また表3-1bには、それを補足する意味で、公演数を母

STYP	COUNT	XTIMES									ROW TOTAL
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
OPER	1	6	33	7	4	1	0	0	0	0	51
		11.8	64.7	13.7	7.8	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2
		1.3	4.5	1.7	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		0.3	1.4	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
BUYO	2	160	96	20	21	0	1	1	0	1	300
		53.3	32.0	6.7	7.0	0.0	0.3	0.3	0.0	0.3	12.8
		33.9	13.2	4.8	5.2	0.0	2.6	3.2	0.0	0.7	
		6.8	4.1	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
ENGEKI MUSICAL	3	128	421	325	330	79	27	22	14	75	1421
		9.0	29.6	22.9	23.2	5.6	1.9	1.5	1.0	5.3	60.8
		27.1	57.9	78.3	81.5	79.0	71.1	71.0	87.5	56.0	
		5.5	18.0	13.9	14.1	3.4	1.2	0.9	0.6	3.2	
NINGYOGEKI	4	16	51	21	16	4	2	1	0	3	114
		14.0	44.7	18.4	14.0	3.5	1.8	0.9	0.0	2.6	4.9
		3.4	7.0	5.1	4.0	4.0	5.3	3.2	0.0	2.2	
		0.7	2.2	0.9	0.7	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	
KABUKI SHINKABUK	5	1	1	0	2	0	0	1	0	24	29
		3.4	3.4	0.0	6.9	0.0	0.0	3.4	0.0	82.8	1.2
		0.2	0.1	0.0	0.5	0.0	0.0	3.2	0.0	17.9	
		0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	
BUNRAKU	6	2	1	1	0	0	2	0	0	2	8
		25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.3
		0.4	0.1	0.2	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	1.5	
		0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	
HONBUYO MINYO (邦舞)	7	38	23	2	2	0	0	0	0	0	65
		58.5	35.4	3.1	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8
		8.1	3.2	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		1.6	1.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
KATARI	8	70	20	3	0	1	0	0	0	0	94
		74.5	21.3	3.2	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0
		14.8	2.8	0.7	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		3.0	0.9	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
MIME	9	10	16	4	1	1	0	0	0	1	33
		30.3	48.5	12.1	3.0	3.0	0.0	0.0	0.0	3.0	1.4
		2.1	2.2	1.0	0.2	1.0	0.0	0.0	0.0	0.7	
		0.4	0.7	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
SONOTA	10	41	65	32	29	14	6	6	2	28	223
		18.4	29.1	14.3	13.0	6.3	2.7	2.7	0.9	12.6	9.5
		8.7	8.9	7.7	7.2	14.0	15.8	19.4	12.5	20.9	
		1.8	2.8	1.4	1.2	0.6	0.3	0.3	0.1	1.2	
COLUMN TOTAL		472	727	415	405	100	38	31	16	134	2338
		20.2	31.1	17.8	17.3	4.3	1.6	1.3	0.7	5.7	100.0

NUMBER OF MISSING OBSERVATIONS = 4

表3-1a 上演種目別の1演目あたりの公演回数別演目件数分布

数にとったデータを示す。

この2表を觀察すると上演種目ごとに、演目当り公演回数には、つぎの3つのタイプがあることが判る。

1) タイプI : 短期間公演型

これは、舞踊、邦舞、オペラ、語りに見られるもので、ほとんどの演目が、1回の子の公演、あるいは、2~3回公演という、短期間の公演による公演方式をとって11るタイプである。ただし、この内、オペラ、舞踊は、やや公演回数が長い傾向に

STYP	COUNT	XTIMES										ROW TOTAL
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
OPERA	1	6	81	29	32	12	0	0	0	0	0	160
	3.8	50.6	18.1	20.0	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
	1.3	4.6	1.6	1.1	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	0.0	0.5	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
BUNRAKU	2	160	229	89	152	0	20	25	0	50	725	
	22.1	31.6	12.3	21.0	0.0	2.8	3.4	0.0	0.0	6.9	4.1	
	33.9	12.9	4.9	5.0	0.0	2.9	3.5	1.0	0.0	0.6		
	0.9	1.3	0.5	0.8	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.3		
ENGEKI MUSICAL	3	128	1050	1431	2466	1005	485	502	383	3685	11135	
	1.1	9.4	12.9	22.1	9.0	4.4	4.5	3.4	3.1	33.1	62.2	
	27.1	59.3	78.7	81.9	78.8	71.1	70.8	87.2	47.7			
	0.7	5.9	8.0	13.8	5.6	2.7	2.8	2.1	20.6			
NINGYOGEKI	4	16	128	90	114	51	36	25	0	273	733	
	2.2	17.5	12.3	15.6	7.0	4.9	3.4	0.0	0.0	37.2	4.1	
	3.4	7.2	4.9	3.8	4.0	5.3	3.5	0.0	3.5			
	0.1	0.7	0.5	0.6	0.3	0.2	0.1	0.0	1.5			
KABUKI SHINKABUKI	5	1	2	0	12	0	0	23	0	1066	1104	
	0.1	0.2	0.0	1.1	0.0	0.0	2.1	0.0	96.6	6.2		
	0.2	0.1	0.0	0.4	0.0	0.0	3.2	0.0	13.8			
	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	6.0			
BUNRAKU	6	2	2	4	0	0	35	0	0	64	107	
	1.9	1.9	3.7	0.0	0.0	32.7	0.0	0.0	59.3	0.6		
	0.4	0.1	0.2	0.0	0.0	5.1	0.0	0.0	0.8			
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.4			
NIHONBUYO MINYO (邦舞)	7	38	49	10	12	0	0	0	0	0	109	
	34.9	45.0	9.2	11.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	
	8.1	2.8	0.5	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	0.2	0.3	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
KATARI	8	70	41	13	0	11	0	0	0	0	135	
	51.9	30.4	9.6	0.0	8.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	
	14.8	2.3	0.7	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	0.4	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
HIME	9	10	35	16	6	11	0	0	0	51	129	
	7.8	27.1	12.4	4.7	8.5	0.0	0.0	0.0	0.0	39.5	0.7	
	2.1	2.0	0.9	0.2	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7		
	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3		
SONOTA	10	41	155	137	216	185	106	134	56	2530	3560	
	1.2	4.4	3.8	6.1	5.2	3.0	3.8	1.6	71.1	19.9		
	8.7	8.7	7.5	7.2	14.5	15.5	18.9	12.8	32.3			
	0.2	0.9	0.8	1.2	1.0	0.6	0.7	0.3	14.1			
COLUMN TOTAL	472	1772	1819	3010	1275	682	709	439	7719	17897		
TOTAL	2.6	9.9	10.2	16.8	7.1	3.8	4.0	2.5	43.1	100.0		

NUMBER OF MISSING OBSERVATIONS = 5

表3-1b 公演数を母数にした、上演種目別演目当り公演回数分布



2) - b) 調査対象のホール種別の内訳

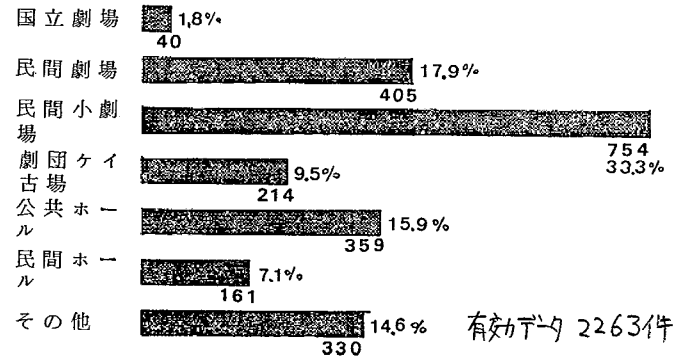


図3-2a ホール種別演目数

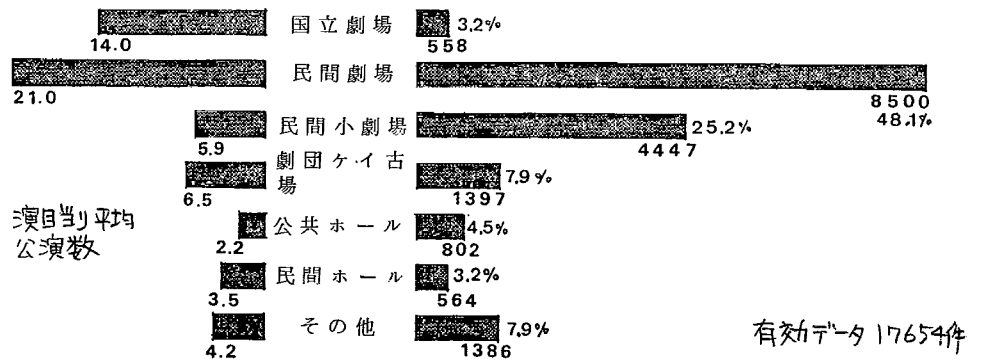


図3-2b ホール種別公演数と1演目当り平均公演数

調査対象のホールの種別による内訳をみたものが、図3-2a,bである。図3-2aは母数を演目数にとったものであるが、民間小劇場における制作が最も多く、全体の33.3%にものぼっている。さらに、そこに内容的には性格の類似している劇団稽古場による上演も含めると、42.8%と非常に高い割合となる。今日における小劇場あるいはアトリエ公演活動の活発な状況がうかがえる。これに次いで、民間劇場が、17.9%、公共ホールが15.9%と続いている。演目数による比較では、民間劇場と公共ホールがほぼ同率に近いことが注目される。民間ホールは公共ホールの約半分の利用で7.1%である。

これを図3-2bの公演数を母数をとったものと比較すると次のようなことが判る。

1) 民間小劇場は演目数においては民間劇場に勝っているが、総公演数については、民間劇場のほうが勝っている。これは、民間劇場での1演目あたりの平均公演数が民間小劇場に比して多いことによ

る。

2) 演目数においては民間劇場と肩を並べている公共ホールも、公演数を母数として比較すると、民間劇場の1/6以下の比重となる。これは公共ホールでの演目当りの平均公演数が2.2公演と、民間劇場の21.0公演に比して極めて少ないことによる。

3) 民間ホールと公共ホールとを比較すると、民間ホールの場合のほうが、1演目あたりの平均公演回数はやや長い傾向にある。

表3-2a に演目数を母数にとった場合の1演目当りの公演回数と

HTYP	XTIMES													ROW TOTAL						
	COUNT	1		2		3		4		5		6			7		8		9	
	ROW PCT	11	2	THRU 3	4	THRU 5	6	THRU 7	11	THRU 16	THRU 21	THRU 26	THRU 31		THRU 31	THRU 31	THRU 31	THRU 31	THRU 31	THRU 31
	COL PCT	1	1	2	1	3	1	4	1	5	1	6	1		7	1	8	1	9	1
	TOT PCT	1	1	2	1	3	1	4	1	5	1	6	1	7	1	8	1	9	1	
KOKURITSU GEKIJU	1	7	13	0	3	2	2	1	1	0	12	40								
	17.5	32.5	0.0	7.5	5.0	5.0	2.5	0.0	30.0	1.8										
	1.6	1.8	0.0	0.8	2.0	5.3	3.4	0.0	9.0											
	0.3	0.6	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.5											
MINKAN GEKIJU	2	71	49	44	57	37	17	18	7	105	405									
	17.5	12.1	10.9	14.1	9.1	4.2	4.4	1.7	25.9	17.9										
	16.1	7.0	10.9	14.3	37.4	44.7	62.1	43.8	78.4											
	3.1	2.2	1.9	2.5	1.6	0.8	0.8	0.3	4.6											
MINKAN SHOGEKIJU	3	74	249	170	197	30	12	6	5	11	754									
	9.8	33.0	22.5	26.1	4.0	1.6	0.8	1.5	1.5	33.3										
	16.8	35.3	42.3	49.5	30.3	31.6	20.7	31.3	8.2											
	3.3	11.0	7.5	8.7	1.3	0.5	0.3	0.2	0.5											
GEKIDAN KEIKOBA	4	14	44	56	70	18	4	2	4	2	214									
	6.5	20.6	26.2	32.7	8.4	1.9	0.9	1.9	0.9	9.5										
	3.2	6.2	13.9	17.6	18.2	10.5	6.9	25.0	1.5											
	0.6	1.9	2.5	3.1	0.8	0.2	0.1	0.2	0.1											
KOKYO HALL	5	159	148	36	14	1	0	0	0	1	359									
	44.3	41.2	10.0	3.9	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	15.9										
	36.1	21.0	9.0	3.5	1.0	0.0	0.0	0.0	0.7											
	7.0	6.5	1.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											
MINKAN HALL	6	53	49	28	23	7	1	0	0	0	161									
	32.9	30.4	17.4	14.3	4.3	0.6	0.0	0.0	0.0	7.1										
	12.0	7.0	7.0	5.8	7.1	2.6	0.0	0.0	0.0											
	2.3	2.2	1.2	1.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0											
MINKAN FREESPACE	7	8	3	2	4	0	0	0	0	0	17									
	47.1	17.6	11.8	23.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8										
	1.8	0.4	0.5	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											
	0.4	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											
RESTAURANTS SONO	8	18	35	11	5	0	0	0	0	0	67									
	26.1	50.7	15.9	7.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1										
	4.1	5.0	2.7	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											
	0.8	1.5	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											
GAKKO	9	29	90	47	15	3	1	0	0	0	185									
	15.7	48.6	25.4	8.1	1.6	0.5	0.0	0.0	0.0	8.2										
	6.6	12.8	11.7	3.8	3.0	2.6	0.0	0.0	0.0											
	1.3	4.0	2.1	0.7	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0											
OPENAIR	10	8	25	8	10	1	1	2	0	3	58									
	13.8	43.1	13.8	17.2	1.7	1.7	3.4	0.0	5.2	2.6										
	1.8	3.5	2.0	2.5	1.0	2.6	6.9	0.0	2.2											
	0.4	1.1	0.4	0.4	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1											
COLUMN TOTAL		441	705	402	398	99	38	29	16	134	2262									
		19.5	31.2	17.8	17.6	4.4	1.7	1.3	0.7	5.9	100.0									

NUMBER OF MISSING OBSERVATIONS = 80

表3-2a 演目数を母数にしたホール種別公演回数別演目件数分布

ホールの種類との関係は、表3-2bに公演数と母数にした場合の1  
 演目あたりの平均公演回数とホールの種類との関係をさらに詳しく示  
 した。これらの表から次のことが読みとれる。

1) 国立劇場、民間劇場では、演目数による比較では、短期間公演  
 型、中期間公演型、長期間公演型の公演スタイルが、いずれも、ほぼ  
 均等の比率で見られるが、これを公演数による比較で見ると、明確  
 に、長期間公演型が、他のタイプに勝つ優位を占める。つまりは  
 これらの劇場の公演スタイルの特徴は長期間公演にある。

HTYP	COUNT	XTIMES										ROW TOTAL					
		1	2	3	4	5	6	11	16	21	26		31				
ROW PCT	COL PCT	0										15	20	25	30	HI	9
TOT PCT		1	2	3	4	5	6	11	16	21	26	31	HI	9			
KOKURITSU GEKIJOU	1	7	29	0	27	24	35	23	0	413	558						
	1.3	5.2	0.0	4.8	4.3	6.3	4.1	0.0	74.0	3.2							
	1.6	1.7	0.0	0.9	1.9	5.1	3.5	0.0	5.4								
	0.0	0.2	0.0	0.2	0.1	0.2	0.1	0.0	2.3								
MINKAN GEKIJOU	2	71	125	197	425	490	300	408	191	6293	8500						
	0.8	1.5	2.3	5.0	5.8	3.5	4.8	2.2	74.0	48.1							
	16.1	7.3	11.2	14.3	38.8	44.0	61.7	43.5	81.5								
	0.4	0.7	1.1	2.4	2.8	1.7	2.3	1.1	35.6								
MINKAN SHOGEKIJOU	3	74	638	762	1485	379	222	137	139	611	4447						
	1.7	14.3	17.1	33.4	8.5	5.0	3.1	3.1	13.7	25.2							
	16.8	37.0	43.2	50.1	30.0	32.6	20.7	31.7	7.9								
	0.4	3.6	4.3	8.4	2.1	1.3	0.8	0.8	3.5								
GEKIDAN KEIKOBA	4	14	112	238	514	213	70	44	109	93	1397						
	1.0	8.0	17.0	36.8	15.2	5.0	3.1	7.8	5.9	7.9							
	3.2	6.5	13.5	17.3	16.9	10.3	6.7	24.8	1.1								
	0.1	0.6	1.3	2.9	1.2	0.4	0.2	0.6	0.5								
KOKYO HALL	5	159	334	150	97	14	0	0	0	48	802						
	19.8	41.6	18.7	12.1	1.7	0.0	0.0	0.0	6.0	4.5							
	36.1	19.4	8.5	3.3	1.1	0.0	0.0	0.0	0.6								
	0.9	1.9	0.8	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3								
MINKAN HALL	6	53	112	122	170	88	19	0	0	0	564						
	9.4	19.9	21.6	30.1	15.6	3.4	0.0	0.0	0.0	3.2							
	12.0	6.5	6.9	5.7	7.0	2.8	0.0	0.0	0.0								
	0.3	0.6	0.7	1.0	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0								
MINKAN FREESPACE	7	8	7	10	31	0	0	0	0	0	56						
	14.3	12.5	17.9	55.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3							
	1.8	0.4	0.6	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
RESTAURANTS SOND	8	18	73	47	38	0	0	0	0	0	176						
	10.2	41.5	26.7	21.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0							
	4.1	4.2	2.7	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
	0.1	0.4	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								
GAKKO	9	29	229	201	99	43	18	0	0	0	619						
	4.7	37.0	32.5	16.0	6.9	2.9	0.0	0.0	0.0	3.5							
	6.6	13.3	11.4	3.3	3.4	2.6	0.0	0.0	0.0								
	0.2	1.3	1.1	0.6	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0								
OPENAIR	10	8	63	37	77	12	18	49	0	271	535						
	1.5	11.8	6.9	14.4	2.2	3.4	9.2	0.0	50.7	3.0							
	1.8	3.7	2.1	2.6	1.0	2.6	7.4	0.0	3.5								
	0.0	0.4	0.2	0.4	0.1	0.1	0.3	0.0	1.5								
COLUMN TOTAL		441	1722	1764	2963	1263	682	661	439	7719	17654						
		2.5	9.8	10.0	16.8	7.2	3.9	3.7	2.5	43.7	100.0						

NUMBER OF MISSING OBSERVATIONS = 248

表3-2b 公演数と母数にしたホール種別演目当たり公演回数分布



2) 民間小劇場や劇団稽古場での公演は、演目数で比較すると、中期間公演、次いで短期間公演が多く見られる。公演数による比較をすると、中期間公演の比重が大きくなる。また場合によ、これは長期間公演と相当数行われているのも判る。これらの劇場では、各種の公演形態が混合されはいるものの、基本的には、中期間公演型の公演スタイルをとっていると言えよう。

3) 公共ホール、及び民間ホールでは、演目数を母数とした場合、短期間公演の割合が最も高く、次いで中期間公演が続く、長期間公演はまったく見られな。この点では、これらのホールは、短期間公演型の公演スタイルをとっていると考えることができる。しかし、今度は、公演数を母数として比較をすると、公共ホールは、ほとんど、短期間公演が中心なのに対して民間ホールでは中期間公演の占める比重が大きい。この意味では、民間ホールは、中期間公演を中心とするタイプに近い性格を持っている。

上記の点を総合して、公共ホールに焦点をあててまとめると次のようなことが言えよう。

\*2) 全てのチャンネルを含めて

1) 公共ホールでの広い意味での演劇公演<sup>\*2</sup>は、演目数においては、民間劇場に、肩を並べるほどの本数が行われている。

2) しかし、そこでの公演は1〜3回程度の短期間公演が中心になっているため、全体からみると、公共ホールが演劇活動に担っている役割はかなり小さい。

3) 公共ホールで短期間公演が多いのは、種々の理由が考えられるが、通常、公共ホールでは、できるだけ多くの利用者に機会を均等に利用してもらうために、3日間以上の連続使用を制限していることによるものが大きいと思われる。このことは、同じ、貸館形式をとり建築形状も類似している民間ホールは、そのような厳密な規定はないが、そこでは、中期間公演の比率が高くなっていることから類推できる。

また、直接公共ホールについてはないが、劇場としての一般

的なイメージが高いものほど長期間公演が多いことも注目し値する。

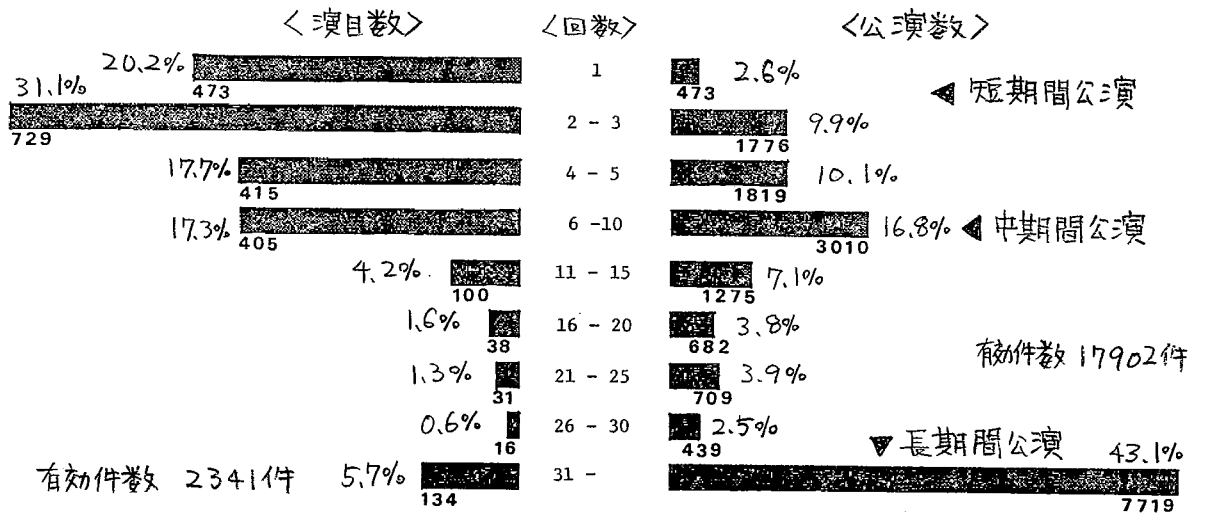


図3-3 1演目当たりの公演数ランク別の演目数、公演数

ここで図3-3に、短期間公演、中期間公演、長期間公演の分布の状況を示す。演目数では勝る短期間公演が、公演数による比較では長期間公演にはるかに及ばない状況が明確に把握される。演劇活動においては、長期にわたって公演を継続させることの重要性がよく判る。

公演数が4日~5日の中期間公演について見ると、演目数では全体の39.2%、公演数による比較では、全体の34%と、どつどつほぼ全体の3割を占め、演劇活動にとって重要な公演形態になっていることにも着目したい。

ホールの種類別の演目あたりの公演回数の比較考察の結果、いわゆる劇場としてのイメージの高いホール形式での公演ほど、1演目あたりの公演数が多い傾向があることと先ほど示したが、ここにみる結果を総合すると、広い意味での演劇活動にとって、実質的な活動は、長期間、中期間の公演に支えられていると考えることができよう。

2) - c) 調査対象の客席数の内訳

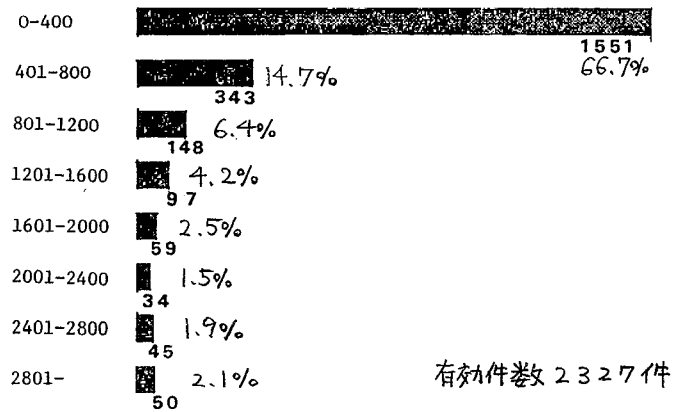


図3-4a 客席規模別演目数分布

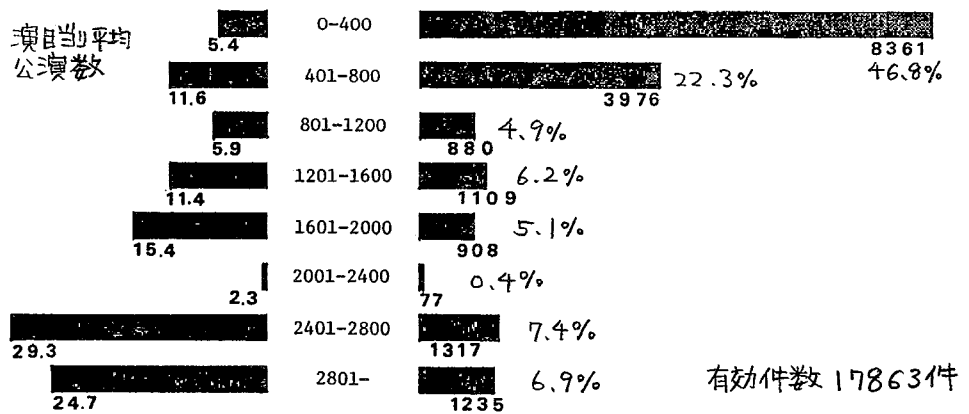


図3-4b 客席規模別の演目当り平均公演数と、公演数

演目数を母数にとり、客席規模による分布をみると図3-4aのように、0-400席という小さな客席規模での公演が全体の3/5を占めている。つまり、401-800席が14.7%、さらに800-1200席が6.4%を占める。この三つのランク(0~1200席まで)で、全体の87.8%を占め、ほとんどの演劇活動(広義)の公演がこうした比較的小さなホールで上演されていることがわかる。200人を越えるような大ホールの寄与率は低い。

次に、図3-4bにより、公演数を母数に比較をする。やはり、800席以上のホールでの公演が全体の約7割を占め、この比重が高いことがわかるが、演目数による比較では、頻度の少なからず2400席以上の大型ホールでの公演数が全体の14.3%を占めるに至っている。このことは、これら大型ホールのほとんどが歌舞伎座など大銀行

\*1) 松竹、東宝等

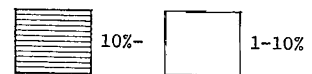
資本下にある商業劇場であり、こうした商業劇場では、長期間公演

が一般的にため、このような現象がおきている。これは、図3-4bの、演目当り平均公演数を見れば確かめることができる。大きな傾向としては、部分的な変動をのぞいて、ホール規模が大きくなる程、1演目あたりの平均公演回数が多くなる傾向が見られる。

しかし、この内容をさらに詳しく見るために、表3-3の演目当り公演数と客席規模のクロス集計を見ると、図3-4bの単純な平均値が

客席数 公演数	客席数									TOTAL
	0 THRU 400	401 THRU 800	801 THRU 1200	1201 THRU 1600	1601 THRU 2000	2001 THRU 2400	2401 THRU 2800	2801 THRU HI		
1	236 10.1	105 4.5	69 3.0	29 1.2	17 0.7	9 0.4	2 0.1	3 0.1	470	
2 THRU 3	516 22.2	81 3.5	36 1.5	30 1.3	20 0.9	23 1.0	5 0.2	9 0.4	720	
4 THRU 5	342 14.7	44 1.9	12 0.5	6 0.3	2 0.1	1 0.0	2 0.1	5 0.2	414	
6 THRU 10	332 14.3	40 1.7	9 0.4	8 0.3	0 0.0	1 0.0	4 0.2	11 0.5	405	
11 THRU 15	58 2.5	17 0.7	8 0.3	4 0.2	2 0.1	0 0.0	5 0.2	5 0.2	99	
16 THRU 20	22 0.9	10 0.4	2 0.1	1 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.1	1 0.0	38	
21 THRU 25	16 0.7	10 0.4	2 0.1	1 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 0.1	31	
26 THRU 30	10 0.4	3 0.1	1 0.0	1 0.0	0 0.0	0 0.0	1 0.0	0 0.0	16	
31 THRU HI	19 0.8	33 1.4	9 0.4	17 0.7	18 0.8	0 0.0	24 1.0	14 0.6	134	
TOTAL	1551	343	148	97	59	34	45	50	2327	

表3-3 演目当り公演数と客席規模  
上段件数 下段%



は見られない別の傾向を読みとることができる。つまり、2400席以下のホールを見た場合、演目あたりの公演数の少ない、つまり、短期間公演型の公演スタイルのものは、いろいろな規模のホールに広く分布しているのに対して1演目あたりの公演回数が多くなるほど、小規模のホールに集中してゆく傾向が見られる。このことは、一般的にいて、演目当りの総観客動員数には、ある一定の限界があり、それをし回に大きなホールを用いて集めるか、あるいは、小さなホールで日数をかけて集めるかという方式の違いによる差が、ここに現われていると考えて良いのではなからうか。これをグラフにしたものが、図3-5であるが、ここには、その傾向がさらにはっきり、

現われている。

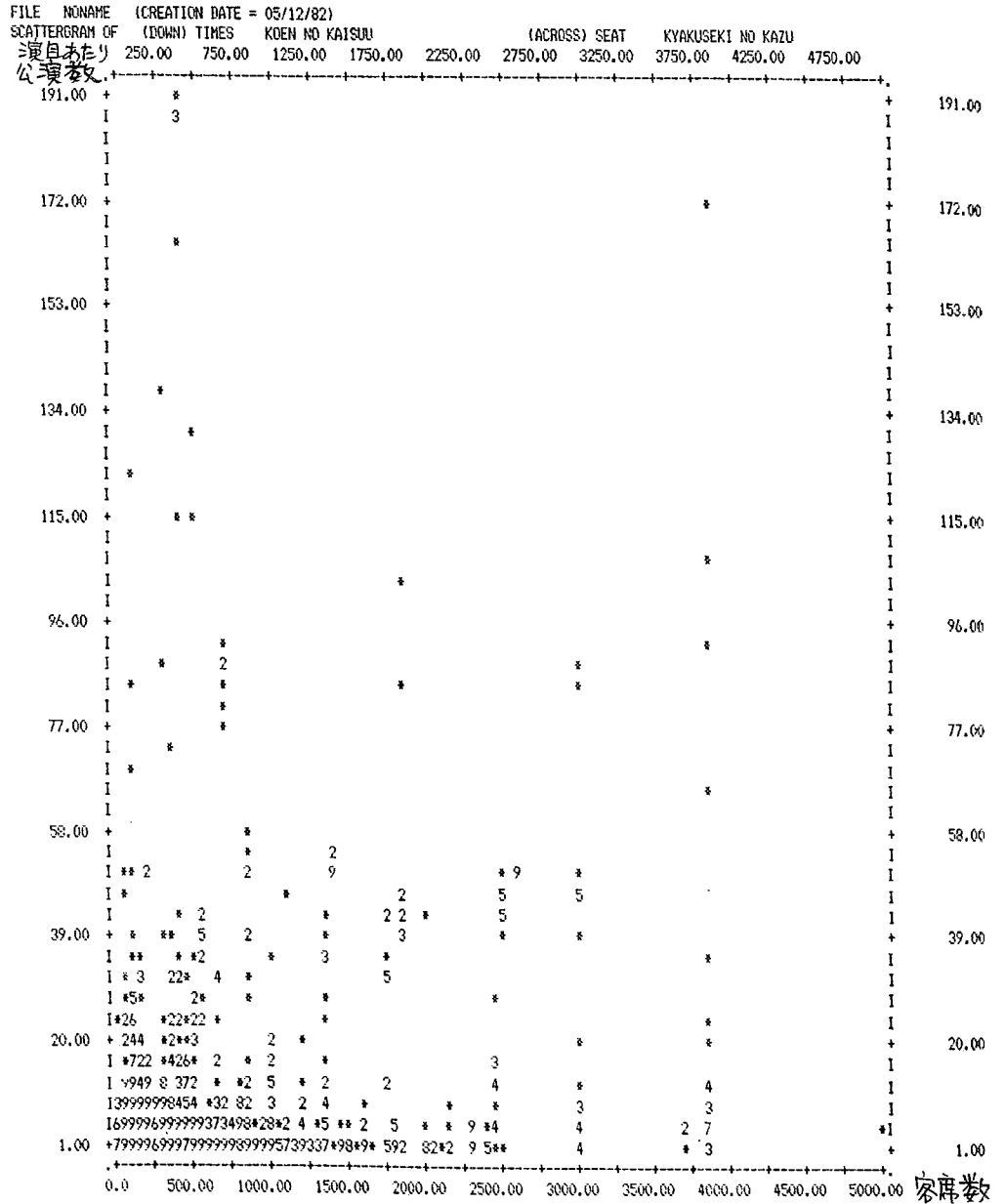


図3-5 演目あたりの公演数と客席規模の分布図

しかし、2400席を越える規模では、こうした傾向はくずれて、長期公演の割合が多くなる。これは、先にも述べたように、長期間公演を中心とする商業劇場の影響が強くなるからであろう。

また、400席～800席あたりにも長期間公演の多いグループが見られるが、これは、中規模の民間劇場での公演の影響と考えられる。

次に表3-4a,b)によって、ホールの種類と客席数との関係を探る。表3-4aの演目数を母数とする場合と、表3-4bの公演数を母数とする場合を比較すると次のようなことがわかる。

1) 民間劇場では、演目数を母数とした場合、800席以下のホール

この公演が52.8%と全演目数の半数を上回り、中、小ホールを利  
用した公演の多いことが示されている。しかし、公演数を母数にした

		XSEAT																																																																						
		COUNT																																																																						
ROW	PCT	10	THRU	4	801	THRU	801	THRU	1201	THRU	1601	THRU	2001	THRU	2401	THRU	2800	U HI	ROW																																																					
COL	PCT	800										1200										U 1600										U 2000										U 2400										U 2800										U HI										TOTAL
TOT	PCT	1	1	2	1	3	1	4	1	5	1	6	1	7	1	8	1	8	1																																																					
HTYP		-----										-----										-----										-----										-----										-----																				
	1	1	1	24	1	0	1	0	1	15	1	0	1	0	1	0	1	0	1	40																																																				
KOKURITSU GEKIJYO	1	2.5	1	60.0	1	0.0	1	0.0	1	37.5	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	1.8																																																				
	1	0.1	1	7.0	1	0.0	1	0.0	1	25.9	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1																																																					
	1	0.0	1	1.1	1	0.0	1	0.0	1	0.7	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1																																																					
	2	1	81	1	133	1	68	1	29	1	9	1	0	1	39	1	46	1	405																																																					
MINKAN GEKIJYO	1	20.0	1	32.8	1	16.8	1	7.2	1	2.2	1	0.0	1	9.6	1	11.4	1	18.0																																																						
	1	5.5	1	38.8	1	45.9	1	29.9	1	15.5	1	0.0	1	86.7	1	92.0	1																																																							
	1	3.6	1	5.9	1	3.0	1	1.3	1	0.4	1	0.0	1	1.7	1	2.0	1																																																							
	3	1	753	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	754																																																					
MINKAN SHOGEKIJYO	1	99.9	1	0.1	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	33.5																																																				
	1	51.0	1	0.3	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1																																																					
	1	33.4	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1																																																					
	4	1	213	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	213																																																					
GEKIDAN KEIKOBA	1	100.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	9.5																																																				
	1	14.4	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1																																																					
	1	9.5	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1																																																					
	5	1	87	1	91	1	61	1	48	1	29	1	34	1	6	1	3	1	359																																																					
KOKYO HALL	1	24.2	1	25.3	1	17.0	1	13.4	1	8.1	1	9.5	1	1.7	1	1.8	1	15.9																																																						
	1	5.9	1	26.5	1	41.2	1	49.5	1	50.0	1	100.0	1	13.3	1	6.0	1																																																							
	1	3.9	1	4.0	1	2.7	1	2.1	1	1.3	1	1.5	1	0.3	1	0.1	1																																																							
	6	1	49	1	79	1	13	1	20	1	0	1	0	1	0	1	0	1	161																																																					
MINKAN HALL	1	30.4	1	49.1	1	8.1	1	12.4	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	7.1																																																				
	1	3.3	1	23.0	1	8.8	1	20.6	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1																																																					
	1	2.2	1	3.5	1	0.6	1	0.9	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1																																																					
	7	1	17	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	17																																																					
MINKAN FREESPACE	1	100.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.8																																																				
	1	1.2	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1																																																					
	1	0.8	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1																																																					
	8	1	66	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	66																																																					
RESTAURANTS SONO	1	100.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	2.9																																																				
	1	4.5	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1																																																					
	1	2.9	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1																																																					
	9	1	164	1	10	1	5	1	0	1	3	1	0	1	0	1	0	1	182																																																					
GAKKO	1	90.1	1	5.5	1	2.7	1	0.0	1	1.6	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	8.1																																																				
	1	11.1	1	2.9	1	3.4	1	0.0	1	5.2	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1																																																					
	1	7.3	1	0.4	1	0.2	1	0.0	1	0.1	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1																																																					
	10	1	46	1	5	1	1	1	0	1	2	1	0	1	0	1	1	1	55																																																					
OPENAIR	1	83.6	1	9.1	1	1.8	1	0.0	1	3.6	1	0.0	1	0.0	1	1.8	1	2.4																																																						
	1	3.1	1	1.5	1	0.7	1	0.0	1	3.4	1	0.0	1	0.0	1	2.0	1																																																							
	1	2.0	1	0.2	1	0.0	1	0.0	1	0.1	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1																																																					
	COLUMN	1477		343		148		97		58		34		45		50		2252																																																						
	TOTAL	65.6		15.2		6.6		4.3		2.6		1.5		2.0		2.2		100.0																																																						

NUMBER OF MISSING OBSERVATIONS = 90

表3-4a ホール種別・客席数別の演目数分布

場合、小中ホールの利用の割合は、やはり多いものの、1200~1600席のホール、及び2400席以上のホールという大型の施設での活動の割合も大きい。これは、大型ホールに長期間公演を主体とする商業劇場が入っている為である。

2) 民間小劇場、及び劇団稽古場での公演は、ほとんどが、400席以下の小さなホールで上演を行っている。

3) 民間ホールでは、全ての公演が1600席以下のホールで行われ、か

演目数による比較においても、公演数による比較においても、その約8割が800席以下の中小ホールで公演を行っている。

HTYP	XSEAT										ROW TOTAL
	COUNT	10	THRU 4	401	THRU 801	THRU 1201	THR 1601	THR 2001	THR 2401	THR 2801	
COL PCT	100	800	1200	1600	2000	2400	2800	U HI			
TOT PCT	1	2	3	4	5	6	7	8			
KOKURITSU GEKIJYO	1	0.4	43.2	0.0	0.0	56.5	0.0	0.0	0.0	0.0	558
	1	0.0	6.1	0.0	0.0	34.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2
	1	0.0	1.4	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	
MINKAN GEKIJYO	2	715	3166	675	929	487	0	1305	1223	8500	
	1	8.4	37.2	7.9	10.9	5.7	0.0	15.4	14.4	48.2	
	1	8.8	79.6	76.7	83.8	53.7	0.0	99.1	99.0		
	1	4.1	18.0	3.8	5.3	2.8	0.0	7.4	6.9		
MINKAN SHOGEKIJYO	3	4444	3	0	0	0	0	0	0	4447	
	1	99.9	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.2	
	1	54.7	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	1	25.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
GEKIDAN KEIKOBA	4	1386	0	0	0	0	0	0	0	1386	
	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.9	
	1	17.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	1	7.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
KOKYO HALL	5	202	194	162	91	55	77	12	9	802	
	1	25.2	24.2	20.2	11.3	6.9	9.6	1.5	1.1	4.6	
	1	2.5	4.9	18.4	8.2	6.1	100.0	0.9	0.7		
	1	1.1	1.1	0.9	0.5	0.3	0.4	0.1	0.1		
MINKAN HALL	6	144	296	35	89	0	0	0	0	564	
	1	25.5	52.5	6.2	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	
	1	1.8	7.4	4.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	1	0.8	1.7	0.2	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0		
MINKAN FREESPACE	7	56	0	0	0	0	0	0	0	56	
	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	
	1	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
RESTAURANTS SONG	8	172	0	0	0	0	0	0	0	172	
	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	
	1	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	1	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
GAKKO	9	576	25	6	4	0	0	0	0	611	
	1	94.3	4.1	1.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	3.5	
	1	7.1	0.6	0.7	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0		
	1	3.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
OPENAIR	10	425	51	2	0	46	0	0	3	527	
	1	80.6	9.7	0.4	0.0	8.7	0.0	0.0	0.6	3.0	
	1	5.2	1.3	0.2	0.0	5.1	0.0	0.0	0.2		
	1	2.4	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0		
COLUMN TOTAL		8122	3976	880	1109	907	77	1317	1235	17623	
TOTAL		46.1	22.6	5.0	6.3	5.1	0.4	7.5	7.0	100.0	

NUMBER OF MISSING OBSERVATIONS = 279

表3-4b ホール種別・客席数別の公演数分布

4) 公共ホールについては民間ホールに比べて、大ホールの利用も比較的多いが、演目数による比較においても、公演数による比較においても、その約8割が1600席以下のホール、その約5割が800席以下のホールを利用して公演を行っており、やはり、中小ホールの利用が大ホールに比べて圧倒的に高いことがわかる。

次に演目の種類と、ホールの客席数との関係を表3-5a, bにみる

と次のことが言える。

1) オペラ公演は、小さい規模のホールでの上演から大きな規模のホールでの上演まで、演目数においても、公演数においても、400人以下

STYP	XSEAT											ROW TOTAL							
	COUNT																		
	COL	PCT	100	400	800	1200	1600	2000	2400	2800	HI								
	TOT	PCT	1	2	3	4	5	6	7	8									
OPER	1	1	10	1	8	1	5	1	8	1	7	1	11	1	0	1	2	1	51
		1	19.6	1	15.7	1	9.8	1	15.7	1	13.7	1	21.6	1	0.0	1	3.9	1	2.2
		1	0.4	1	2.3	1	3.4	1	8.2	1	11.9	1	32.4	1	0.0	1	4.0	1	
BALLET, BUYO (舞踊)	2	1	176	1	42	1	13	1	27	1	14	1	19	1	6	1	2	1	299
		1	58.9	1	14.0	1	4.3	1	9.0	1	4.7	1	6.4	1	2.0	1	0.7	1	12.9
		1	11.3	1	12.3	1	8.8	1	27.8	1	23.7	1	55.9	1	13.3	1	4.0	1	
ENGEKI MUSICAL	3	1	1083	1	183	1	67	1	43	1	21	1	2	1	6	1	8	1	1413
		1	76.6	1	13.0	1	4.7	1	3.0	1	1.5	1	0.1	1	0.4	1	0.6	1	60.7
		1	69.8	1	53.5	1	45.3	1	44.3	1	35.6	1	5.9	1	13.3	1	16.0	1	
NINGYOGEKI	4	1	73	1	19	1	12	1	8	1	2	1	0	1	0	1	0	1	114
		1	64.0	1	16.7	1	10.5	1	7.0	1	1.8	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	4.9
		1	4.7	1	5.6	1	8.1	1	8.2	1	3.4	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	
KABUKI SHINKABUK	5	1	3	1	3	1	2	1	3	1	7	1	0	1	11	1	0	1	29
		1	10.3	1	10.3	1	6.9	1	10.3	1	24.1	1	0.0	1	37.9	1	0.0	1	1.2
		1	0.2	1	0.9	1	1.4	1	3.1	1	11.9	1	0.0	1	24.4	1	0.0	1	
BUNRAKU	6	1	2	1	4	1	0	1	1	1	0	1	1	1	0	1	0	1	8
		1	25.0	1	50.0	1	0.0	1	12.5	1	0.0	1	12.5	1	0.0	1	0.0	1	0.3
		1	0.1	1	1.2	1	0.0	1	1.0	1	0.0	1	2.9	1	0.0	1	0.0	1	
NIHONBUYO MINYO (邦舞)	7	1	14	1	23	1	15	1	4	1	5	1	1	1	3	1	0	1	65
		1	21.5	1	35.4	1	23.1	1	6.2	1	7.7	1	1.5	1	4.6	1	0.0	1	2.8
		1	0.9	1	6.7	1	10.1	1	4.1	1	8.5	1	2.9	1	6.7	1	0.0	1	
KATARI	8	1	58	1	15	1	21	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	94
		1	61.7	1	16.0	1	22.3	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	4.0
		1	3.7	1	4.4	1	14.2	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	
HIME	9	1	30	1	1	1	0	1	0	1	1	1	0	1	0	1	0	1	32
		1	93.8	1	3.1	1	0.0	1	0.0	1	3.1	1	0.0	1	0.0	1	6.0	1	1.4
		1	1.9	1	0.3	1	0.0	1	0.0	1	1.7	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	
SONOTA	10	1	102	1	44	1	13	1	3	1	2	1	0	1	19	1	38	1	221
		1	46.2	1	19.9	1	5.9	1	1.4	1	0.9	1	0.0	1	8.6	1	17.2	1	9.5
		1	6.6	1	12.9	1	8.8	1	3.1	1	3.4	1	0.0	1	42.2	1	76.0	1	
COLUMN TOTAL		1551		342		148		97		59		34		45		50		2326	
		66.7		14.7		6.4		4.2		2.5		1.5		1.9		2.1		100.0	

NUMBER OF MISSING OBSERVATIONS = 15

表3-5a 上演種目別、客席数別の演目数分布

のものから2400席程度のものまで幅広く分布している。ピークはほとんど見あたらないが、あえて、頻度の多い客席数を探すと0~800席、1200~1600席、2000~2400席となっている。しかし、これはオペラ公演に利用されるホール数が限られているという状況を考えると、このピークが、オペラ公演の性格によるものなのか、たまたま



ホラ公演を多く行っているホールがこの範囲に入っているため、ビークの現象が生じているのかは、このデータのみでは判断できない。しかし、傾向として、客席数の大きいホールでは海外の有名歌劇場の引越し公演が中心を占めていることは、原資料から読みとることができる。

STYP	XSEAT										ROW COL TOT	PCT 100 PCT							
	10	THRU 4	401	THRU 800	1200	U 1600	U 2000	U 2400	U 2800	U HI									
OPER	1	50	19	14	27	15	28	0	7	160	31.3	11.9	8.8	16.9	9.4	17.5	0.0	4.4	0.9
	0.6	0.5	1.6	2.4	1.7	36.4	0.0	0.6	0.3	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
BALLET, BUYO (舞踊)	2	516	80	17	37	22	37	12	3	724	71.3	11.0	2.3	5.1	3.0	5.1	1.7	0.4	4.1
	6.2	2.0	1.9	3.3	2.4	48.1	0.9	0.2	2.9	0.4	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
ENGEKI MUSICAL	3	6489	2096	626	831	591	9	275	190	11107	58.4	18.9	5.6	7.5	5.3	0.1	2.5	1.7	1.7
	77.6	52.7	71.1	74.9	65.1	11.7	20.9	15.4	36.3	11.7	3.5	4.7	3.3	0.1	1.5	1.1	1.1	1.1	1.1
NINGYOGEKI	4	563	101	36	27	6	0	0	0	733	76.8	13.8	4.9	3.7	0.8	0.0	0.0	0.0	4.1
	6.7	2.5	4.1	2.4	0.7	0.0	0.0	0.0	3.2	0.6	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
KABUKI SHINKABUK	5	13	89	98	104	252	0	548	0	1104	1.2	8.1	8.9	9.4	22.8	0.0	49.6	0.0	6.2
	0.2	2.2	11.1	9.4	27.8	0.0	41.6	0.0	0.1	0.5	0.5	0.6	1.4	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0
BUNRAKU	6	6	99	0	1	0	1	0	0	107	5.6	92.5	0.0	0.9	0.0	0.9	0.0	0.0	0.6
	0.1	2.5	0.0	0.1	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
NIHONBUYO MINYO (邦舞)	7	27	35	18	5	8	2	14	0	169	24.8	32.1	16.5	4.6	7.3	1.8	12.8	0.0	0.6
	0.3	0.9	2.0	0.5	0.9	2.6	1.1	0.0	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
KATARI	8	99	15	21	0	0	0	0	0	135	73.3	11.1	15.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8
	1.2	0.4	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
MIME	9	116	1	0	0	11	0	0	0	128	90.6	0.8	0.0	0.0	8.6	0.0	0.0	0.0	0.7
	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
SONOTA	10	482	1440	50	77	3	0	468	1035	3555	13.6	40.5	1.4	2.2	0.1	0.0	13.2	29.1	19.9
	5.8	36.2	5.7	6.9	0.3	0.0	35.5	83.8	2.7	8.1	0.3	0.4	0.0	0.0	0.0	2.6	1.1	5.8	5.8
COLUMN TOTAL		8361	3975	890	1109	908	77	1317	1235	17362	46.8	22.3	4.9	6.2	5.1	0.4	7.4	6.9	166.0

NUMBER OF MISSING OBSERVATIONS = 40

表3-5b 上演種目別、客席数別の公演数分布

2) バレエ・現代舞踊(舞踊)については、これも、分布の中が小さい規模から大規模まで、非常に広いのが特徴である。しかし、演目数では全体の72.9%、公演数では82.3%が800人以下のホールを利用して11ること考これは、小・中規模のホールの判

利用率が高いと言ふこともできる。特に400人以下のホールの利用が群を抜いて高いことに注目すべきである。それ以上の規模のホールで、ややピークのありそうな範囲を探すと、1200~1600席、2000~2400席にわずかであるが頻度の高さが見られる。

3) 演劇・ミュージカルについては、やはり舞踊に見られたのと同じように、客席数の小さいホールから大きなホールまで、公演が幅広く分布している。しかし、ここでも、800席以下の場合に、演目数が89.6%、公演数が77.2%と非常に高く、小ホールにおける活動が活発であることを示している。これは、舞踊に見た傾向と同様の傾向と考えることができるが、ややそれと異なる点は、舞踊では、演目数に比して、公演数での比較における小ホールの活動の割合がより高く、つまり、小さなホールでの演目当りの公演回数が、大きなホールのそれよりも多いと解釈できるのに対して、演劇・ミュージカルの場合には、この傾向は逆転していることである。これは、大きな客席数をもつホールに長期間公演を主体とする劇場が多く含まれているためであろう。

4) 人形劇では、2000人を越える大規模な公演はまったくなく、小さいホールに集中する傾向がある。これは、やはり人形劇という、特殊な小さなスケールによってホール規模の上限がやはり規定されてくるからと考えられよう。800席以下のホールの公演数が圧倒的に高く、演目数が全体の80.7%、公演数が全体の90.6%となっている。

5) 歌舞伎、新歌舞伎については、1600席~2000席、2400席~2800席に公演が集中している。この2つで、演目数が全体の62%、公演数が全体の72.4%を占める。これは、この範囲に、国立劇場大ホール、歌舞伎座など歌舞伎公演を主体とした劇場が含まれているためである。特殊な例をのぞいて現状では歌舞伎公演は、特定のホールで行われている。

6) 文楽公演は、400~800席のホールにほとんど集中している。これは、東京における文楽公演が、ほとんど国立劇場小ホールにて、

行われていることによる。

7) 邦舞にフリーズは2800席を越えるものはないものの、400席以下のホールから2800席まで、広い範囲にわたって分布しているのが特徴である。しかも、舞踊、演劇・ミュージカルなどと比較して、400以下の小さなホールの利用率が、演目数で21.5%、公演数で24.8%とやや少なく、かわって800~1200席の規模のホールの利用頻度が高い特徴がある。また小さなピークが2400~2800席及び1600~2000席にあるが、これは、歌舞伎座や国立劇場大ホールのような、古典芸能中心の大劇場を用いた日本舞踊公演の影響である。歌舞伎と日本舞踊とは、その出生より、縁戚関係にある。

8) 語りには、その性格上ほとんど小さなホールに集中している。1200席を越えるホールの公演は、まったく行われていないのが特徴である。

このように、上演種目の違いによって使用するホールの規模も異なっているのが、明確にあらわれている。

2) - d) 上演種目と上演場所

上演種目と上演場所の関係をここでは検討する。表3-6a,bによる  
と次のことが言える。

1) オアウについては、演目数を母数にした場合、演目の58.8%が公

HTYP	COUNT ROW PCT COL PCT TOT PCT	STYP										ROW TOTAL												
		IOPER	BUYO	ENGEKI USICAL	M 3	NINGYOGE KI	KABUKI HINKABUK	S 5	BUNRAKU 6	HOBU 7	KATARI 8		MIME 9	SONOTA 10										
															I									
															1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
KOKURITSU GEKIJO	1	0	0	5	0	10	4	13	1	1	1	6	40											
	0.0	0.0	12.5	0.0	25.0	10.0	32.5	2.5	2.5	15.0	1.8	1.8	1.8											
	0.0	0.0	0.4	0.0	34.5	50.0	20.0	1.4	3.1	2.7	0.3	0.3	0.3											
	0.0	0.0	0.2	0.0	0.4	0.2	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3											
MINKAN GEKIJO	2	3	19	173	8	14	0	14	36	0	138	405												
	0.7	4.7	42.7	2.0	3.5	0.0	3.5	8.9	0.0	34.1	17.9	17.9												
	5.9	6.7	12.5	7.3	48.3	0.0	21.5	48.6	0.0	63.0	6.1	6.1												
	0.1	0.8	7.6	0.4	0.6	0.0	0.6	1.6	0.0	6.1	6.1	6.1												
MINKAN SHOGEKIJO	3	10	72	578	45	2	2	5	12	8	20	754												
	1.3	9.5	76.7	6.0	0.3	0.3	0.7	1.6	1.1	2.7	33.3	33.3												
	19.6	25.3	41.6	40.9	6.9	25.0	7.7	16.2	25.0	9.1	9.1	9.1												
	0.4	3.2	25.6	2.0	0.1	0.1	0.2	0.5	0.4	0.9	0.9	0.9												
GEKIDAN KEIKOBA	4	0	29	149	8	0	0	2	0	4	22	214												
	0.0	13.6	69.6	3.7	0.0	0.0	0.9	0.0	1.9	10.3	9.5	9.5												
	0.0	10.2	10.7	7.3	0.0	0.0	3.1	0.0	12.5	10.0	1.0	1.0												
	0.0	1.3	6.6	0.4	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	1.0	1.0	1.0												
KOKYO HALL	5	30	82	163	39	3	2	21	2	3	13	358												
	8.4	22.9	45.5	10.9	0.8	0.6	5.9	0.6	0.8	3.6	15.8	15.8												
	58.8	28.8	11.7	35.5	10.3	25.0	32.3	2.7	9.4	5.9	5.9	5.9												
	1.3	3.6	7.2	1.7	0.1	0.1	0.9	0.1	0.1	0.6	0.6	0.6												
MINKAN HALL	6	8	52	82	5	0	0	8	4	1	1	161												
	5.0	32.3	50.9	3.1	0.0	0.0	5.0	2.5	0.6	0.6	7.1	7.1												
	15.7	18.2	5.9	4.5	0.0	0.0	12.3	5.4	3.1	0.5	0.5	0.5												
	0.4	2.3	3.6	0.2	0.0	0.0	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0												
MINKAN FREESPACE	7	0	8	5	0	0	0	0	4	0	0	17												
	0.0	47.1	29.4	0.0	0.0	0.0	0.0	23.5	0.0	0.0	0.8	0.8												
	0.0	2.8	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0												
	0.0	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0												
RESTAURANTS SONO	8	0	4	25	0	0	0	0	15	13	13	70												
	0.0	5.7	35.7	0.0	0.0	0.0	0.0	21.4	18.6	18.6	3.1	3.1												
	0.0	1.4	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	20.3	40.6	5.9	5.9	5.9												
	0.0	0.2	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6												
GAKKO	9	0	9	168	2	0	0	2	0	0	4	185												
	0.0	4.9	90.8	1.1	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	2.2	8.2	8.2												
	0.0	3.2	12.1	1.8	0.0	0.0	3.1	0.0	0.0	1.8	1.8	1.8												
	0.0	0.4	7.4	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2												
OPENAIR	10	0	10	41	3	0	0	0	0	2	2	58												
	0.0	17.2	70.7	5.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	3.4	2.6	2.6												
	0.0	3.5	3.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.9	0.9	0.9												
	0.0	0.4	1.8	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1												
COLUMN TOTAL		51	285	1389	110	29	8	65	74	32	219	2262												
TOTAL		2.3	12.6	61.4	4.9	1.3	0.4	2.9	3.3	1.4	9.7	100.0												

NUMBER OF MISSING OBSERVATIONS = 80

表3-6a 演目数を母数にした上演場所と上演種目の関係

共ホールを利用し、公共施設の利用度が他の種目と比べて極めて高い。次いで、民間小劇場、民間ホールが続いている。公演数を母数にした場合についても同様のことがいえるが、ここでは、民間小劇場での割合が割合と高くなり、公共ホールを利用する比率に近づいている。これは、民間小劇場に含めた「モーツァルトサロン」

いう所が積極的に室内創作オペラを行っており、その公演期間が他のものより比較的長いということの影響が出ていることによる。

2) 舞踊では演目数がみると、公共ホール、民間小劇場での上演が多い。しかし、公演数においては、公共ホールよりも、劇団稽古場での公演が多くなっている。また民間小劇場での公演の割合も、演目数による比較の場合に比して高くなっている。これは、公共ホールの場合よりも劇団稽古場、民間小劇場での1演目当りの公演数が長いからであろう。

HTYP	STYP										ROW TOTAL				
	COUNT	PCT	OPPER	BUYO	ENGEKI	M	NINGYOGE	KABUKI	S	BUNRAKU		HOBU	KATARI	MIME	SONOTA
COL	PCT				USICAL	KI	HINKABUK								
TOT	PCT	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
KOKURITSU GEKIJO	1	0.0	0.0	12.7	0.0	61.1	17.7	4.3	0.4	2.0	1.8	1.0	1.8	1.0	558
		0.0	0.0	0.6	0.0	30.9	92.5	22.0	1.9	8.7	0.3	0.1	0.1	0.1	3.2
		0.0	0.0	0.4	0.0	1.9	0.6	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
MINKAN GEKIJO	2	16	59	4256	70	700	0	33	36	0	3330	8500	39.2	48.2	8500
		0.2	0.7	50.1	0.8	8.2	0.0	0.4	0.4	0.0	39.2	48.2	1.1	1.1	48.2
		10.0	8.5	38.8	9.7	63.4	0.0	30.3	33.3	0.0	93.7	18.9	0.1	0.1	93.7
		0.1	0.3	24.1	0.4	4.0	0.0	0.2	0.2	0.0	18.9	0.3	0.1	0.1	
MINKAN SHOGEKIJO	3	50	210	3780	230	12	6	11	30	71	47	4447	25.2	25.2	4447
		1.1	4.7	85.0	5.2	0.3	0.1	0.2	0.7	1.6	1.1	25.2	1.1	1.1	25.2
		31.3	30.1	34.5	31.9	1.1	5.6	10.1	27.8	56.3	1.3	1.3	0.3	0.3	1.3
		0.3	1.2	21.4	1.3	0.1	0.0	0.1	0.2	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3	
GEKIDAN KEIKOBA	4	0	143	1132	9	0	0	4	0	16	93	1397	6.7	7.9	1397
		0.0	10.2	81.0	0.6	0.0	0.0	0.3	0.0	1.1	6.7	7.9	1.1	1.1	7.9
		0.0	20.5	10.3	1.3	0.0	0.0	3.7	0.0	12.7	2.6	2.6	0.1	0.1	2.6
		0.0	0.8	6.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	0.5	0.1	0.1	0.5
KOKYO HALL	5	73	127	374	127	51	2	25	2	3	17	801	4.5	4.5	801
		9.1	15.9	46.7	15.9	6.4	0.2	3.1	0.2	0.4	2.1	4.5	1.1	1.1	4.5
		45.6	18.2	3.4	17.6	4.6	1.9	22.9	1.9	2.4	0.5	0.5	0.1	0.1	0.5
		0.4	0.7	2.1	0.7	0.3	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
MINKAN HALL	6	21	79	392	45	0	0	10	7	1	9	564	3.2	3.2	564
		3.7	14.0	69.5	8.0	0.0	0.0	1.8	1.2	0.2	1.6	3.2	0.8	0.8	3.2
		13.1	11.3	3.6	6.3	0.0	0.0	9.2	6.5	0.8	0.3	0.3	0.1	0.1	0.3
		0.1	0.4	2.2	0.3	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
MINKAN FREESPACE	7	0	11	36	0	0	0	0	9	0	0	56	0.3	0.3	56
		0.0	19.6	64.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.1	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3
		0.0	1.6	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
RESTAURANTS SONO	8	0	11	86	0	0	0	0	22	22	35	176	1.0	1.0	176
		0.0	6.3	48.9	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	19.9	1.0	1.0	1.0	1.0
		0.0	1.6	0.8	0.0	0.0	0.0	20.4	17.5	1.0	1.0	1.0	0.1	0.1	1.0
		0.0	0.1	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.2
GAKKO	9	0	17	588	4	0	0	2	0	0	8	619	3.5	3.5	619
		0.0	2.7	95.0	0.6	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	1.3	3.5	0.0	0.0	1.3
		0.0	2.4	5.4	0.6	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	0.2
		0.0	0.1	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
OPENAIR	10	0	40	253	235	0	0	0	0	2	5	535	3.0	3.0	535
		0.0	7.5	47.3	43.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.9	3.0	0.4	0.9	3.0
		0.0	5.7	2.3	32.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
		0.0	0.2	1.4	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
COLUMN TOTAL		160	697	10968	720	1104	107	109	108	128	3554	17653			17653
TOTAL		0.9	3.9	62.1	4.1	6.3	0.6	0.6	0.6	0.7	20.1	100.0			100.0

NUMBER OF MISSING OBSERVATIONS = 249

表3-6b 公演数を母数にした上演場所と上演種目の関係

3) 演劇・ミュージカルについては、民間劇場、民間小劇場、劇団稽古場の公演が圧倒的に多く、演目数の比較で、64.8%、公演数の

比較で、83.6%を占める。ただし、演目数の比較の限りにおいて、公共ホールも11.7%と少なからぬ寄与をしていることに注目したい。  
また、演目数の比較に比して公演数による比較の場合、民間小劇場に対する民間劇場の割合が高くなっているが、これは、民間劇場での演目当りの公演数が民間小劇場に比して高いことによるものである。

4) 人形劇については演目数による比較において、民間小劇場と公共ホールでの割合が非常に高い。公演数の比較によると演目数比較では少なからず屋外での公演の割合が大巾に増えている。これは、原資料にあたって調べると豊島園の屋外ステージでの長期間にわたる人形劇公演が影響していることによる。この特定の例により、他の上演場所による寄与率が低下しているが、やはり、民間小劇場、公共ホールでの上演は多い傾向を持つ。

5) 歌舞伎については国立劇場と民間劇場で全公演の80~90%を占めている。これは、古典劇を上演する劇場は限定されていることによる。

6) 文楽も公演のほとんどを国立劇場にたよっている。演目数では公共ホールで行った場合もある程度見受けられるが、その公演回数はきわめて少ない。

7) 邦舞については、国立劇場、民間劇場、公共ホールで主として上演され、民間ホールも、次いで利用率が高い。邦舞の場合、演劇などとは異なり、演目数の比較はかりではなく、公演数の比較についても、公共ホールの寄与率が低下しているのが特徴である。これは、邦舞の公演が、他の公演に比して、1演目当りの公演数が全体的に少なく、従って、国立劇場や民間劇場と公共ホールとの間で、公演期間による差が生じないことによると考えられる。

上2)  
図3-1b参照

以上で主たる種目におけるホール種類の寄与の割合を調べたが、ここで、それを、もう一度公共ホールについて中心にまとめると、次のようになる。

- 1) 公共ホールでは種々の上演種目が、バラエティー多く上演されている。
- 2) 特に、公共ホールでの利用率の高い種目は、オペラ、バレエ、人形劇、邦舞である。
- 3) しかし、全体的に見ると、どの種目でも、1演目あたりの公演数は、他の上演場所に比較して少ない傾向にある。

さらに公共ホールに限ったことではないが、ある特定のホールで特色のある演目の長期間公演が行われると、それは、そのジャンルで大きな影響力を示すことが認められる。

2) - e) 最高料金, 最低料金

<公演料金>

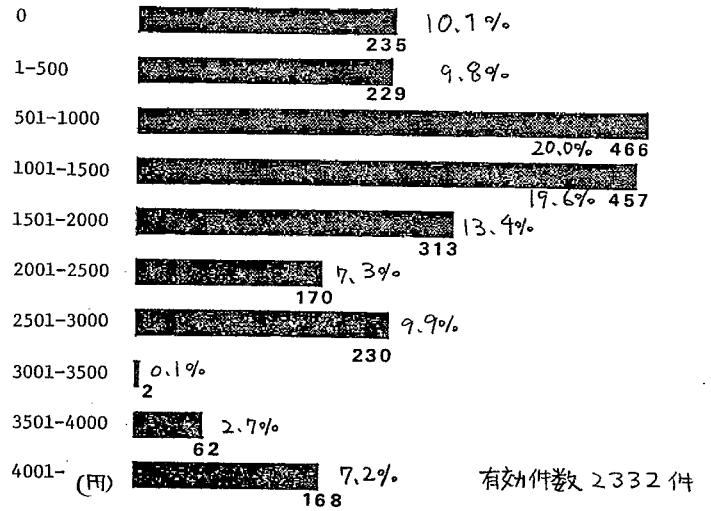


図3-6a 演目数による最高料金の分布

<公演料金>

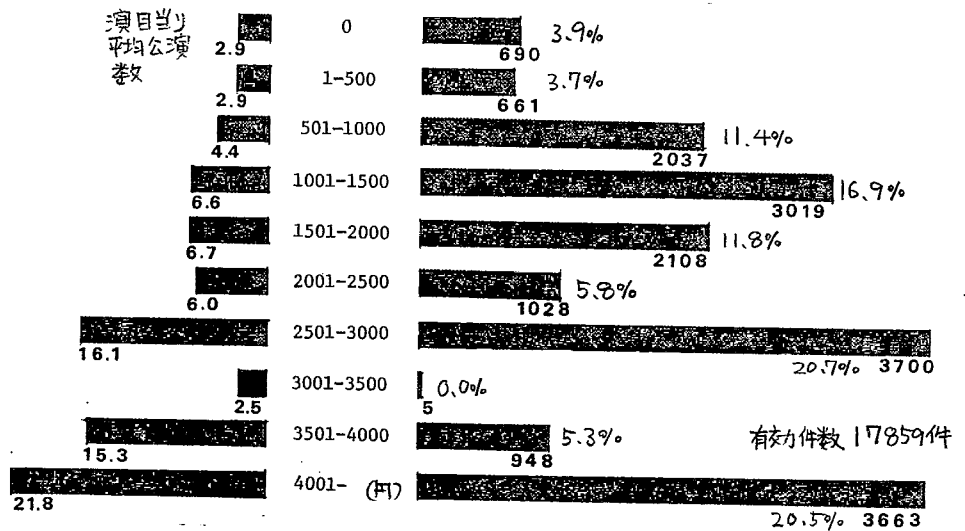


図3-6b 公演数を母数にした最高料金の分布と演目あたり平均公演数

ここでは、公演料金について考察を加えた。まず、考察に入る前に入場税について言及しておかねばならない。現行法においては、3000円まで無税である。従ってこれが料金決定に大きな影響を与えることが予想された。調査の結果をみるとまさに、この予想は適中しており、料金別の演目数、及び公演数の分布とも3000円を境に大きな断層が現われている。3000-3500円の付近にほとんど該当する公演がないのは、この値段では3000円以下に料金をおさえた場合に比べてチケットが少ないからであろう。最高料金については三つのピークが見られる。ひとつ目のピークは1000~1500円付近、ふたつ目は2500~3000円付近、三つ目は4000円以上である。また1演目あたりの平均公演数は、最高料金が高いほど多い傾向



にある。集客能力の高い催し物は、やはり高い料金をとってもお客が集まるといふことであるか。

<料金>

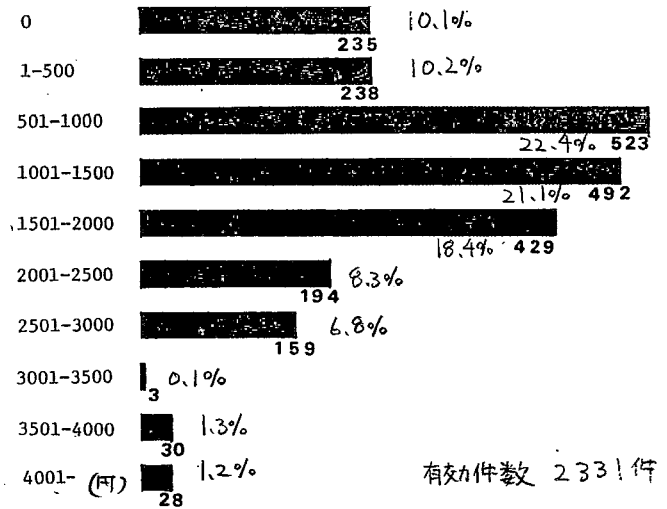


図3-7a 演目数による最低料金の分布

<料金>

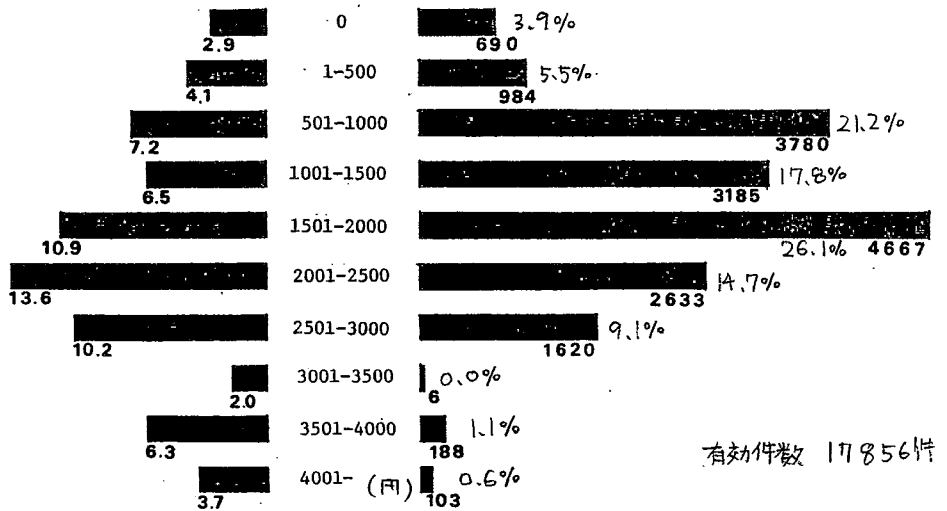


図3-7b 公演数を母数にした最低料金の分布と演目あたり平均公演数

次に最低料金についてみる。ここにはふたつのピークが見られる。それは500円～1000円と1500円～2000円である。また、最高料金とやや様子が異なるのは、3000円という税金のかかるぎりぎりのところで、税のかからない枠の中に無理に収めたようなピークはここには見あたらない。

演目あたりの平均公演数は2000～2500円あたりで最もとなり、その前後では、山形に減少して11るのが特徴である。

ホール1の客席数と最高料金の関係を表3-6a, bに示す。これによると次のような傾向を読みとることが出来る。

1) 最高料金の安いものは小さいホールに集中している。

XSERT (客席数) 人

COUNT	XSERT (客席数) 人								ROW		
	COL PCT 10	THRU 4	401	THRU 801	THRU 1201	THRU 1601	THRU 2001	THRU 2401		THRU 2801	THRU
	800	1200	1600	2000	2400	2800	U HI	U HI	U HI	TOTAL	
	TOT PCT 1	1	2	3	4	5	6	7	8		
XHPRTS	1	183	31	14	1	1	1	2	0	0	231
0	1	79.2	13.4	6.1	0.4	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	10.0
	1	11.8	9.1	9.6	1.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	
	1	7.9	1.3	0.6	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	
1 THRU 500	2	202	18	1	2	5	1	0	0	0	228
	1	88.6	7.9	0.4	0.9	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	9.8
	1	13.0	5.3	0.7	2.1	8.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1	8.7	0.8	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
501 THRU 1000	3	423	21	11	4	1	0	0	0	0	440
	1	92.0	4.6	2.4	0.9	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	19.8
	1	27.3	6.2	7.5	4.2	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1	18.2	0.9	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
1001 THRU 1500	4	381	48	17	7	4	1	0	0	0	457
	1	83.4	10.5	3.7	1.5	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	19.7
	1	24.6	14.1	11.6	7.3	6.9	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1	16.4	2.1	0.7	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
1501 THRU 2000	5	226	52	21	9	3	1	0	0	0	312
	1	72.4	16.7	6.7	2.9	1.0	0.0	0.3	0.0	0.0	13.5
	1	14.6	15.2	14.4	9.4	5.2	0.0	2.2	0.0	0.0	
	1	9.7	2.2	0.9	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
2001 THRU 2500	6	55	49	42	14	5	2	1	2	1	170
	1	32.4	28.8	24.7	8.2	2.9	1.2	0.6	1.2	0.0	7.3
	1	3.6	14.4	28.8	14.6	8.6	5.9	2.2	4.1	0.0	
	1	2.4	2.1	1.8	0.6	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	
2501 THRU 3000	7	47	100	22	19	5	4	1	16	1	229
	1	20.5	43.7	9.6	8.3	2.2	1.7	7.0	7.0	0.0	9.9
	1	3.0	29.3	15.1	19.8	8.6	11.8	35.6	32.7	0.0	
	1	2.0	4.3	0.9	0.8	0.2	0.2	0.7	0.7	0.0	
3001 THRU 3500	8	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	1	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
	1	0.1	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
3501 THRU 4000	9	6	12	5	7	2	1	5	24	1	62
	1	9.7	19.4	8.1	11.3	3.2	1.6	8.1	38.7	0.0	2.7
	1	0.4	3.5	3.4	7.3	3.4	2.9	11.1	49.0	0.0	
	1	0.3	0.5	0.2	0.3	0.1	0.0	0.2	1.0	0.0	
4001 THRU HI	10	25	10	13	33	32	25	22	7	1	167
	1	15.0	6.0	7.8	19.8	19.2	15.0	13.2	4.2	0.0	7.2
	1	1.6	2.9	8.9	34.4	55.2	73.5	48.9	14.3	0.0	
	1	1.1	0.4	0.6	1.4	1.4	1.1	0.9	0.3	0.0	
COLUMN TOTAL		1549	341	146	96	58	34	45	49	2318	
TOTAL		66.8	14.7	6.3	4.1	2.5	1.5	1.9	2.1	100.0	

NUMBER OF MISSING OBSERVATIONS = 24  
 空白数に於ける最高料金と客席数の関係

XSERT (客席数) 人

COUNT	XSERT (客席数) 人								ROW		
	COL PCT 10	THRU 4	401	THRU 801	THRU 1201	THRU 1601	THRU 2001	THRU 2401		THRU 2801	THRU
	800	1200	1600	2000	2400	2800	U HI	U HI	U HI	TOTAL	
	TOT PCT 1	1	2	3	4	5	6	7	8		
XHPRTS	1	602	58	18	1	1	0	1	0	0	682
0	1	88.3	8.5	2.6	0.1	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	3.8
	1	7.2	1.5	2.1	0.1	0.0	3.9	0.0	0.0	0.0	
	1	3.4	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
1 THRU 500	2	601	46	2	3	1	0	0	0	0	659
	1	91.2	7.0	0.3	0.5	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7
	1	7.2	1.2	0.2	0.3	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1	3.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
501 THRU 1000	3	1897	44	20	10	44	0	0	0	0	2015
	1	94.1	2.2	1.0	0.5	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	11.3
	1	22.7	1.1	2.3	0.9	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1	10.6	0.2	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
1001 THRU 1500	4	2444	397	47	19	92	0	0	0	0	3019
	1	81.6	13.2	1.6	0.6	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.9
	1	29.5	10.0	5.5	1.7	10.2	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1	13.8	2.2	0.3	0.1	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
1501 THRU 2000	5	1749	286	48	19	4	0	1	0	0	2107
	1	83.0	13.6	2.3	0.9	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8
	1	20.9	7.2	5.6	1.7	0.4	0.0	0.1	0.0	0.0	
	1	9.8	1.6	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
2001 THRU 2500	6	498	278	180	42	10	4	12	4	0	1028
	1	48.4	27.0	17.5	4.1	1.0	0.4	1.2	0.4	0.0	5.8
	1	6.0	7.0	20.7	3.8	1.1	5.2	0.9	0.3	0.0	
	1	2.8	1.6	1.0	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	
2501 THRU 3000	7	367	2184	136	66	19	14	398	564	0	3098
	1	9.9	57.7	3.7	1.8	0.5	0.4	10.8	15.3	0.0	20.8
	1	4.4	53.7	15.8	6.0	2.1	18.2	30.2	46.1	0.0	
	1	2.1	12.0	0.8	0.4	0.1	0.1	2.2	3.2	0.0	
3001 THRU 3500	8	4	0	0	0	1	0	0	0	0	5
	1	80.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
3501 THRU 4000	9	21	188	92	50	3	2	69	523	0	948
	1	2.2	19.8	9.7	5.3	0.3	0.2	7.3	55.2	0.0	5.3
	1	0.3	4.7	10.7	4.5	0.3	2.6	5.2	42.8	0.0	
	1	0.1	1.1	0.5	0.3	0.0	0.0	0.4	2.9	0.0	
4001 THRU HI	10	152	543	319	897	726	54	837	132	0	3660
	1	4.2	14.8	8.7	24.5	19.8	1.5	22.9	3.6	0.0	20.5
	1	1.8	13.7	37.0	81.0	80.1	70.1	63.6	10.8	0.0	
	1	0.9	3.0	1.8	5.0	4.1	0.3	4.7	0.7	0.0	
COLUMN TOTAL		8355	3974	862	1107	906	77	1317	1223	17821	
TOTAL		46.9	22.3	4.8	6.2	5.1	0.4	7.4	6.9	100.0	

NUMBER OF MISSING OBSERVATIONS = 81  
 空白数に於ける最高料金と客席数の関係

XSEAT (客席数)

ROW PCT	COL PCT	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	TOTAL
1	1	183	31	14	1	0	0	2	0	0	0	231
0	1	79.2	13.4	6.1	0.4	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
1	11.8	9.1	9.6	1.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1	7.9	1.3	0.6	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	1	202	18	1	4	1	5	1	0	1	7	237
1	85.2	7.6	0.4	1.7	2.1	0.0	3.0	0.0	0.0	10.2	0.0	10.2
1	13.0	5.3	0.7	4.2	8.6	0.0	15.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1	8.7	0.8	0.0	0.2	0.2	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	1	423	22	19	4	11	3	18	1	17	17	517
501	81.8	4.3	3.7	0.8	2.1	0.6	3.5	3.3	0.0	22.3	0.0	22.3
1	27.3	6.5	13.0	4.2	19.0	8.8	40.0	35.4	0.0	0.0	0.0	0.0
1	18.3	0.9	0.8	0.2	0.5	0.1	0.8	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0
4	1	388	60	19	12	5	5	1	1	2	492	492
1001	78.9	12.2	3.9	2.4	1.0	1.0	0.2	0.4	0.0	21.2	0.0	21.2
1	25.0	17.6	13.0	12.5	8.6	14.7	2.2	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0
1	16.7	2.6	0.8	0.5	0.2	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
5	1	225	54	49	42	16	5	13	24	428	428	428
1501	52.6	12.6	11.4	9.8	3.7	1.2	3.0	5.6	18.5	0.0	0.0	18.5
1	14.5	15.8	33.6	43.8	27.6	14.7	28.9	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1	9.7	2.3	2.1	1.8	0.7	0.2	0.6	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6	1	56	66	32	25	9	5	0	1	194	194	194
2001	28.9	34.0	16.5	12.9	4.6	2.6	0.0	0.5	8.4	0.0	0.0	8.4
1	3.6	19.4	21.9	26.0	15.5	14.7	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0
1	2.4	2.8	1.4	1.1	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7	1	45	79	12	7	8	4	2	1	158	158	158
2501	28.5	50.0	7.6	4.4	5.1	2.5	1.3	0.6	6.8	0.0	0.0	6.8
1	2.9	23.2	8.2	7.3	13.8	11.8	4.4	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0
1	1.9	3.4	0.5	0.3	0.3	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8	1	1	0	0	0	1	0	1	0	3	3	3
3001	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1
1	0.1	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9	1	6	10	0	1	3	6	3	1	30	30	30
3501	20.0	33.3	0.0	3.3	10.0	20.0	10.0	3.3	1.3	0.0	0.0	1.3
1	0.4	2.9	0.0	1.0	5.2	17.6	6.7	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0
1	0.3	0.4	0.0	0.0	0.1	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10	1	20	1	0	0	0	4	0	2	27	27	27
4001	74.1	3.7	0.0	0.0	0.0	14.8	0.0	7.4	1.2	0.0	0.0	1.2
1	1.3	0.3	0.0	0.0	0.0	11.8	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0
1	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1
COLUMN	TOTAL	1549	341	146	96	58	34	45	48	2317	2317	2317
		66.9	14.7	6.3	4.1	2.5	1.5	1.9	2.1	100.0	100.0	100.0

XSEAT (客席数)

ROW PCT	COL PCT	10	20	30	40	50	60	70	80	90	100	TOTAL
1	1	602	59	18	1	0	1	3	0	0	0	682
0	1	88.3	8.5	2.6	0.1	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8
1	7.2	1.5	2.1	0.1	0.0	0.0	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1	3.4	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2	1	601	46	2	7	1	0	1	0	0	0	682
1	61.2	4.7	0.2	0.7	1.0	0.0	32.5	0.0	0.0	5.5	0.0	5.5
1	7.2	1.2	0.2	0.6	0.8	0.0	24.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1	3.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	1	1897	46	30	61	31	8	828	557	3758	3758	3758
501	50.5	1.2	0.8	1.6	8.8	0.2	22.0	14.8	21.1	0.0	0.0	21.1
1	22.7	1.2	3.5	5.5	36.5	10.4	62.9	45.7	0.0	0.0	0.0	0.0
1	10.6	0.3	0.2	0.3	1.9	0.0	4.6	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0
4	1	2510	442	67	33	7	11	12	103	3195	3195	3195
1001	78.8	13.9	2.1	1.0	0.2	0.3	0.4	3.2	17.9	0.0	0.0	17.9
1	30.0	11.1	7.8	3.0	0.8	14.3	0.9	8.4	0.0	0.0	0.0	0.0
1	14.1	2.5	0.4	0.2	0.0	0.1	0.1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0
5	1	1796	391	439	821	513	15	143	548	4656	4656	4656
1501	38.5	8.4	9.4	17.6	11.0	0.3	3.1	11.7	26.2	0.0	0.0	26.2
1	21.5	9.8	50.9	74.2	56.6	19.5	10.9	44.9	0.0	0.0	0.0	0.0
1	10.1	2.2	2.5	4.6	2.9	0.1	0.8	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0
6	1	449	1919	124	109	17	14	0	1	2633	2633	2633
2001	17.1	72.9	4.7	4.1	0.6	0.5	0.0	0.0	14.8	0.0	0.0	14.8
1	5.4	48.3	14.4	9.8	1.9	18.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
1	2.5	10.8	0.7	0.6	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7	1	416	905	182	72	25	8	8	1	1618	1618	1618
2501	25.7	55.9	11.2	4.4	1.5	0.5	0.5	0.1	9.1	0.0	0.0	9.1
1	5.0	22.8	21.1	6.5	2.8	10.4	0.6	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
1	2.3	5.1	1.0	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8	1	4	0	0	0	1	0	1	0	6	6	6
3001	66.7	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9	1	21	141	0	3	5	10	6	2	188	188	188
3501	11.2	75.0	0.0	1.6	2.7	5.3	3.2	1.1	1.1	0.0	0.0	1.1
1	0.3	3.5	0.0	0.3	0.6	13.0	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
1	0.1	0.8	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10	1	59	26	0	0	0	8	0	1	100	100	100
4001	59.0	26.0	0.0	0.0	0.0	8.0	0.0	7.0	0.6	0.0	0.0	0.6
1	0.7	0.7	0.0	0.0	0.0	10.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
COLUMN	TOTAL	8355	3974	862	1107	906	77	1317	1220	17816	17816	17816
		46.9	22.3	4.8	6.2	5.1	0.4	7.4	6.8	100.0	100.0	100.0

公演数に関する最低料金と客席数の関係

公演数に関する最低料金と客席数の関係

2) 最高料金の高いものは、客席数の広い範囲にわたって分布している。

3) 小さなホールでは安い最高料金がより多く設定されている。

4) 大きなホールでは高い最高料金が多く設定されている。

最低料金については大きく次のようなことが言える。

1) 小さい客席数のホールでは最低料金には大きな中がある。しかし、中でも500~2000円あたりに多くが集中している。

2) 大きな客席数のホールについては2400~2800席及び1600~2000席のホールについては、500~1000円と1500~2000円のラニクにピークが、2800席以上のホールについては500~1000円と1500~2000円にピークが見られる。大きな客席数のホールに従ってピークの現れ方が顕著になる。

3) 800~1600席のホールについては1500円~2000円にピークが見られる。

CODE	VALUE LABEL	SUM	MEAN	N
1.	KOKURITSU GEKIJU	120400.0000	3010.0000	( 40)
2.	MINKAN GEKIJU	1248200.0000	3104.9751	( 402)
3.	MINKAN SHOGEKIJU	911220.0000	1208.5146	( 754)
4.	GEKIDAN KEIKOBA	296710.0000	1386.4953	( 214)
5.	KOKYONHALL	950948.0000	2678.7268	( 355)
6.	MINKAN HALL	351150.0000	2194.6875	( 160)
7.	MINKAN FREESPACE	22600.0000	1329.4118	( 17)
8.	RESTAURANTS SONOTA	106600.0000	1522.8571	( 70)
9.	GAKKO	70050.0000	378.6486	( 185)
10.	OPENAIR	60500.0000	1061.4035	( 57)

表3-9a 上演場所と最高料金(母数 演目数)

計2254

CODE	VALUE LABEL	SUM	MEAN	N
1.	KOKURITSU GEKIJU	1854800.0000	3324.0143	( 558)
2.	MINKAN GEKIJU	32035200.0000	3781.7495	( 8471)
3.	MINKAN SHOGEKIJU	6308700.0000	1418.6418	( 4447)
4.	GEKIDAN KEIKOBA	1928610.0000	1380.5369	( 1397)
5.	KOKYONHALL	2301393.0000	2909.4728	( 791)
6.	MINKAN HALL	1284150.0000	2280.9059	( 563)
7.	MINKAN FREESPACE	90700.0000	1619.6429	( 56)
8.	RESTAURANTS SONOTA	287500.0000	1633.5227	( 176)
9.	GAKKO	265700.0000	429.2407	( 619)
10.	OPENAIR	574600.0000	1076.0300	( 534)

表3-9b 上演場所と最高料金(母数 公演数)

計17612

CODE	VALUE LABEL	SUM	MEAN	N
1.	KOKURITSU GEKIJU	82600.0000	2065.0000	( 40)
2.	MINKAN GEKIJU	816700.0000	2036.6584	( 401)
3.	MINKAN SHOGEKIJU	907320.0000	1203.3422	( 754)
4.	GEKIDAN KEIKOBA	291710.0000	1363.1308	( 214)
5.	KOKYO MALL	553848.0000	1560.1352	( 355)
6.	MINKAN HALL	318250.0000	1989.0625	( 160)
7.	MINKAN FREESPACE	22600.0000	1329.4118	( 17)
8.	RESTAURANTS SONOTA	106600.0000	1522.8571	( 70)
9.	GAKKO	67050.0000	362.4324	( 185)
10.	OPENAIR	51000.0000	894.7368	( 57)

表3-10a 上演場所と最低料金(母数 演目数) 計2253

CODE	VALUE LABEL	SUM	MEAN	N
1.	KOKURITSU GEKIJU	944000.0000	1691.7563	( 558)
2.	MINKAN GEKIJU	16246100.0000	1918.5286	( 8468)
3.	MINKAN SHOGEKIJU	6248100.0000	1405.0146	( 4447)
4.	GEKIDAN KEIKOBA	1913610.0000	1369.7996	( 1397)
5.	KOKYOHALL	1306093.0000	1651.1922	( 791)
6.	MINKAN HALL	1155150.0000	2051.7762	( 563)
7.	MINKAN FREESPACE	90700.0000	1619.6429	( 56)
8.	RESTAURANTS SONOTA	287500.0000	1633.5227	( 176)
9.	GAKKO	259700.0000	419.5477	( 619)
10.	OPENAIR	549600.0000	1029.2135	( 534)

表3-10b 上演場所と最低料金(母数 公演数) 計17609

ここで上演場所と料金について考察する。表3-9a,bに、上演場所ごとの最高料金の平均を示した。国立劇場から民間ホールまでの6つの主要な上演場所についての平均最高料金について、下記のおなことがいえる。

1) 演目数においても公演数においても、平均最高料金の高いほうからの順序は①民間劇場②国立劇場③公共ホール④民間ホールと4番までの順位は同じで、演目数によると5番は劇団稽古場、公演数によると民間小劇場となっている。

2) 民間劇場・国立劇場と民間小劇場・劇団稽古場の平均最高料金には2倍の開きがある。

3) 民間ホール、公共ホールは上記の両者の中間に位置する。民間ホールに比して公共ホールの平均最高料金のほうが高い。

次に表3-10a,bに各上演場所ごとの平均最低料金を示す。このうち主要な6つの上演場所について、特徴をまとめると次のようなことがいえる。

2) 演目数によると、主要6上演場所の平均最低料金の高い順に①国立劇場、②民間劇場、③民間ホール、④公共ホール、⑤劇団稽古場、⑥民間小劇場の順となる。公演数ではやや順位が入れかわり、①民間ホール、②民間劇場、③国立劇場、④公共ホール、⑤民間小劇場、⑥劇団稽古場となっている。

2) 民間劇場・国立劇場と劇団稽古場、民間小劇場との料金の開きは、最高料金の場合よりも小さい。

3) 最高料金では中間の位置にあった民間ホールが、公演数による比較では、トップになっている。逆に公共ホールの順位は相対的に低下している。

さて、ここで、各上演場所の平均最高料金と平均最低料金の比をとってみると下表のようになる。

	演目数を母数とした場合	公演数を母数とした場合
国立劇場	1.46	1.97
民間劇場	1.52	1.97
民間小劇場	1.00	1.01
劇団稽古場	1.02	1.01
公共ホール	1.71	1.76
民間ホール	1.10	1.11

表3-11. 上演場所別の平均最高料金/平均最低料金

演目数による比較によると、平均最高料金/平均最低料金の比率の最も高いのは公共ホールで1.71倍、次いで、民間劇場、国立劇場、民間ホール、劇団稽古場、民間小劇場と続く。公演数では、少し順位が入れかわり、国立劇場、民間劇場が1.97でトップで、公共ホールがその次に来る。ここでみると、平均最高料金/平均最低料金の比率は、三つのタイプに分けることができる。1つのタイプは国立劇場、民間劇場タイプで、公演数を母数とした場合の平均

最高料金/平均最低料金の比率が、約2倍と高いが、演目数を母数とした場合には、約1.5倍となるタイプ。ふたつ目は、民間小劇場、劇団稽古場、民間ホールのように、平均最高料金と平均最低料金の差がほとんどないもの。3つ目は、その中間のもので、公共ホールがそれにあたり、平均最高料金/平均最低料金の比率が1.7程度のものである。

ここで、これらのことをまとめて公共ホールを中心にその特徴を記述すると次のようになる。

1) 最高料金による比較では、公共ホールは、民間劇場、国立劇場と並んで、かなり高い料金体系となっている。民間ホールと比較すると、公共ホールのほうが、平均最高料金が高い。

2) 最低料金による比較では、公共ホールの料金は、むしろ、民間小劇場、劇団稽古場と並び、小額な料金体系の部類に属している。民間ホールに比べても、かなり安くなっている。

3) 民間ホールと公共ホールを比べると前者は平均最高料金と平均最低料金の開きはそれほど見られにくいに対して、後者は比較的差が設けられている。

4) 一般的にみて、公共施設のキリットは最高料金ではなく最低料金の設定に見られる。しかし、公共ホールといえども、他の上演場所と比して、最低料金の大差差異はない。

さらにここで演目の種類と料金とについて考察する。表3-12a.bに最高料金について、表3-13a.bに最低料金について示す。

リホラの最高料金については、演目数による比較においても公演数による比較においても全公演の約半数が4000円以上に設定されている。また小さなピークが2000-3000円という免税範囲ギリギリのところには、そしてもうひとつ1000-1500円というやや安いところに見られる。しかし、1000円以下の最高料金は皆無に近く、リホラの最高料金は他の演目と比べてきわだって高いことがあげられる。ちなみに、この傾向は、歌舞伎に類似している。最低料金については2000~2500円にピークが見られ、他の

STYP	COUNT	XHPRIS										ROW TOTAL
		10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
OPER	1	0	1	0	7	2	2	6	0	3	25	45
		0.0	2.2	0.0	15.2	4.3	4.3	13.0	0.0	6.5	54.3	2.0
		0.0	0.4	0.0	1.5	0.6	1.2	2.6	0.0	4.8	14.9	
		0.0	0.0	0.0	0.3	0.1	0.1	0.3	0.0	0.1	1.1	
BUYO	2	31	15	42	48	58	18	40	1	7	40	300
		10.3	5.0	14.0	16.0	19.3	6.0	13.3	0.3	2.3	13.3	12.9
		13.2	6.6	9.1	10.5	18.5	10.6	17.4	50.0	11.3	23.8	
		1.3	0.6	1.8	2.1	2.5	0.8	1.7	0.0	0.3	1.7	
ENGEKI MUSICAL	3	158	188	332	338	178	75	82	0	13	53	1417
		11.2	13.3	23.4	23.9	12.6	5.3	5.8	0.0	0.9	3.7	60.8
		67.2	82.1	71.6	74.1	56.9	44.1	35.7	0.0	21.0	31.5	
		6.8	8.1	14.3	14.5	7.6	3.2	3.5	0.0	0.6	2.3	
NINGYOGEKI	4	12	13	29	18	26	15	1	0	0	0	114
		10.5	11.4	25.4	15.8	22.8	13.2	0.9	0.0	0.0	0.0	4.9
		5.1	5.7	6.3	3.9	8.3	8.8	0.4	0.0	0.0	0.0	
		0.5	0.6	1.2	0.8	1.1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
KABUKI SHINKABUK	5	0	1	1	2	1	0	1	0	3	20	29
		0.0	3.4	3.4	6.9	3.4	0.0	3.4	0.0	10.3	69.0	1.2
		0.0	0.4	0.2	0.4	0.3	0.0	0.4	0.0	4.8	11.9	
		0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.9	
BUNRAKU	6	0	0	0	1	3	0	4	0	0	0	8
		0.0	0.0	0.0	12.5	37.5	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.3
		0.0	0.0	0.0	0.2	1.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	
NIHONBUYO MINYO (和舞)	7	5	0	2	7	7	25	14	0	4	1	65
		7.7	0.0	3.1	10.8	10.8	38.5	21.5	0.0	6.2	1.5	2.8
		2.1	0.0	0.4	1.5	2.2	14.7	6.1	0.0	6.5	0.6	
		0.2	0.0	0.1	0.3	0.3	1.1	0.6	0.0	0.2	0.0	
KATARI	8	16	8	22	26	13	8	1	0	0	0	94
		17.0	8.5	23.4	27.7	13.8	8.5	1.1	0.0	0.0	0.0	4.0
		6.8	3.5	4.7	5.7	4.2	4.7	0.4	0.0	0.0	0.0	
		0.7	0.3	0.9	1.1	0.6	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
MIME	9	5	2	21	1	2	2	0	0	0	1	34
		14.7	5.9	61.8	2.9	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	2.9	1.5
		2.1	0.9	4.5	0.2	0.6	1.2	0.0	0.0	0.0	0.6	
		0.2	0.1	0.9	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
SONOTA	10	8	1	15	8	23	25	81	1	32	28	222
		3.6	0.5	6.8	3.6	10.4	11.3	36.5	0.5	14.4	12.6	9.5
		3.4	0.4	3.2	1.8	7.3	14.7	35.2	50.0	51.6	16.7	
		0.3	0.0	0.6	0.3	1.0	1.1	3.5	0.0	1.4	1.2	
COLUMN TOTAL		235	229	464	456	313	170	230	2	62	168	2329
TOTAL		10.1	9.8	19.9	19.6	13.4	7.3	9.9	0.1	2.7	7.2	160.0

NUMBER OF MISSING OBSERVATIONS = 13

表3-12a 演目数による上演種目と最高料金の関係



種目に対して最低料金のピークの位置が最も高い。これは、特に最高料金の高い歌舞伎が最低料金が500~1000円という安い料金を多く設定しているのに対照的である。これはオラ公演が非常にお金のかかるものであるにもかかわらず、鑑賞人口が少ない等の事情で、破格の安い席を設けることのできない状況を暗示している。

2) 舞踊の最高料金は、演目数による比較、公演数による比較ともに最も多いのが1000円~2000円代で、ついで2500円~3000円という免税範囲ギリギリのところ、そして4000円以上の高いところにピークが見られる。また無料公演も、演目数で10.3%、公演数で15.9%と他の種目に対して高いのが特徴である。最低料金

XHPRIS															ROW TOTAL	
COUNT	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10						
ROW PCT	10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3		4
COL PCT	1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3		4
TOT PCT	1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	1	2	3		4
OPER	1	0	1	1	0	24	10	13	28	0	7	65	148	0.8		
	1	0.0	0.7	1.0	0.0	16.2	6.8	8.8	18.9	0.0	4.7	43.9				
	1	0.0	0.2	0.0	0.8	0.5	1.3	0.8	1.0	0.0	0.7	1.8				
	1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0	0.4				
BUNYO	2	115	41	64	115	167	31	104	1	10	77	725	4.1			
	1	15.9	5.7	8.8	15.9	23.0	4.3	14.3	0.1	1.4	10.6					
	1	16.7	6.2	3.1	3.8	7.9	3.0	2.8	20.0	1.1	2.1					
	1	0.6	0.2	0.4	0.6	0.9	0.2	0.6	0.0	0.1	0.4					
ENGEKI MUSICAL	3	436	574	1412	2390	1622	735	1331	0	335	2281	11116	62.3			
	1	3.9	5.2	12.7	21.5	14.6	6.6	12.0	0.0	3.0	20.5					
	1	63.2	86.8	69.5	79.2	76.9	71.5	36.0	0.0	35.3	62.3					
	1	2.4	3.2	7.9	13.4	9.1	4.1	7.5	0.0	1.9	12.8					
NINGYOGEKI	4	29	26	308	83	199	63	25	0	0	0	733	4.1			
	1	4.0	3.5	42.0	11.3	27.1	8.6	3.4	0.0	0.0	0.0					
	1	4.2	3.9	15.2	2.8	9.4	6.1	0.7	0.0	0.0	0.0					
	1	0.2	0.1	1.7	0.5	1.1	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0					
KABUKI SHINKABUKI	5	0	1	6	88	6	0	2	0	89	912	1104	6.2			
	1	0.0	0.1	0.5	8.0	0.5	0.0	0.2	0.0	8.1	82.6					
	1	0.0	0.2	0.3	2.9	0.3	0.0	0.1	0.0	9.4	24.9					
	1	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	5.1					
BUNRAKU	6	0	0	0	18	7	0	82	0	0	0	107	0.6			
	1	0.0	0.0	0.0	16.8	6.5	0.0	76.6	0.0	0.0	0.0					
	1	0.0	0.0	0.0	0.6	0.3	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0					
	1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0					
NIHONBUYO MINYO (手踊)	7	9	0	4	10	10	35	32	0	8	1	109	0.6			
	1	8.3	0.0	3.7	9.2	9.2	32.1	29.4	0.0	7.3	0.9					
	1	1.3	0.0	0.2	0.3	0.5	3.4	0.9	0.0	0.8	0.0					
	1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0					
KATARI	8	27	14	36	32	16	9	1	0	0	0	135	0.8			
	1	20.0	10.4	26.7	23.7	11.9	6.7	0.7	0.0	0.0	0.0					
	1	3.9	2.1	1.8	1.1	0.8	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0					
	1	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0					
HIME	9	54	2	48	3	6	5	0	0	0	11	129	0.7			
	1	41.9	1.6	37.2	2.3	4.7	3.9	0.0	0.0	0.0	3.5					
	1	7.8	0.3	2.4	0.1	0.3	0.5	0.0	0.0	0.0	0.3					
	1	0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1					
SONOTA	10	20	2	155	255	65	137	2095	4	499	316	3548	19.9			
	1	0.6	0.1	4.4	7.2	1.8	3.9	59.0	0.1	14.1	8.9					
	1	2.9	0.3	7.6	8.4	3.1	13.3	56.6	1	52.6	8.6					
	1	0.1	0.0	0.9	1.4	0.4	0.8	11.7	0.0	2.8	1.8					
COLUMN TOTAL		690	661	2033	3018	2108	1028	3700	5	948	3663	17854				
TOTAL		3.9	3.7	11.4	16.9	11.8	5.8	20.7	0.0	5.3	20.5	100.0				

NUMBER OF MISSING OBSERVATIONS = 48

表3-12b. 公演数による上演種目と最高料金の関係

については1000~2000円代、及び2500~3000円代のものにピークが見られる。4000円以上の高い最低料金は少ない。舞踊の料金の特徴をまとめると、非常に高い席もあれば、無料の席もあるなど、その料金には大きな巾があること、他のジャンルに比べて、やや高目の料金体系となっていることなどがあげられる。

3) 演劇・ミュージカルの料金についても巾があることが特徴である。無料公演もかなり見られる。しかし、やはり無料公演の多い舞踊と違う点は、演劇・ミュージカルの場合は、演目数としては多いが、公演総数としては小さな比率になっているという点である。つまり、無

		XLPRIS																								
		COUNT															ROW									
STYP	ROW	PCT	IO	1	THRU	5	501	THRU	1001	THR	1501	THR	2001	THR	2501	THR	3001	THR	3501	THR	4001	THR	ROW			
TOT	PCT	I	00	1	1000	U	1500	U	2000	U	2500	U	3000	U	3500	U	4000	U	HI	U	10	I	TOTAL			
OPER	1	0	1	1	3	8	5	17	1	17	1	17	1	2	0	1	4	1	13	0	1	6	1	46		
		0.0	1	2.2	1	6.5	1	17.4	1	10.9	1	37.0	1	4.3	1	0.0	1	8.7	1	13.0	1	6	1	2.0		
		0.0	1	0.4	1	0.6	1	1.6	1	1.2	1	8.8	1	1.3	1	0.0	1	13.3	1	21.4	1	1	1			
		0.0	1	0.0	1	0.1	1	0.3	1	0.2	1	0.7	1	0.1	1	0.0	1	0.2	1	0.3	1	1	1			
BUJO	2	31	1	15	1	42	1	55	1	79	1	26	1	38	1	2	1	10	1	10	1	2	1	300		
		10.3	1	5.0	1	14.0	1	18.3	1	26.3	1	8.7	1	12.7	1	0.7	1	3.3	1	0.7	1	1	1	12.9		
		13.2	1	6.3	1	8.1	1	11.2	1	18.4	1	13.4	1	23.9	1	66.7	1	33.3	1	7.1	1	1	1			
		1.3	1	0.6	1	1.8	1	2.4	1	3.4	1	1.1	1	1.6	1	0.1	1	0.4	1	0.1	1	1	1			
ENGEKI MUSICAL	3	158	1	190	1	345	1	353	1	226	1	86	1	52	1	0	1	6	1	1	1	1	1	1417		
		11.2	1	13.4	1	24.3	1	24.9	1	15.9	1	6.1	1	3.7	1	0.0	1	0.4	1	0.1	1	1	1	60.9		
		67.2	1	79.8	1	66.2	1	71.9	1	52.7	1	44.3	1	32.7	1	0.0	1	20.0	1	3.6	1	1	1			
		6.8	1	8.2	1	14.8	1	15.2	1	9.7	1	3.7	1	2.2	1	0.0	1	0.3	1	0.0	1	1	1			
NINGYOSEKI	4	12	1	14	1	30	1	22	1	29	1	6	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	114	
		10.5	1	12.3	1	26.3	1	19.3	1	25.4	1	5.3	1	0.9	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	4.9
		5.1	1	5.9	1	5.8	1	4.5	1	6.8	1	3.1	1	0.6	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	
		0.5	1	0.6	1	1.3	1	0.9	1	1.2	1	0.3	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	
KABUKI SHINKABUK	5	0	1	1	19	1	0	1	4	1	1	1	2	1	0	1	2	1	0	1	2	1	0	1	29	
		0.0	1	3.4	1	65.5	1	0.0	1	13.8	1	3.4	1	6.9	1	0.0	1	6.9	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	1.2
		0.0	1	0.4	1	3.6	1	0.0	1	0.9	1	0.5	1	1.3	1	0.0	1	6.7	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	
		0.0	1	0.0	1	0.8	1	0.0	1	0.2	1	0.0	1	0.1	1	0.0	1	0.1	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	
BUNRAKU	6	0	1	0	1	0	1	2	1	4	1	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	8	
		0.0	1	0.0	1	0.0	1	25.0	1	50.0	1	12.5	1	12.5	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.3
		0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.4	1	0.9	1	0.5	1	0.6	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	
		0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.1	1	0.2	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	
NIHONBUYO MINYO (邦楽)	7	5	1	0	1	2	1	9	1	13	1	22	1	13	1	0	1	1	1	1	1	1	1	65		
		7.7	1	0.0	1	3.1	1	13.8	1	20.0	1	33.8	1	20.0	1	0.0	1	1.5	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	2.8
		2.1	1	0.0	1	0.4	1	1.8	1	3.0	1	11.3	1	8.2	1	0.0	1	3.3	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	
		0.2	1	0.0	1	0.1	1	0.4	1	0.6	1	0.9	1	0.6	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	
KATARI	8	16	1	8	1	28	1	30	1	10	1	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	94	
		17.0	1	8.5	1	29.8	1	31.9	1	10.6	1	1.1	1	1.1	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	4.0
		6.8	1	3.4	1	5.4	1	6.1	1	2.3	1	0.5	1	0.6	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	
		0.7	1	0.3	1	1.2	1	1.3	1	0.4	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	
HIME	9	5	1	2	1	21	1	1	1	2	1	2	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	34	
		14.7	1	5.9	1	61.8	1	2.9	1	5.9	1	5.9	1	2.9	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	1.5
		2.1	1	0.8	1	4.0	1	0.2	1	0.5	1	1.0	1	0.6	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	
		0.2	1	0.1	1	0.9	1	0.0	1	0.1	1	0.1	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	
SONOTA	10	8	1	7	1	31	1	11	1	57	1	32	1	48	1	1	1	7	1	19	1	19	1	221		
		3.6	1	3.2	1	14.0	1	5.0	1	25.8	1	14.5	1	21.7	1	0.5	1	3.2	1	8.6	1	8.6	1	8.6	1	9.5
		3.4	1	2.9	1	6.0	1	2.2	1	13.3	1	16.5	1	30.2	1	33.3	1	23.3	1	67.9	1	67.9	1	67.9	1	
		0.3	1	0.3	1	1.3	1	0.5	1	2.4	1	1.4	1	2.1	1	0.0	1	0.3	1	0.8	1	0.8	1	0.8	1	
COLUMN TOTAL		235		233		521		491		429		194		159		3		30		28		28		2328		
		10.1		10.2		22.4		21.1		18.4		8.3		6.8		0.1		1.3		1.2		1.2		100.0		

NUMBER OF MISSING OBSERVATIONS = 14

表3-13a 演目数に見る上演種目と最低料金の関係

料公演の1演目あたりの公演回数が有料公演に比べて少ないことが示唆されている。有料公演のうちで、最高料金の分布をみると、演目数による比較では500~1500円が最も多く、非、最高料金の84.4%が2000円以下の範囲に入ってしまうのに対して、公演数による比較では2500~3000円及び4000円以上の席が高率であり、2500円以上の最高料金を設定しているものが、全体の35.5%を占める。(演目数比較では10.4%であった。)これは、最高料金を高く設定している公演は、演目あたりの平均公演数が多いことを示唆している。高い料金のとれるものは長く続けられるということであろうか。

XLPRIS													
STYP	COUNT	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	ROW	TOTAL
	10	THRU 500	THRU 1000	THRU 1500	THRU 2000	THRU 2500	THRU 3000	THRU 3500	THRU 4000	THRU 4000	THRU HI		
	PCT	00	1000	1500	2000	2500	3000	3500	4000	HI			
	TOT	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
OPER	1	0	1	8	26	17	68	5	0	8	15	148	0.8
		0.0	0.7	5.4	17.6	11.5	45.9	3.4	0.0	5.4	10.1		
		0.0	0.1	0.2	0.8	0.4	2.6	0.3	0.0	4.3	14.6		
		0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.4	0.0	0.0	0.0	0.1		
BUYO	2	115	41	64	127	202	64	91	2	16	3	725	4.1
		15.9	5.7	8.8	17.5	27.9	8.8	12.6	0.3	2.2	0.4		
		16.7	4.2	1.7	4.0	4.3	2.4	5.6	33.3	8.5	2.9		
		0.6	0.2	0.4	0.7	1.1	0.4	0.5	0.0	0.1	0.0		
ENGEKI MUSICAL	3	436	622	1867	2476	3223	1206	1189	0	71	26	11116	62.3
		3.9	5.6	16.8	22.3	29.0	10.8	10.7	0.0	0.6	0.2		
		63.2	63.2	49.4	77.8	69.1	45.8	73.4	0.0	37.8	25.2		
		2.4	3.5	10.5	13.9	18.1	6.8	6.7	0.0	0.4	0.1		
NINGYOGEKI	4	29	28	310	112	214	15	25	0	0	0	733	4.1
		4.0	3.8	42.3	15.3	29.2	2.0	3.4	0.0	0.0	0.0		
		4.2	2.8	8.2	3.5	4.6	0.6	1.5	0.0	0.0	0.0		
		0.2	0.2	1.7	0.6	1.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0		
KABUKI SHINKABUKI	5	0	1	806	0	110	48	73	0	66	0	1104	6.2
		0.0	0.1	73.0	0.0	10.0	4.3	6.6	0.0	6.0	0.0		
		0.0	0.1	21.3	0.0	2.4	1.8	4.5	0.0	35.1	0.0		
		0.0	0.0	4.5	0.0	0.6	0.3	0.4	0.0	0.4	0.0		
BUNRAKU	6	0	0	0	19	55	32	1	0	0	0	107	0.6
		0.0	0.0	0.0	17.8	51.4	29.9	0.9	0.0	0.0	0.0		
		0.0	0.0	0.0	0.6	1.2	1.2	0.1	0.0	0.0	0.0		
		0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0		
NIHONBUYO MINYO (邦舞)	7	9	0	4	14	31	28	20	0	3	0	109	0.6
		8.3	0.0	3.7	12.8	28.4	25.7	18.3	0.0	2.8	0.0		
		1.3	0.0	0.1	0.4	0.7	1.1	1.2	0.0	1.6	0.0		
		0.1	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0		
KATARI	8	27	14	42	36	13	2	1	0	0	0	135	0.8
		20.0	10.4	31.1	26.7	9.6	1.5	0.7	0.0	0.0	0.0		
		3.9	1.4	1.1	1.1	0.3	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0		
		0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
MIME	9	54	2	48	3	6	5	11	0	0	0	129	0.7
		41.9	1.6	37.2	2.3	4.7	3.9	8.5	0.0	0.0	0.0		
		7.8	0.2	1.3	0.1	0.1	0.2	0.7	0.0	0.0	0.0		
		0.3	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0		
SONOTA	10	20	275	627	371	796	1165	204	4	24	59	3545	19.9
		0.6	7.8	17.7	10.5	22.5	32.9	5.8	0.1	0.7	1.7		
		2.9	27.9	16.6	11.7	17.1	44.2	12.6	66.7	12.8	57.3		
		0.1	1.5	3.5	2.1	4.5	6.5	1.1	0.0	0.1	0.3		
COLUMN TOTAL		690	984	3776	3184	4667	2633	1620	6	188	103	17851	100.0
		3.9	5.5	21.2	17.8	26.1	14.7	9.1	0.0	1.1	0.6		

NUMBER OF MISSING OBSERVATIONS = 51

表3-13b 公演数に見る上演種目と最低料金の関係  
308

最低料金について見ると、演目数による比較の場合、最高料金とあまり差がないことがわかる。やはり、500～1500円が最も多く、2000円以下の最低料金を設定したものが全体の89.9%を占める。公演数を母数にして最低料金をみると、4000円以上という高いところが減ったのに対して、2000～2500円あたりに最低料金を設定した場合が増加している。他は最高料金の体系と大きく変わっていない。全体としては500～3000円ぐらゐのところに最低料金が最も多く設定されている。これらのことを総合すると、高い入場料をとる公演は、ある程度低い料金も設定しているが、その他、3000円以下の公演では最高料金と最低料金の格差が、それほど大きく設定されていないと考えることができる。

4) 人形劇については、2000円を越える最高料金は少なく、2500円を越えるものはほとんどない。公演数によると、500～1000円のところに高いピークがあり、また1500～2000円のところに小さなピークが認められる。演目数では、これらのピークはやや低くなっている。最低料金についても最高料金とほぼ同じことが言え、人形劇では、総体としては最高料金と最低料金の差が少ないことが判る。また、人形劇の場合、演劇と同じく無料公演については演目数は多いが、公演数からみると、全体の数%しか占めていない。従って無料公演は、有料公演に比して、演目当り平均公演回数数は少ない傾向をもつと言える。

5) 歌舞伎・新歌舞伎の大きな特徴は、他のジャンルに比べて最高料金と最低料金に大きな較差があることである。最高料金については、3500円を越えるものが、演目数で79.3%、公演数で91.7%を占めるのに対して、最低料金では500～1000円に、演目数では65.5%、公演数では73.3%が設定されている。これは、歌舞伎公演における特色であるが、一種の集客の施策といえるのではないが。

6) 文楽公演では、歌舞伎公演のような3000円を越える高い最高料金は見られない。これは、文楽公演が国立劇場という公共性の高い劇場での活動が中心というところで、最高料金の設定がおさえられ

ていることによると思われる。

演目数で見ても、公演数で見ても、2500~3000円に最高料金が設定されている。最低料金は、最高料金よりやや低く設定されており、演目数、公演数ともに、1500~2000円のおあたりが最も多い。また最低料金が1000円以下のものが見られたいのも特色である。従って、文楽公演では、他のものに対して料金設定の中が狭いといえる。

⑦ 邦舞における最高料金は3000円を越える飛ぶ抜けて高い料金設定は、それほど多くない。(演目数で7.7%, 公演数で8.2%)  
しかし、税金免除範囲内で目一杯高いところに多く設定されている。つまり2000~3000円が最も多いが、これは、演劇やミュージカルに比してやや高い傾向にある。最低料金については、最高料金に比して、2000~2500円が減った割に1500~2000円クラスがやや多くなっている。しかし、やはり、2500~3000円に最低料金を設定したものが、演目数で20.0%, 公演数で18.3%で高い。これも、演劇・ミュージカルなどのジャンルに比して割高に設定されている。

⑧ 語りについては、最高料金は500~1500円あたりが多く設定され、他のジャンルに比して料金は安い傾向にある。

次に表3-14a,bに、各上演種目の平均最高料金、表3-15a,bに平均最低料金を示す。これらの表から次のことがいえる。

1) 演目数による上演種目別平均最高料金は、主要7演目では高いものから①オペラ、②歌舞伎、③舞踊④邦舞 ⑤文楽⑥演劇・ミュージカル⑦人形劇である。

2) 公演数別にみる上演種目別平均最高料金は、主要7演目で、高いものから①オペラ②歌舞伎③文楽④演劇・ミュージカル⑤邦舞⑥舞踊⑦人形劇である。

3) 演目数による場合と、公演数による場合と、その平均最高料金の順位が演劇で大きく異なるのは、演劇では、最高料金の高いものの、演目あたりの平均公演回数が多いことによると思われる。

CODE	VALUE LABEL	SUM	MEAN	N
1.	OPER	368050.0000	8001.0870	( 46)
2.	BUYO	696950.0000	2323.1667	( 300)
3.	ENGEKI MUSICAL	1877728.0000	1325.1433	( 1417)
4.	NINGYOGEKI	140750.0000	1234.6491	( 114)
5.	KABUKI SHINKABUKI	142000.0000	4896.5517	( 29)
6.	BUNRAKU	17800.0000	2225.0000	( 8)
7.	NIHONBUYO MINYO (邦舞)	146600.0000	2255.3846	( 65)
8.	KATARI	104400.0000	1110.6383	( 94)
9.	MIME	33000.0000	970.5882	( 34)
10.	SONOTA	683600.0000	3079.2793	( 222)

計 2329

表3-14a 演目数にみる各上演種目別平均最高料金

CODE	VALUE LABEL	SUM	MEAN	N
1.	OPER	1000250.0000	6758.4459	( 148)
2.	BUYO	1520950.0000	2097.8621	( 725)
3.	ENGEKI MUSICAL	26216403.0000	2358.4386	( 11116)
4.	NINGYOGEKI	1008750.0000	1376.1937	( 733)
5.	KABUKI SHINKABUKI	6176700.0000	5594.8370	( 1104)
6.	BUNRAKU	256700.0000	2399.0654	( 107)
7.	NIHONBUYO MINYO (邦舞)	252300.0000	2314.6789	( 109)
8.	KATARI	134500.0000	996.2963	( 135)
9.	MIME	123500.0000	957.3643	( 129)
10.	SONOTA	10533000.0000	2968.7148	( 3548)

計 17854

表3-14b 公演数にみる各上演種目別平均最高料金

CODE	VALUE LABEL	SUM	MEAN	N
1.	OPER	143050.0000	3109.7826	( 46)
2.	BUYO	507950.0000	1693.1667	( 300)
3.	ENGEKI MUSICAL	1656328.0000	1168.8977	( 1417)
4.	NINGYOGEKI	130550.0000	1145.1754	( 114)
5.	KABUKI SHINKABUKI	40800.0000	1406.8966	( 29)
6.	BUNRAKU	15300.0000	1912.5000	( 8)
7.	NIHONBUYO MINYO (邦舞)	133300.0000	2050.7692	( 65)
8.	KATARI	93400.0000	993.6170	( 94)
9.	MIME	31000.0000	911.7647	( 34)
10.	SONOTA	538500.0000	2436.6516	( 221)

計 2328

表3-15a 演目数に見る各上演種目別平均最低料金

CODE	VALUE LABEL	SUM	MEAN	N
1.	OPER	428250.0000	2993.5811	( 148)
2.	BUYO	1156650.0000	1595.3793	( 725)
3.	ENGEKI MUSICAL	18249803.0000	1641.7599	( 11116)
4.	NINGYOGEKI	959450.0000	1308.9359	( 733)
5.	KABUKI SHINKABUKI	1523900.0000	1380.3442	( 1104)
6.	BUNRAKU	201200.0000	1880.3738	( 107)
7.	NIHONBUYO MINYO (邦舞)	221200.0000	2029.3578	( 109)
8.	KATARI	123500.0000	914.8148	( 135)
9.	MIME	101500.0000	786.8217	( 129)
10.	SONOTA	6326800.0000	1784.7109	( 3545)

計 17851

表3-15b 公演数に見る各上演種目別平均最低料金

4) 演目数にみる上演種目別平均最低料金は主要7演目で、高いものから①オハラ、②邦舞 ③文楽、④舞踊⑤歌舞伎⑥演劇ミュージカル、⑦人形劇である。

5) 公演数にみる上演種目別平均最低料金は主要7演目で高いものから①オハラ②邦舞 ③文楽 ④舞踊 ⑤演劇ミュージカル⑥歌舞伎⑦人形劇である。

6) ここでやはり、演目数と公演数による比較で、演劇・ミュージカルの順位に逆転が見られる。

7) 平均最高料金では上位に位置していた歌舞伎は、平均最低料金では下位に位置している。即ち歌舞伎では、平均最高料金/平均最低料金の比率が大きい。

ここで主要7演目についての平均最高料金/平均最低料金の比率を参考に下表3-16に示す。

表3-16 平均最高料金/ 平均最低料金	演目数母数とした 場合	公演数母数とした 場合
オハラ	2.57	2.34
舞踊	1.37	1.31
演劇ミュージカル	1.13	1.44
人形劇	1.08	1.05
歌舞伎	3.48	4.05
文楽	1.16	1.28
邦舞	1.10	1.14

平均最高料金/平均最低料金の差の大きな演目は、歌舞伎とオハラ、逆に小さなものは、人形劇、文楽、邦舞である。舞踊にはやや格差がある。演劇ミュージカルでは公演数母数としてみた場合、格差がみえる。

2) - f) 舞台芸術活動と地域

広義の演劇活動が行われた場が、東京都23区及び都下にどのように分布しているか、ここでは検討します。概況として、図3-8a,bに演目数、公演数による頻度を地区別に表示した。これを観察すると次のようなことが言える。

1) 演目数が100件を越えて多い地区は、多11順に、新宿区、渋谷区、豊島区、千代田区、港区、中央区、世田谷区である。

2) 公演数が1000

公演を越えて多い地区は、多11順に、千代田区、新宿区、中央区、渋谷区、豊島区である。

3) 千代田区及び中央区では演目数に比べて公演数が非常に多いが、これは、この地域に主たる民間劇場が集中し、従ってこれらの民間劇場の公演方式の特徴である長期間公演の影響が統計にあらわれているからと考えられる。

4) 全体数としては、公演数、演目数ともにそれほど多くないが、特異的に、公演数/演目数の比率の大きい区には、台東区、練馬区がある。台東区は、浅草公会堂の歌舞伎長期公演、練馬区では

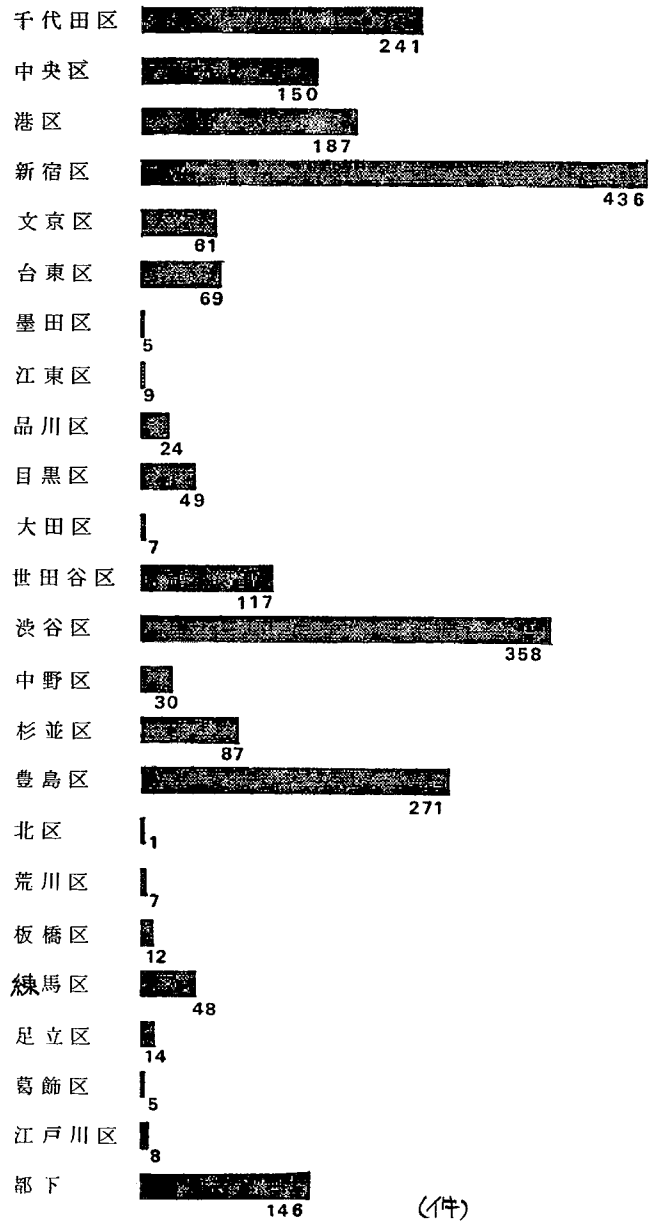


図3-8a 演目数の地域分布



いくつかの劇団稽古場の長期間公演が影響している。

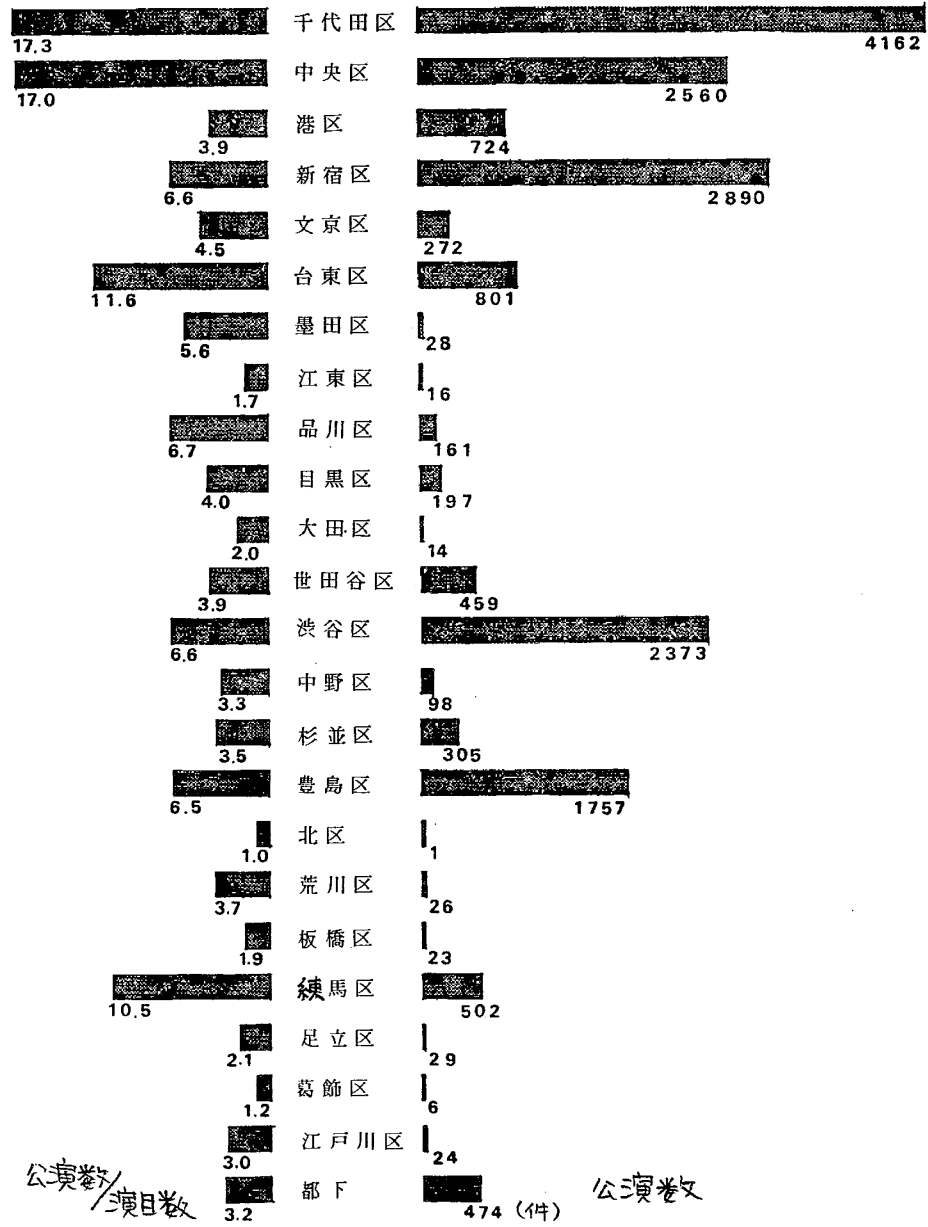


図3-8b 公演数及び、演目あたり公演数の地域分布

5) このように長期間公演が、その地区における演劇公演状況に大きく影響を与え、その地域の特色をいかに強調しているかが読みとれる。

次に図3-9a.bに各地区の演目数を落としてみると、次のようなことがいえる。

- 1) 演目数の頻度の高い地区は、ほとんど都心部の地区(山手線の内側、ないしはそれに近接した周辺)に集中している。
- 2) 演目数の頻度の次いで多い地区は、杉並区、世田谷区など、都西に向、広がっており、北部、東部及び南部については

演劇活動は極めて不活発であると見える。

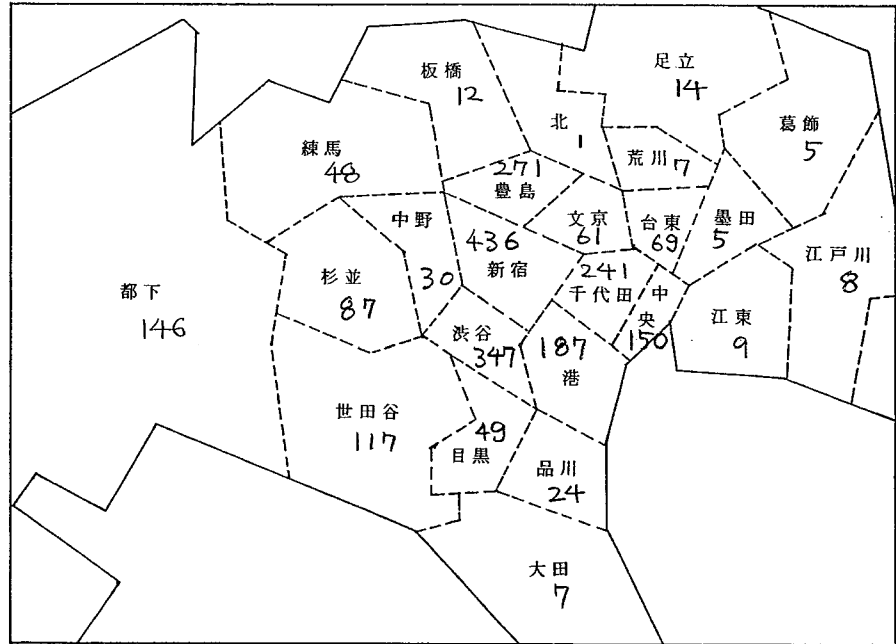


図3-9a 演目数の区による分布状況

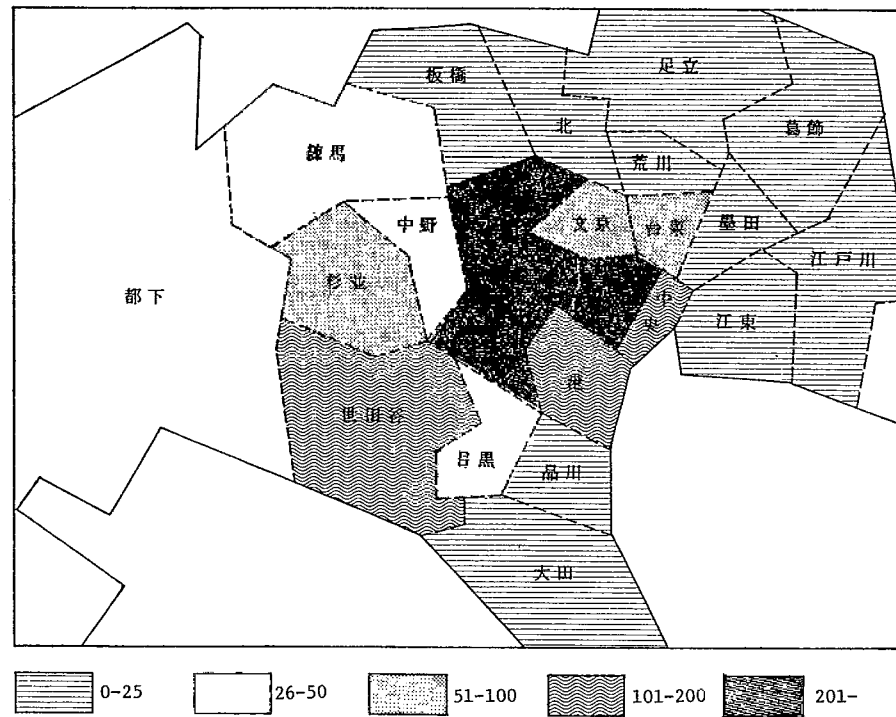


図3-9b 演目数の区による分布状況の色分け

ここでさらに詳しく、ホールの種類別に各地域での活動の状況をみてみる。各地区におけるホール種類ごとのその地区の全活動に対する寄与率(演目数を母数とする)を基準にして考察を加えることにする。

1) 各地区における民間劇場の活動の寄与率(図3-10)

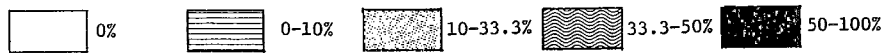
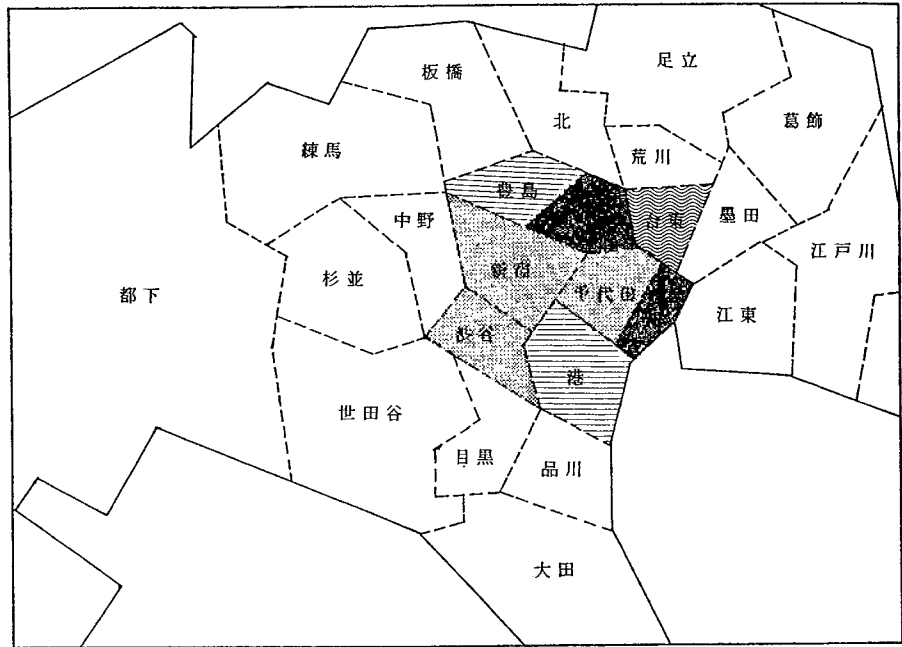


図3-10 演目数における民間劇場のその地区の活動に対する寄与率

民間劇場の寄与率の高い地区は、ほとんど山手線の内側かその周辺に集中している。特に文京区、中央区では、極めて、民間劇場の寄与率が高い。

2) 各地区における民間小劇場・稽古場の活動の寄与率(図3-11)

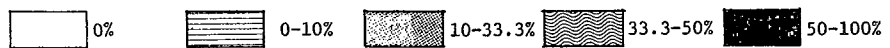
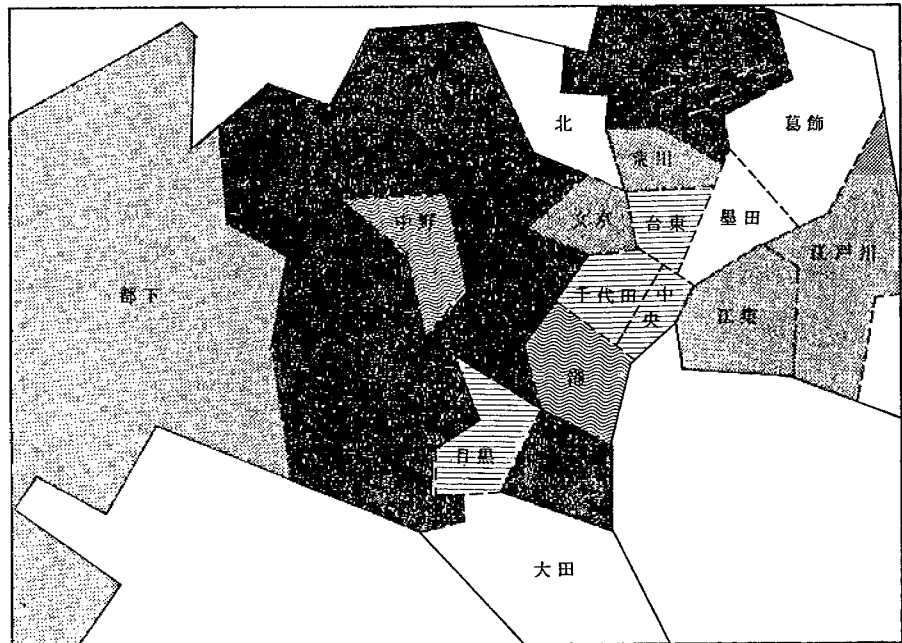


図3-11 演目数における民間小劇場及び稽古場のその地区の活動の寄与率

民間小劇場及び稽古場の寄与率の高い地区は、民間劇場の寄与率の高い地区とややその領域を重ぬながら、(豊島、新宿、渋谷、港)それを補完する形でその周辺地区へ広がっている。特に練馬、杉並、

中野、世田谷という具合に、都西に向って広がっている傾向がある。

3) 各地区における民間ホールの活動の寄与率(図3-12a,b)

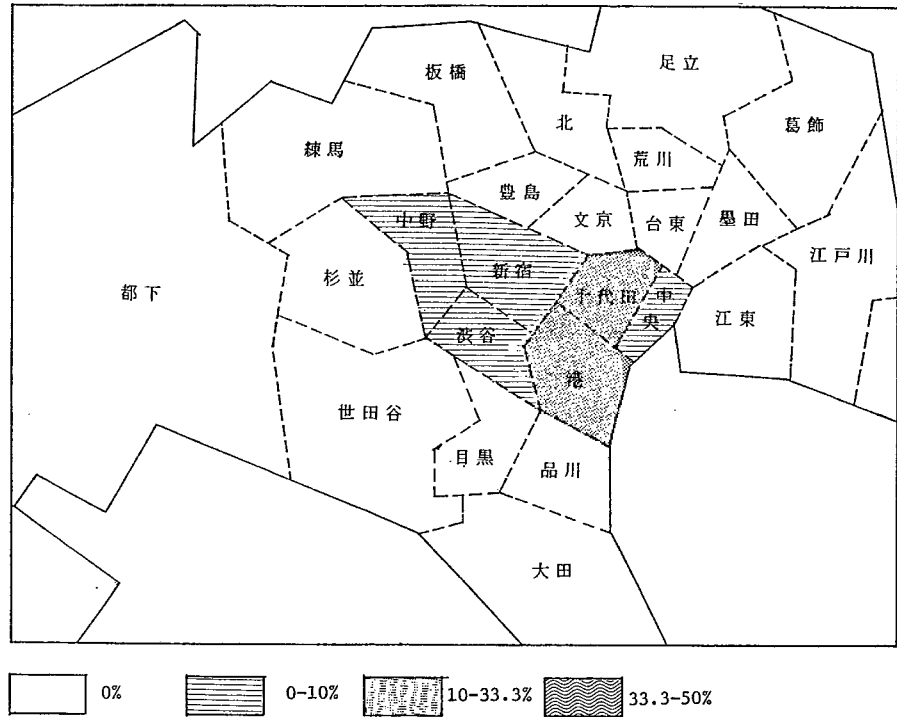


図3-12a 演目数における民間ホールのその地区の活動への寄与率

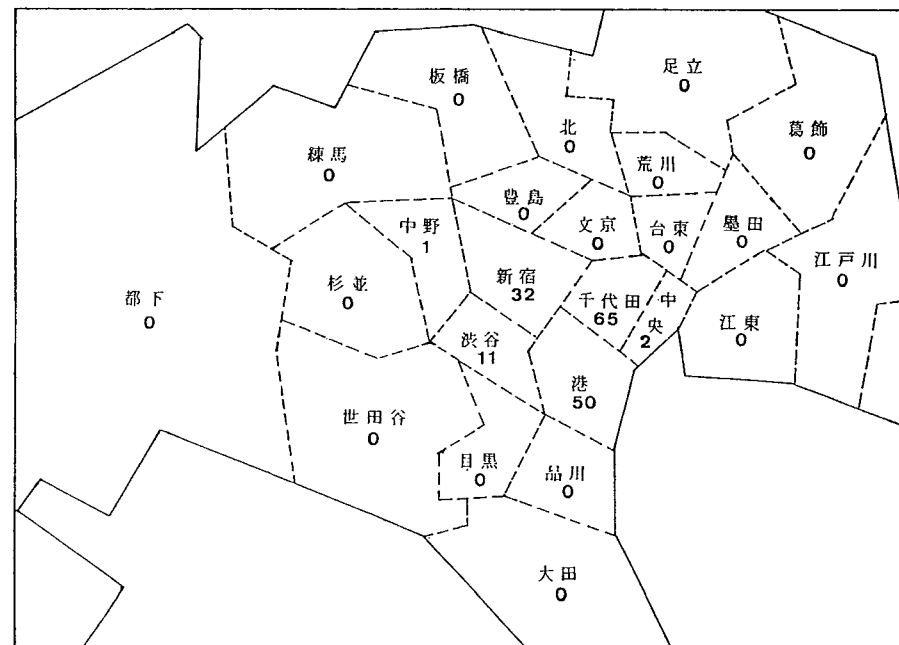


図3-12b 昭和55年1年間に「ひあ」に登場した民間ホールにおける演目数の区別分布

ほとんど全之、特異的に、都心、特に千代田区、港区に集中している。周辺地域には、広い意味での演劇活動に用いられる民間ホールは見られない。しいていへば、中野区がやや都心から離れたところである。

4) 各地区における公共ホールの活動の寄与率 (図3-13a,b)

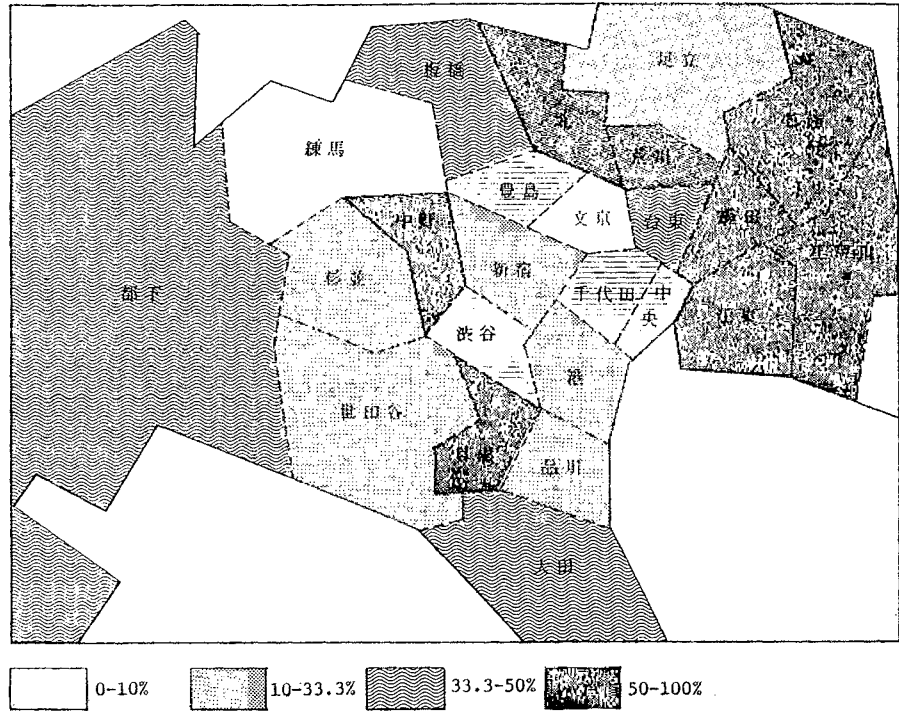


図3-13a 演目数における公共ホールの各地区の活動への寄与率

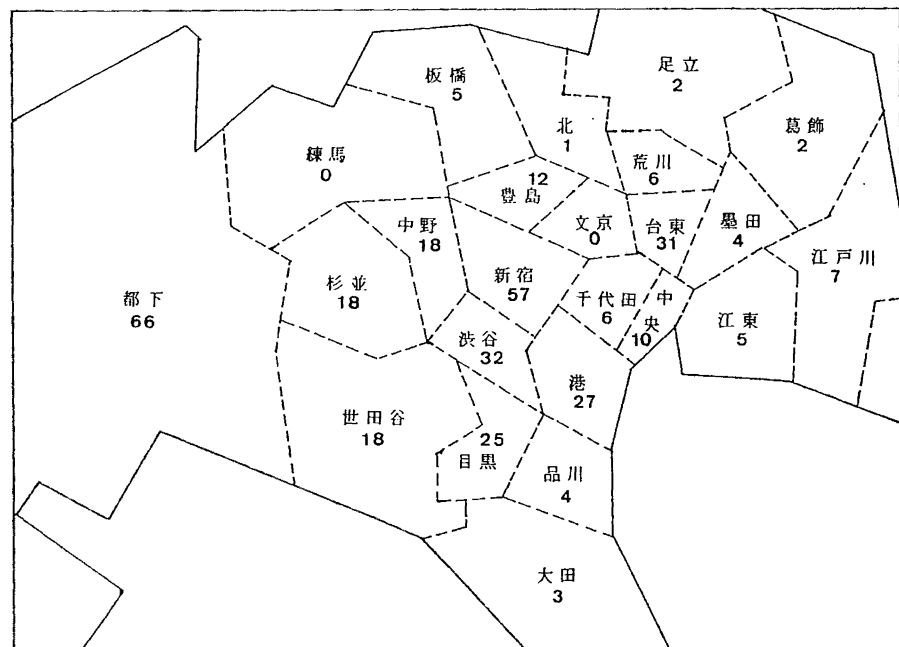


図3-13b 昭和55年14年間に「ひあ」に登場した公共ホールにおける演目数の区別分布

図3-14に示すように広い意味での演劇活動に利用された公共ホールの建設数は、渋谷区、新宿区を頂点として、どちらかという、中野、杉並、世田谷など都西に多く存在し、都東地区は比較的少ないという現象がある。また、公共ホールを利用した演目数の比較についても同様な傾向があるといえる。(図3-13b) かしながら、各地区の公共ホールの寄与率ということになることになると事情は逆転する。

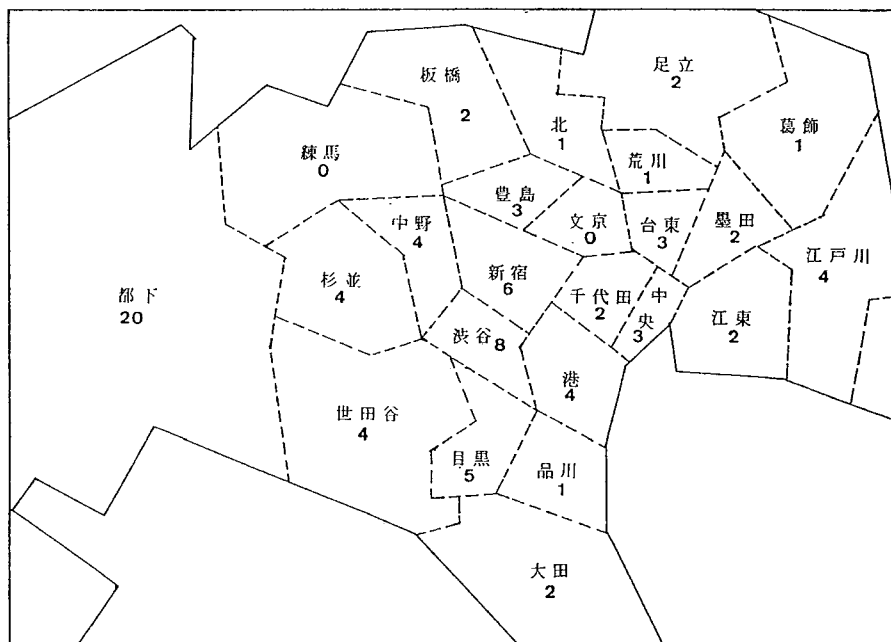


図3-14. 昭和55年1年間に『ぴあ』に登場した公共ホール

すなわち、今まで、民間ホール、民間劇場、民間小劇場、稽古場での活動がほとんど見つけれなかった都東地区において公共ホールの寄与率が高いという点である。つまり、広い意味での演劇活動が盛んでない地区ほど、公共ホールにおける公演に依存している程度が高いということが出来る。即ち、公共ホールは、演劇活動の普及において、その存在の意義はあるが、演劇活動が盛んな地域においては影がうすいといえる。

表3-17に昭和55年1年間に『ぴあ』に登場した公共ホールにおける演劇活動の演目数と公演数を参考を示す。最も演目数の多いホールは東京文化会館大ホールの26演目、東京郵便貯金ホールの23演目、新宿文化センター大ホールの22演目であり、また最も公演数の多いのは、東京文化会館大ホールの58公演、区立浅草公会堂の54公演であった。特別なものはのぞいて、ホールの活動における『ぴあ』に載るような一般客を相手とした演劇活動の比重は、極めて小さいといえるのではないか。

区・市・町	施設名	容席数	A <sup>注</sup>	B <sup>注</sup>	区・市・町	施設名	容席数	A <sup>注</sup>	B <sup>注</sup>
千代田	国立教育会館虎ノ門ホール	1524	4	4	中野	区立中野公会堂	900	4	6
"	東京都日比谷公会堂	2074	2	3	"	区立中野文化センター	550	10	18
中央	区立中央会館	900	5	8	"	区立北野公会堂	310	1	1
"	東京都勤労福祉会館	510	4	8	杉並	区立方南会館	240	4	17
"	区立日本橋公会堂	400	1	2	"	区立久我山会館	200	2	4
港	芝青年会館	251	1	1	"	区立高円寺会館	290	11	18
"	区立麻布公会堂	280	1	2	"	区立杉並公会堂	1212	1	6
"	区立赤坂公会堂	384	2	6	豊島	区立青年館		1	1
"	東京郵便貯金ホール	1582	23	45	"	区立豊島公会堂	962	10	19
新宿	区立新宿文化センター林北	1802	22	44	"	豊島区民文化ホール	281	1	1
"	" 小森北	210	16	44	北	北区公会堂	946	1	1
"	区立中込公会堂	450	2	2	荒川	荒川区民会館	1120	6	14
"	区立四谷公会堂	500	6	9	板橋	高島平区民会館	500	1	6
"	東京厚生年金会館林北	2406	6	12	"	板橋区民会館	868	4	10
"	" 小森北	706	5	10	足立	区立竹の塚社会教育館	306	1	14
台東	東京文化会館大ホール	2303	26	58	"	区立文化会館	946	1	1
"	区立浅草公会堂	1085	4	54	葛飾	綜合区民センター	709	2	3
"	省庁美術館講堂	240	1	3	江戸川	江戸川区民センター	250	1	1
墨田	区民会館	380	1	1	"	区立小岩図書館公会堂	298	1	3
"	区立両国公会堂	790	3	9	"	小松川区民会館	300	2	5
江東	区立綜合区民センター	355	2	5	"	区立公会堂	912	3	7
"	区立江東公会堂	1200	3	4	八王子市	市民会館	1986	6	10
品川	品川文化会館	1156	4	6		北野児童館	150	1	3
目黒	区立青年館	80	2	7	立川市	市民会館	1452	11	18
"	目黒区公会堂	1031	1	1	都立立川社会教育会館	1026	6	12	
"	区立福祉センター	280	1	4	武蔵野市	市立武蔵野公会堂	420	5	11
"	目黒区民センター	425	16	27	三鷹市	市公会堂	868	3	5
"	国民年金中央会館工三ノズ	500	5	14	青梅市	市民会館	700	1	1
大田	区民センター	752	1	1	府中市	市民会館	1002	2	3
"	区民会館	1354	2	3	調布市	市民福祉会館	1301	2	3
世田谷	烏山区民センター	385	7	23	町田市	町田市民ホール	761	7	14
"	世田谷区民会館	1202	6	12	小金井市	市公会堂	904	4	6
"	石古区民会館	480	2	2	"	市立青少年センター	80	3	9
"	玉川区民会館	479	3	3	"	市福祉会館	70	1	1
渋谷	千駄谷区民会館ホール	327	8	13	東村山市	公民館	452	1	1
"	" 会議室		3	7	田無市	市民会館	502	3	11
"	東京都児童館	708	13	44	田無児童館	250	1	1	
"	区立恵比寿社会教育会館	30	1	1	保谷市	下保谷図書館集会所	70	3	5
"	初台区民会館	150	1	1	狛江市	野川地域センター	50~60	1	1
"	代々木八幡区民会館	202	1	1	多摩市	公民館ホール	585	3	4
"	NHKホール	3677	3	9	羽村町	公民館	700	2	2
"	区立渋谷公会堂	2318	2	3					
中野	全国勤労青年会館	2148	4	13					

A) 演目数 B) 公演数

表3-17 昭和55年1年間に「ふあ」に登場した公共ホールにおける演目数と公演数

### 3) まとめ

本調査において明らかになった点、本論文の対象である文化会館を含む、公共ホールを中心にまとめると次のことが言える。

- 1) 広義の意味での演劇活動の公演スタイルには、1演目を1~3回のみ公演する短期間公演型、4回~15回程度公演する中期間公演型、1演目あたり1月程度の公演を行う長期間公演型の3つのタイプが観察される。
- 2) 上演場所のタイプ別に見ると、民間劇場及び、国立劇場に長期間公演は特徴的に多く、民間小劇場、劇団稽古場では中期間公演が多い。民間ホールと公共ホールでは、短期間公演が多いが、中でもとりわけ、公共ホールでは短期間公演がほとんどを占める。これは公共ホールの一団体への貸出し期間が、最大3日程度に制限されている点が大きく影響していると思われる。
- 3) 広義の意味での演劇活動は、演目数比較で80.4%、公演数比較で79.1%と約8割が、客席数800人以下のホールで行われている。中でも400人以下の客席数での割合が高く、演目数で66.7%、公演数で46.8%を占めている。このように演劇活動は比較的、小さなホールで行われているといえよう。公共ホールを特に拾い出してみると、他の場所に比してやや大型のホールも演劇に使われていることが判る。しかし、約5割は800人以下のホールが利用されている。大型公共ホール利用の評価は本調査からは求められない。
- 4) ホールと上演種目の関係では、公共ホールは、バラエティー多く利用されているのが特徴である。しかし、中でも、バレエ、オペラ、人形劇、邦楽のジャンルに、公共ホールの客与率が高い。しかし、全体的に見ると、どの演目でも一演目あたりの公演数が、他の上演場合に比して少ない傾向にあり、このため、公演数における公共ホールの客与率は、演目数による比較に比して低下する傾向がある。長期間公演の多い施設が、その上演種目の分野で、目立ってくるのに対して、公共ホールは、その点で



は、色が薄い。

6) 平均最高料金については、公共ホールは民間ホールと並んで、民間劇場・国立劇場と民間小劇場稽古場の頂度中間に属する。最低料金については、やはり両者の中間に位置しているが、民間ホールが公演数を母数とした比較において、最も高い平均最低料金を示すのは対象的になっている。これは民間ホールにおける平均最高料金と平均最低料金には大きな差がないのに対して、公共ホールでは、約1.7倍と大きな差があるからである。これらのことを総合すると、公共ホールでは、その公演料金そのものでは、他の場所と比べて、特に安い訳ではないが、最低料金を低くさせているという意味でのメリットはあると言えるのではないかと、また、考えようによっては、オペラや大規模のバレエなど、他のホールでは経費がかかり過ぎて不可能なものも、少なくとも、上演可能な料金体系にまで、もってこいでいるということも言えるのではないかと、それは、このような催し物が専ら公共ホールで上演されていることから推測される。

7) 地域分布では、演劇活動に利用される公共ホールは専ら山手線を中心とし、やや都西の方向に広がっている。しかし、この地域では、他の種類での演劇活動のほうが、盛んで、かつ演目あたりの公演期間も長いため、公共ホールの意味は霞んでいる。むしろ、演劇活動はほとんど行われておらず、公共ホールでの公演数も少ない都東地区、たとえば、葛飾、江戸川、江東、墨田といった地区での公共ホールの客与率が高いといえる。

このように、東京都においては、公共ホールは、演劇活動にある程度の割合で、その上演場所の提供には寄与している。しかし、その影は、他の上演場所、特に民間劇場、民間小劇場、稽古場と比べて非常に薄いと言えないのではないかと、公共ホールを芸術文化、特に舞台芸術の創造の場として育成するには、その全体的なイメージをも、と高めてゆく工夫が不可欠なのではないかと、その為には、ちと何らかの特色を打ち出してゆく必要があるのではないかと。

### 3節 世田谷区内の区民会館の利用実態

#### 1) 調査の目的、対象、方法等

##### 1) 一) 調査の目的、対象

本調査の目的は、大都市(東京)の一地区(世田谷区)における区民会館のホールの利用実態をホール借用者に対するアンケート調査によって把握しようとしたものである。本調査のねらいは下記の点にある。

- 1) 区民会館は、各種の催し物に対応できるように多目的ホールとして計画されている。多目的ホールという性格の下で、いかに舞台芸術がそれを利用しているか。利用者として、どんな意識を持ち、どんな評価を下しているか。
- 2) 舞台芸術の種類や、利用団体の性格によって公共ホールへの対応に変化が見られるか否か。
- 3) ホールの規模や設備内容によって利用団体の性格や演目の種類に変化が見られるか否か。
- 4) 利用団体がホールを借りて上演を行うまでにどのような企画制作のプロセスを経ているか。そのプロセス、特に稽古にあたっていかなる問題があるか。

本調査は、世田谷区によって設置された代表的なホール施設である、世田谷区民会館、砧区民会館、玉川区民会館、烏山区民センターの4つの会館を昭和55年4月から昭和56年3月までの1年間に利用した、舞台芸術団体を対象とした。表3-18aに、当該期間における会館別の利用件数及び利用団体数を各種上演種目に区別して示した。このうち、本調査では1、演劇、ミュージカル・オペラ等、2、バレエ、現代舞踊、3、人形劇、4、民謡・おどろ・日本舞踊等、5、落語・寄席・詩吟・奇術等、6、ホッポウ音楽コンサート、7、クラシック音楽コンサート、8、合唱・独唱、9、ピアノ・バイオリン等おけいこ教室発表会、10、邦楽コンサート及び発表会、11、学校や地域の文化祭、14、録音録画を調査対象とした。12、映画会、13、レコードコンサート、15、集会・講演会

		世田谷区民館	石砦区民会館	玉川区民会館	烏山区民センター	計
①演劇・ミュージカル等	利用件数	35	6	22	45	108
	利用団体数	14	6	11	13	48
②バレエ・現代舞踊	利用件数	24	9	8	11	52
	利用団体数	14	4	5	6	29
③人形劇	利用件数	8	2	1	2	13
	利用団体数	4	1	1	2	8
④民謡・おどろ、日舞	利用件数	19	10	15	30	74
	利用団体数	10	7	13	18	48
⑤落語・寄席詩吟・奇術	利用件数	0	9	3	3	15
	利用団体数	0	6	2	3	11
⑥ホビー・音楽ソフト	利用件数	18	36	49	24	127
	利用団体数	12	35	39	21	107
⑦クラシック音楽ソフト	利用件数	60	24	21	25	130
	利用団体数	32	10	14	19	75
⑧合唱・独唱	利用件数	14	22	11	14	61
	利用団体数	12	16	10	10	48
⑨音楽おけいこ教室発表会	利用件数	6	88	70	58	222
	利用団体数	4	74	51	43	172
⑩邦楽ソフト発表会	利用件数	1	5	2	3	11
	利用団体数	1	5	2	2	10
⑪文化祭	利用件数	20	3	4	2	29
	利用団体数	8	3	3	2	16
⑫映画会	利用件数	11	21	8	20	60
	利用団体数	2	12	3	12	29
⑬ロード・インサート	利用件数	0	0	0	0	0
	利用団体数	0	0	0	0	0
⑭録音・録画	利用件数	10	1	0	0	11
	利用団体数	7	1	0	0	8
⑮集会・講演会	利用件数	85	42	122	48	297
	利用団体数	54	38	50	33	175
計	利用件数	311	278	336	285	1210
	利用団体数	178	210	204	184	784

表3-18a 世田谷区内の区民会館利用件数・団体数

は、非舞台芸術ということに調査整理の都合とその対象からはずした。

#### 1)-b) 調査対象の位置づけ

本調査の対象とした世田谷区が、都内の舞台芸術活動でいかなる位置づけにあるかを明らかにしておく必要がある。この点については、広義の演劇活動の範囲ではあるが、本章2節「首都圏における演劇活動と文化会館」に示されているので詳しくは、そちらを参照された。大雑把には、演劇活動の中心地区に丁度隣接した外側に位置し、これから舞台芸術活動がより活発化の方向に向かうであろうとする地区として位置づけられる。その意味では、都内で最も発展の可能性がある地区であると考えられる。2節では広義の演劇活動についてのみ観察してあるが、音楽活動についても同様のことが推測される。

#### 1)-c) 調査の方法

調査は郵送によるアンケート発送及び回収方式をとった。調査表は、会館使用申請書に記された責任者あてに送付し回答をお願いした。送付は昭和56年9月15日に行い、回収は10月23日に締切った。

調査対象団体の中には、ひとつの団体で何度もホールを借用して公演や稽古を行っているものが何団体か見うけられた。この場合、基本的に同じジャンルの演目を上演したり、稽古をした場合には、その内容が異なっている場合においても、代表的な一例について回答をお願いした。ただし、調査対象団体がプロデュース組織のような場合には、実際には、異なったジャンルの演目を異なった組織によって上演しているのが実態なので、この場合にはこれらの団体をプロデュース組織が代表しているものと考え、全てについて回答をお願いした。この例には世田谷子ども劇場や、区の社会教育部の事業などが含まれる。

調査のアンケート回収率を表3-18bに示す。世田谷区民会館では、59.0%、砧区民会館では54.2%、玉川区民会館では55.0%、烏山区民会館では56.1%、全体では55.9%であった。

		世田谷区民 会館	砧区民会 館	玉川区民 会館	烏山区民 センター	TOTAL
① 演劇・ミュージカル オペラ等	利用団体数	18	6	11	13	48
	回収数	12	5	5	10	32
	回収率	66.7	83.3	45.5	76.9	66.7
② バレエ・現代舞踊	利用団体数	14	4	5	6	29
	回収数	10	3	2	4	19
	回収率	71.4	75.0	40.0	66.7	65.5
③ 人形劇	利用団体数	4	1	1	2	8
	回収数	3	1	0	2	6
	回収率	75.0	100.0	0.0	100.0	75.0
④ 民謡・おどり 日本舞踊等	利用団体数	10	7	13	18	48
	回収数	4	3	9	9	25
	回収率	40.0	42.9	69.2	50.0	52.1
⑤ 落語・寄席 詩吟・奇術等	利用団体数	0	6	2	3	11
	回収数	0	5	0	2	7
	回収率	0.0	83.3	0.0	66.7	63.6
⑥ ポピュラー音楽 コンサート	利用団体数	12	35	39	21	107
	回収数	5	14	19	6	44
	回収率	41.7	40.0	48.7	28.6	41.1
⑦ クラシック音楽 コンサート	利用団体数	32	10	14	19	75
	回収数	17	6	10	14	47
	回収率	53.1	60.0	71.4	73.7	62.7
⑧ 合唱・独唱	利用団体数	12	16	10	10	48
	回収数	8	9	5	7	29
	回収率	66.7	56.3	50.0	70.0	60.4
⑨ ピアノ・バイオリン等 おけいこ教室発表会	利用団体数	4	74	51	43	172
	回収数	2	41	28	24	95
	回収率	50.0	55.4	54.9	55.8	55.2
⑩ 邦楽コンサート 及び発表会	利用団体数	1	5	2	2	10
	回収数	0	3	2	0	5
	回収率	0.0	60.0	100.0	0.0	50.0
⑪ 学校や地域の 文化祭	利用団体数	8	3	3	2	16
	回収数	7	1	3	0	11
	回収率	87.5	33.3	100.0	0.0	68.8
⑫ 録音・録画	利用団体数	7	1	0	0	8
	回収数	4	0	0	0	4
	回収率	57.1	0.0	—	—	50.0
TOTAL	利用団体数	122	168	151	139	580
	回収数	72	91	83	78	324
	回収率	59.0	54.2	55.0	56.1	55.9

表 3-18b アリケート回収率

## 1-d) 調査の内容

調査の質問項目は①ホール利用団体の属性及び概要, ②ホール利用の目的・動機, ③ホール利用における手続及び施設上の問題点, ④公演前のホールにおけるリハーサル及び仕込み, ⑤後片付けについて, ⑥企画・制作・稽古のスケジュールについて, ⑦大道具・衣裳, 及びスタッフのあり方について, ⑧舞台芸術振興に対する区への期待についての七つの柱に沿って構成した。

この七本の柱によって、単に上演の場としてのホール施設のあり方だけでなく、企画から制作・稽古・上演という一連のプロセスの中で、今回の調査対象の4つの施設がどのように位置づけられ、かつ、それが、利用団体の属性や演目の違いによってどのように異なっているかを把握しようと試みた。

## 1-e) 施設の概要

今回の調査の対象とした四会館の施設概要を示すと次のようになる。世田谷区民会館はホール建設ゲームの初期の昭和34年に建設された世田谷区内の公立ホールとしては最大規模のものである。客席数は1294席である。区の施設の顔としての機能を果たしており、国レベルの文化行政の構想では、地域の住民に対し、音楽、演劇等の鑑賞又は創造活動の機会を提供することを目的とした、いわゆる文化会館の中に位置づけられる施設である。また区最大の施設として、区主催の各種行事・式典にも重要な役割を果たしている。舞台を中心とする設備内容としては、建設が古いため、現在の文化会館の水準としては、必ずしも高いものではなくなってきている。烏山区民センター(客席数385席)、玉川区民会館(487席)、砧区民会館(480席)は、世田谷区民会館に比して一回り小さい施設として位置づけられている。但し、客席数では最も小さいが、烏山区民センターは、他の2館に比べ舞台照明設備がやや高度で、プロの小演劇に対応できるのが特徴である。他の2館は設備的には極めて簡素で、いわゆるしろうとによる地域文化活動の発表や中規模の講演の場として計画されている。

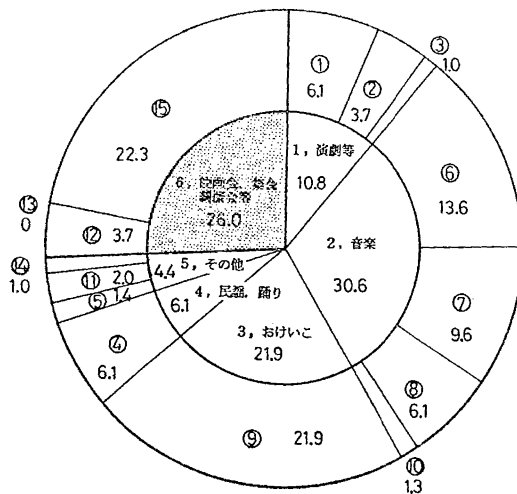
## 2) 市民館の利用実態

### 2)-a) 利用団体の属性

市民館を利用する団体の上演種目は実に多様である。図3-15a-e

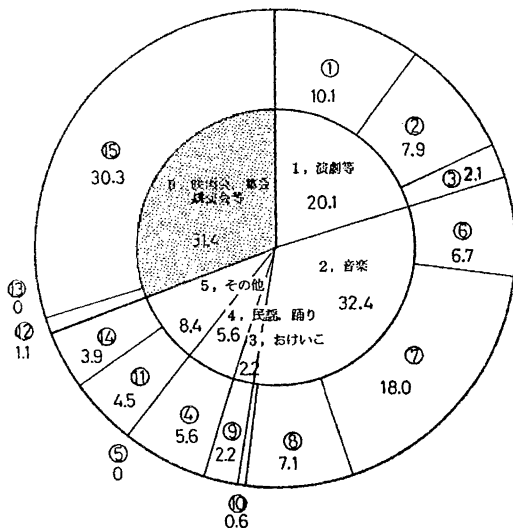
図3-15 団体数にみる演目の種類  
(昭55年4月～56年3月)

- ① 演劇・ミュージカル・オペラ等
- ② パレエ・現代舞踊
- ③ 人形劇
- ④ 民謡・おどり・日本舞踊等
- ⑤ 落語・寄席・詩吟・奇術等
- ⑥ ポピュラー音楽コンサート
- ⑦ クラシック音楽コンサート
- ⑧ 合唱・独唱
- ⑨ ピアノ・バイオリン・オルガン  
エレクトーン等おけいこ教室発表
- ⑩ 邦楽コンサート及び発表
- ⑪ 学校や地域の文化祭
- ⑫ 映画祭
- ⑬ レコードコンサート
- ⑭ 録音・録画
- ⑮ 集会・講演会等

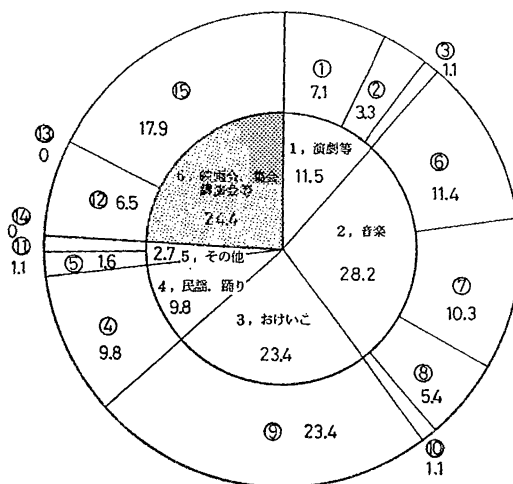


a) 全体

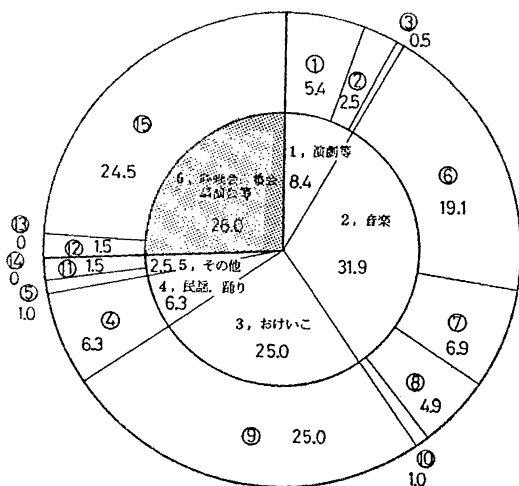
(注) アミの部は非調査対象とした



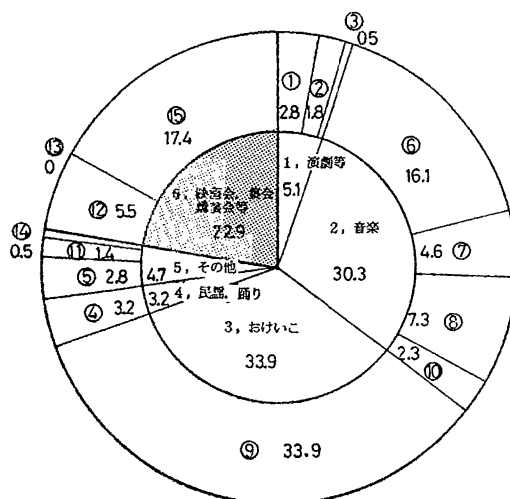
b) 世田谷区民会館



c) 鳥山区民センター



d) 玉川区民会館



e) 砧区民会館

ト、昭和55年4月～昭和56年3月までに各施設を利用した団体の種別の分布を示した。これとみると次のような特徴がうかがえる。

① 世田谷区民会館と他の三館では大きな違いが見られる。世田谷区民会館では他に比して、演劇系の団体の利用が高く、おけいこ発表会の利用がほとんど見られなものの対して、他の三館ではおけいこ発表会の利用が全体の約1/4を占め、中心的な要素となっている。

② 音楽関係、集会関係は、いずれの会館においても、ほぼコンスタントに全体の利用者の約2割5分から3割程度を占め主要要素となっている。ただし、世田谷区民会館は他に比べ、集会関係の利用がやや多い。

世田谷区民会館の利用が他の館に比して異なるのは、客席規模の違いと主とする施設内容の違いが、そこで行われる演目とかなり規定しているからではないかと推測される。この点については、以後さらに詳しく検討する。

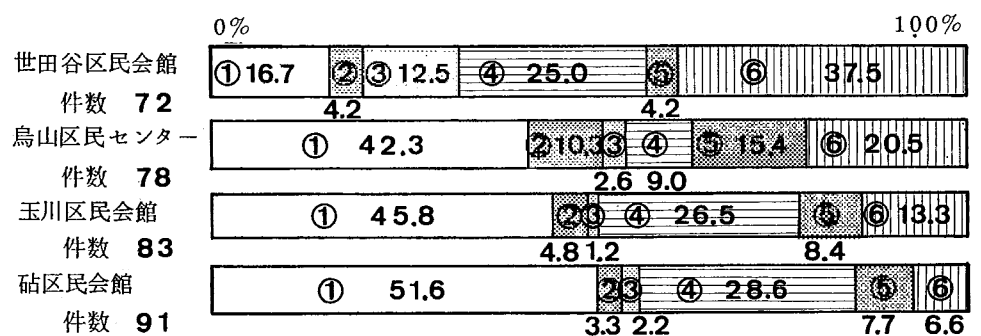


図3-16  
ホールを利用した舞台芸術  
団体の種別の割合  
(アンケートの結果に基づく)

- ① おけいこ事(ピアノ、バイオリン、日本舞踊、バレエ等)の教室
- ② 地域住民による趣味団体
- ③ 幼稚園・小学校・中学校の教室やクラブ
- ④ 高等学校・大学のサークル
- ⑤ 一般同好団体
- ⑥ 専門家(公演活動を専門とするもの)

図3-16に、ホールを利用した舞台芸術団体の種別の割合を示す。ここでも、世田谷区民会館と他の三館で大きな差異が認められる。世田谷区民会館では、他の三館に比べて、おけいこ教室の占める割合が少なく、かわりに専門家(公演活動を専門とするもの)の占める割合が多い。これは上演演目の頻度分布とみる特徴と一致する傾向である。ただし、残りの三館においても、烏山区民センターは、砧区民会



館や玉川区民会館に比べ、専門家の使用率が高いことが注目される。これは、烏山区民センターの舞台設備、特に照明設備が他の2館よりも整っていることが影響していると考えられる。

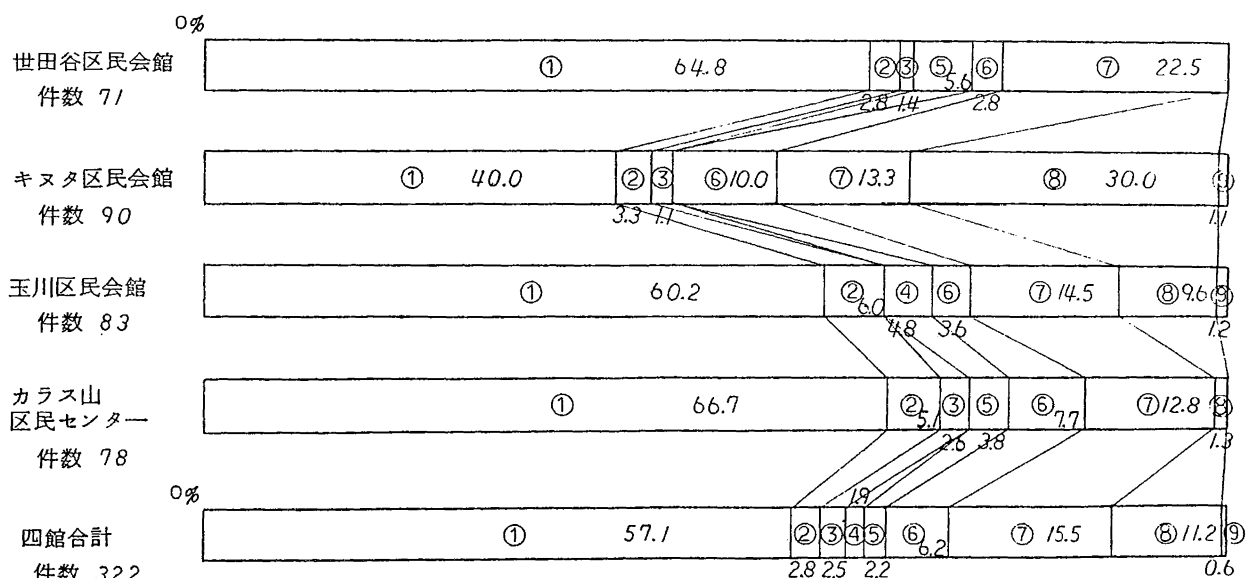
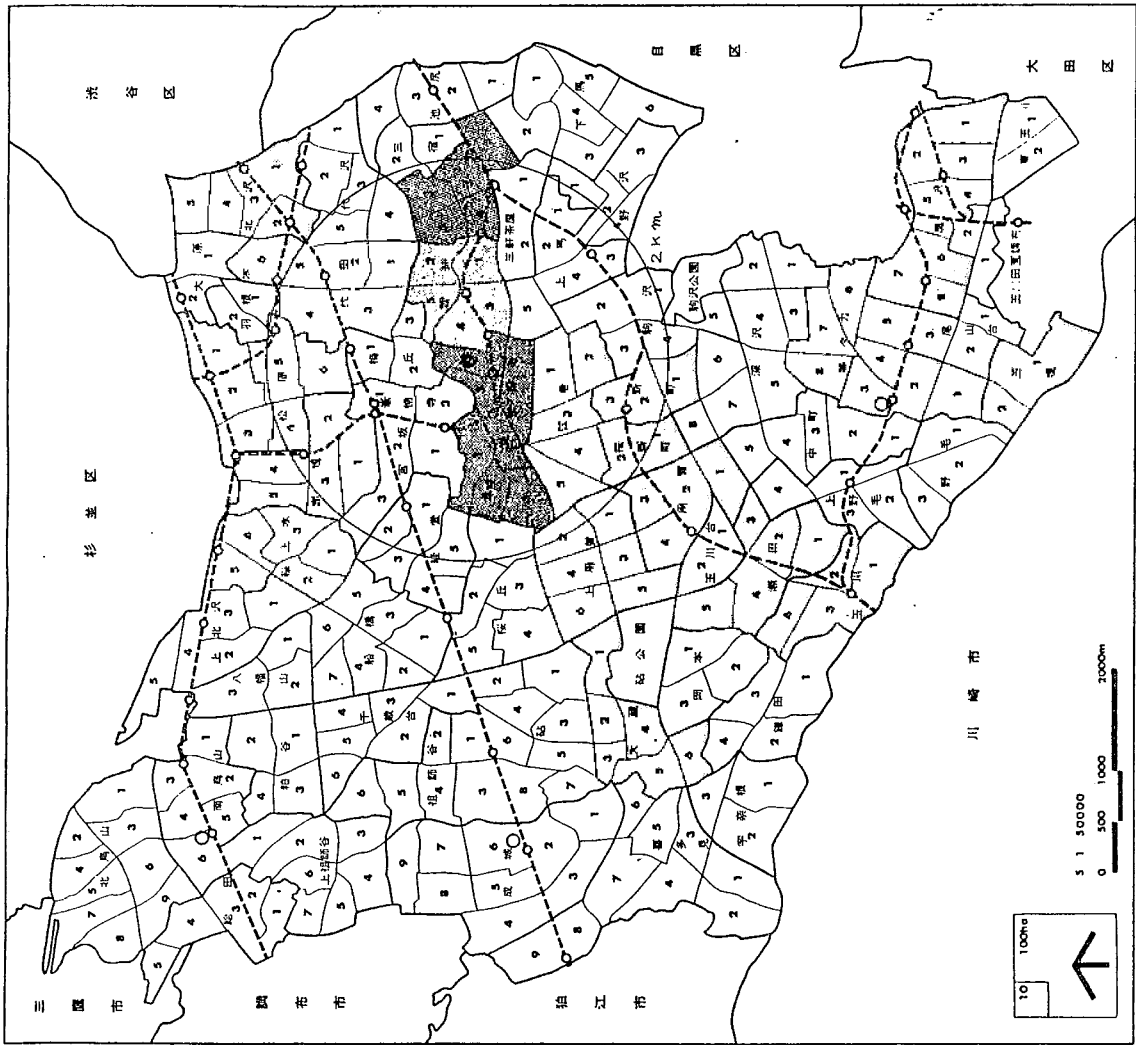
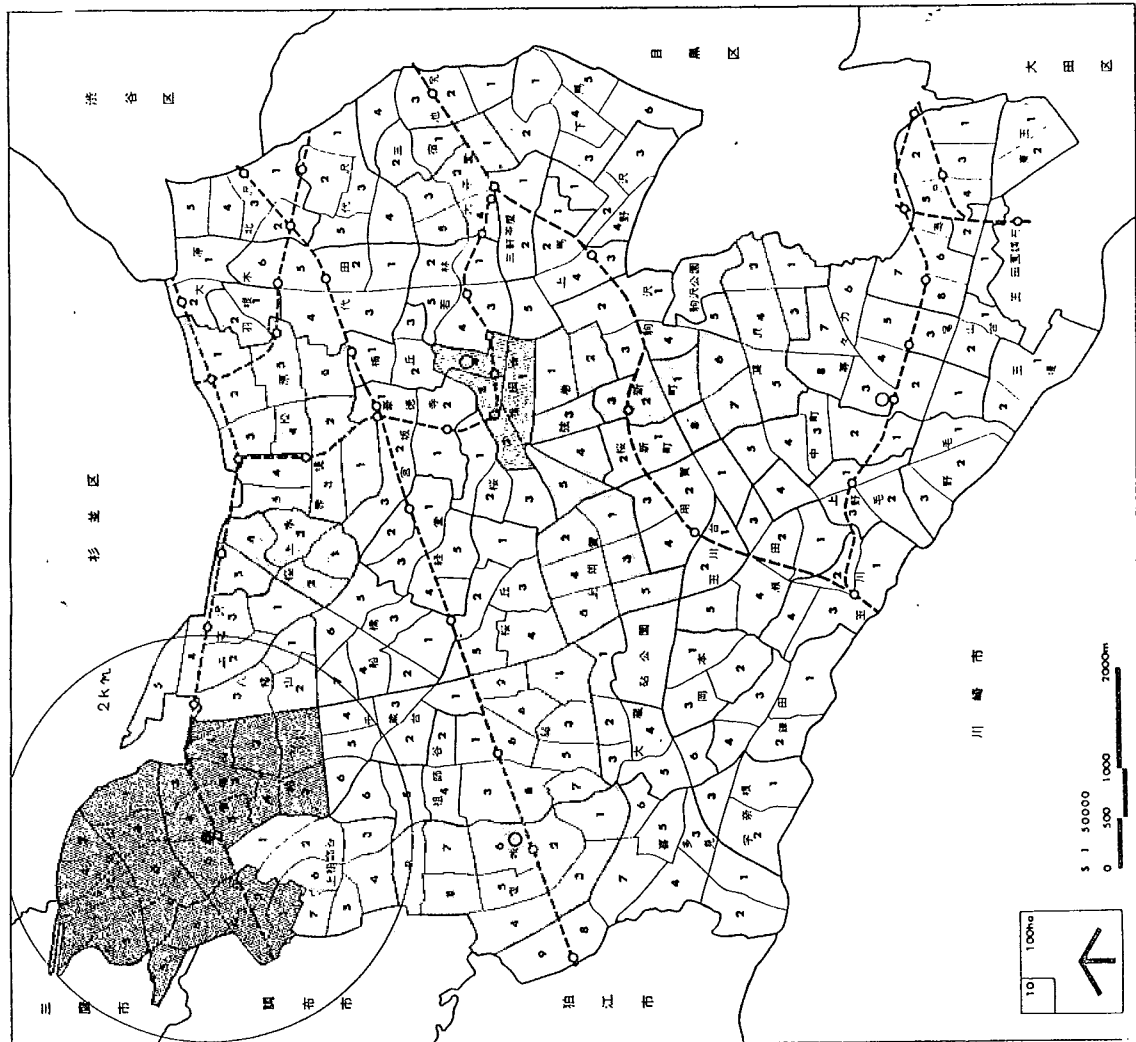
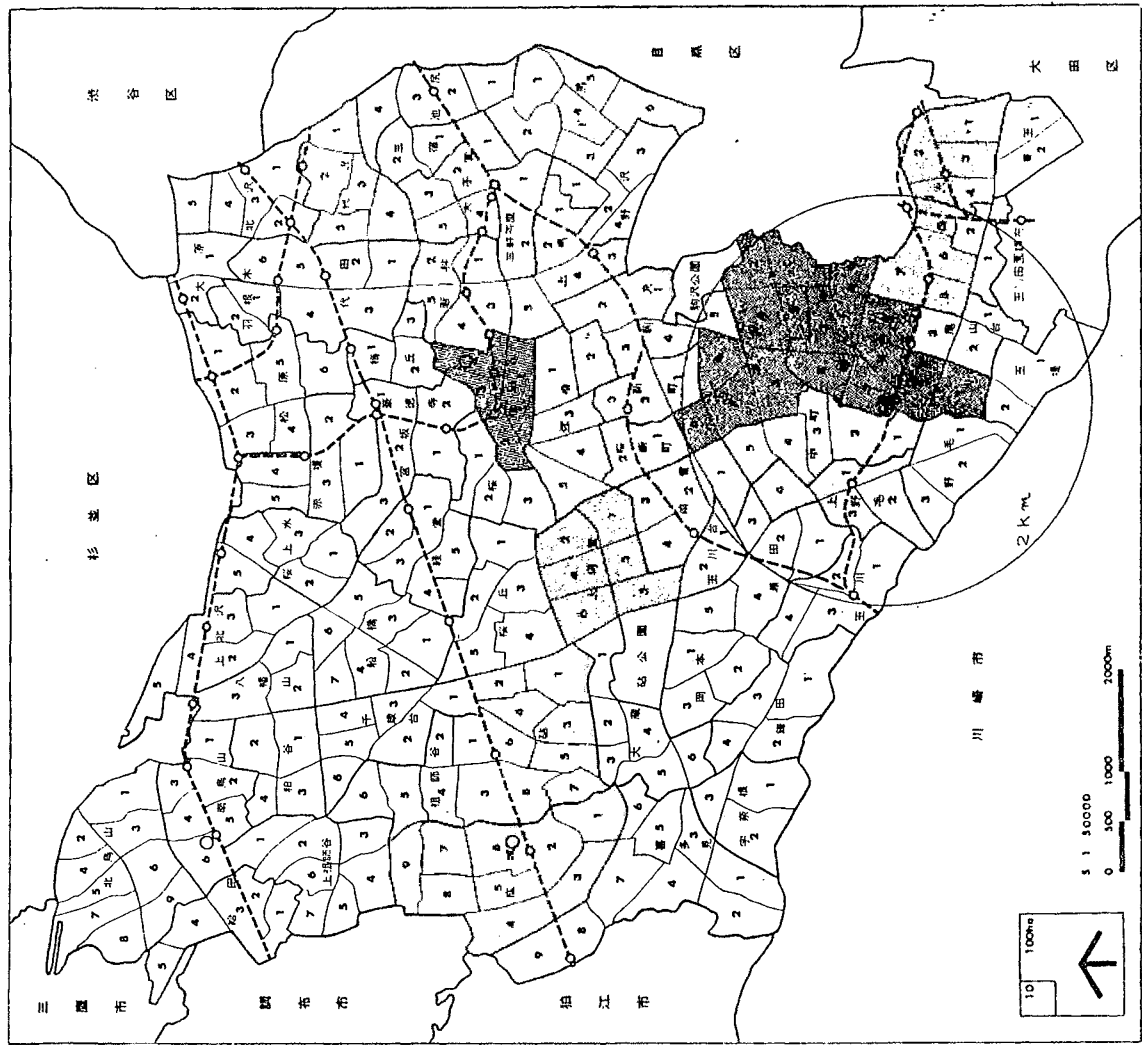


図3-17 ①世田谷区 ②渋谷区 ③目黒区 ④大田区  
 利用団体の地域分布 ⑤杉並区 ⑥調布・コマ江・三鷹  
 ⑦その他の東京都 ⑧神奈川県 ⑨その他

各会館の利用団体の地域分布を見ると(図3-17),アンケートに答えた団体のみを集計の限りで「はあるか」、世田谷区民による利用申し込みが、世田谷区民会館、玉川区民会館、烏山区民センターでは約6割強を占め、主として世田谷区民による利用が主体になっているのが読みとれる。砧区民会館では、区民の利用が40%と最も高いものの、神奈川県下の利用者の割合が、他の会館に比べて高いのが注目される。

さらに図3-18a~cに世田谷区内の団体の地域分布を示す。これによると、各館とも、かなり広域の利用者を集めているものの、基本的には、各区民会館の近隣に利用団体が分布している。特に会館の所在地を中心として2~3kmの範囲に利用者が集中している。また、烏山区民センターでは京王線、砧区民会館では小田急線に沿って利用者が分布し、鉄道の影響の強いことが窺える。





(団体数)

図3-18c 玉川区民会館の利用者分布



(団体数)

図3-18d 石砥区民会館の利用者分布

利用団体の活動範囲(図3-19)は、砧区民会館、玉川区民会館、烏山区民センターにおいては、世田谷区内を活動範囲とするものが3割~4割、東京都内を活動範囲とするものが5割強と高い割合を示している。世田谷区民会館の場合は、少し様子を異にし、他の三館よりも世田谷区内を活動範囲とするものの比率が高く、また、全国を活動範囲とするものの比率も高い。これは、世田谷区民会館が、世田谷区の顔として、区の行事や一流の芸術家による公演が多いという理由によるものであると推測される。

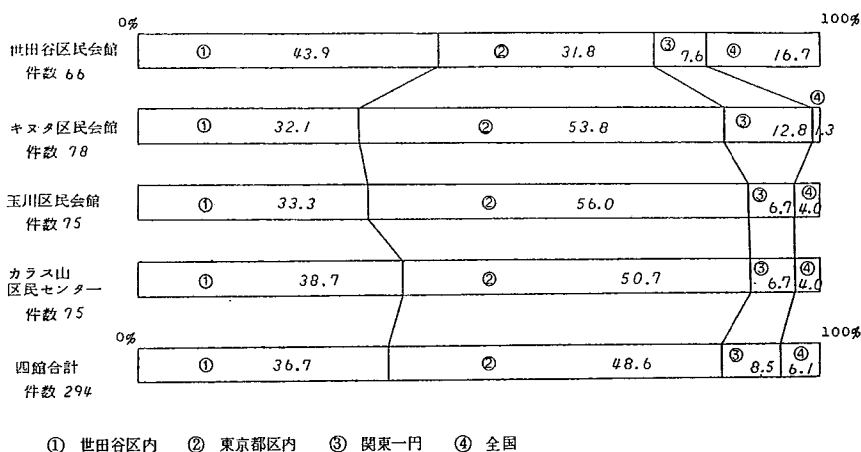


図3-19 利用団体の活動範囲

公演に参加したメンバーの数(図3-20)については、世田谷区民会館と他の三館とでの差異が認められる。世田谷区民会館の場合、公演に参加したメンバーの数は、25人以下のものから1000人以下のものまで、かなりコニスタントに分布している。他の三館の場合は50人以下の場合が過半数を占める。しかし、やはり、50人を越すものも相当数あり、無視することは出来ない。

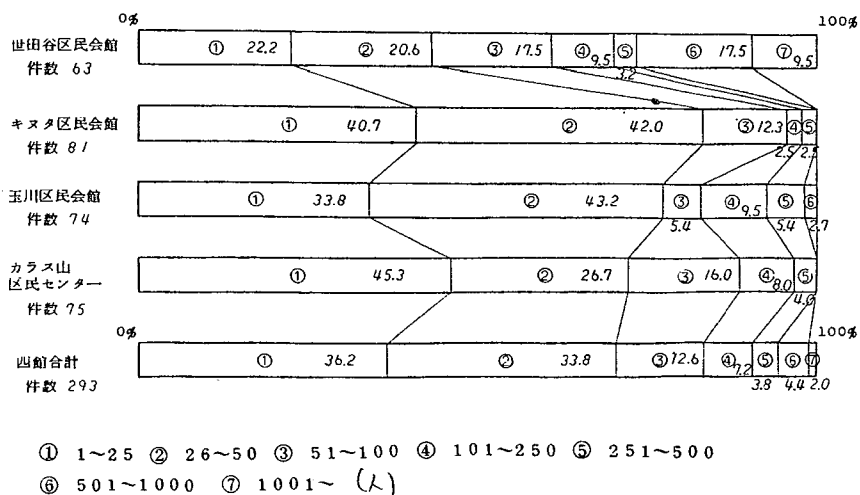


図3-20 公演に参加したメンバーの数

構成メンバーにおける世田谷区民の割合を調べてみると、全館を通じて構成メンバーにおける世田谷区民の占める割合の高い団体の利用率が高く、各館とも、居住地域にかなり密着した利用がなされていることが判る。特に世田谷区民会館において、ほとんど世田谷区民による団体の利用率が全体の44.3%と最も高い。これは世田谷区民会館では区に関係ある行事が多い為と考えられる。(図3-21)

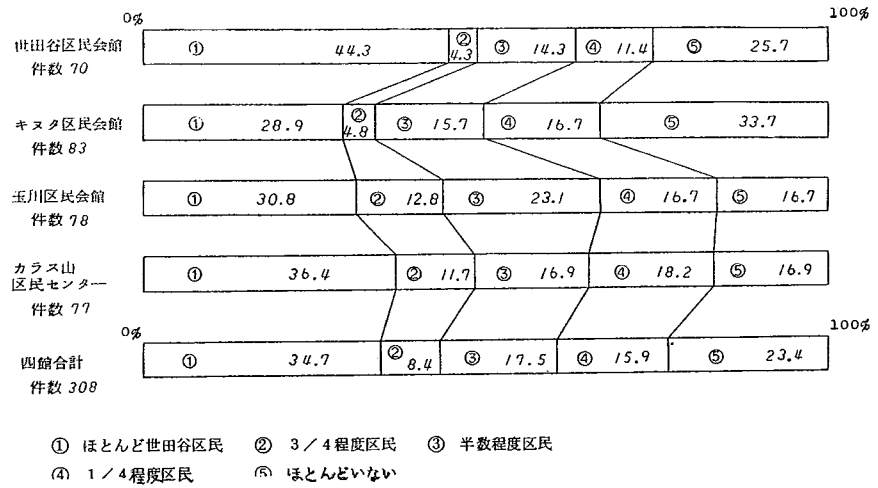


図3-21 構成メンバーの世田谷区民の割合

## 2) - b) ホール利用の目的、動機

四館ともに、ほとんどの団体が公演目的に会館を利用しているが、リハーサルのみホールを利用する団体が、砧区民会館とのぞく三館で約1割程度を占めて、これがリハーサル施設としての機能も果たしていることに注目した。たとえば、世田谷区民会館では、東京都交響楽団が毎月ほぼ定期的のリハーサルを行っている。これは、セアリングによると、世田谷区民会館の使用料が本公演を行うホール（東京文化会館等）より安い為に、大まなりハーサルに当会館を使用しているということであった。このことは、東京都内に、文化団体のリハーサルの要求を充足させてくれる施設の少ない現状の一端を示しているとも考えられる。（図3-22）

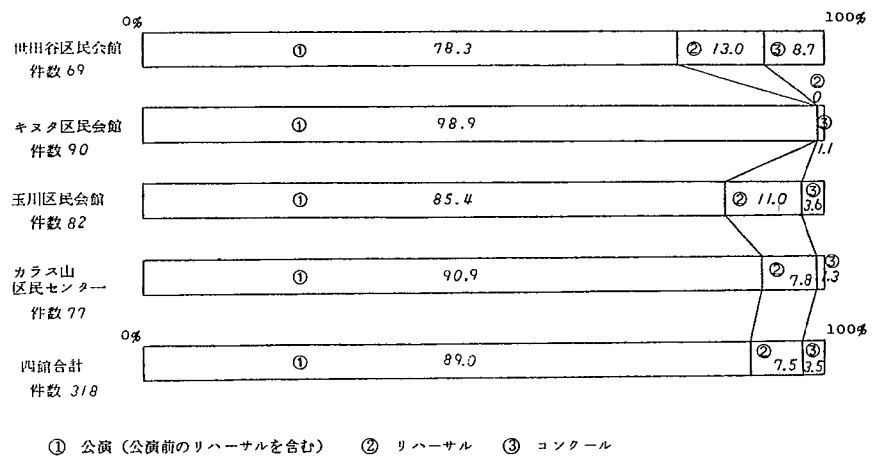


図3-22 ホール利用の用途

観客の有無及びその入場料については、四館を通して、無料で観客を入れる場合が過半数を占め、有料で観客を入れる場合は全体の3割程度である。つまり、利用団体の多くは観客からの入場料収入

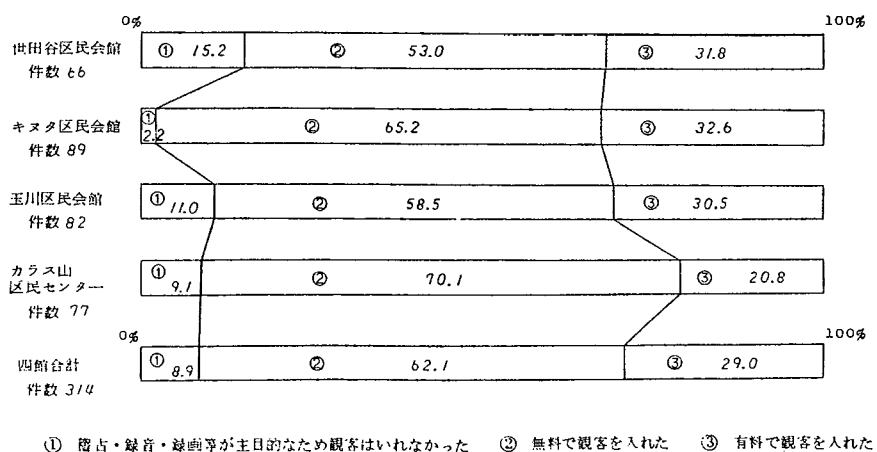


図3-23 入場料の有無等

公演経費の回収手段として期待しない持ち出し覚悟の事業を行って11ると11え3である。

利用団体の大半(約8割)は当該会館の公演のための企画を立てているが、全体の15~20%は他の会館(世田谷区内のものに限らない)における上演をあらかじめ想定した、つまり巡回公演の形式をとる企画を立てている。(図3-24)

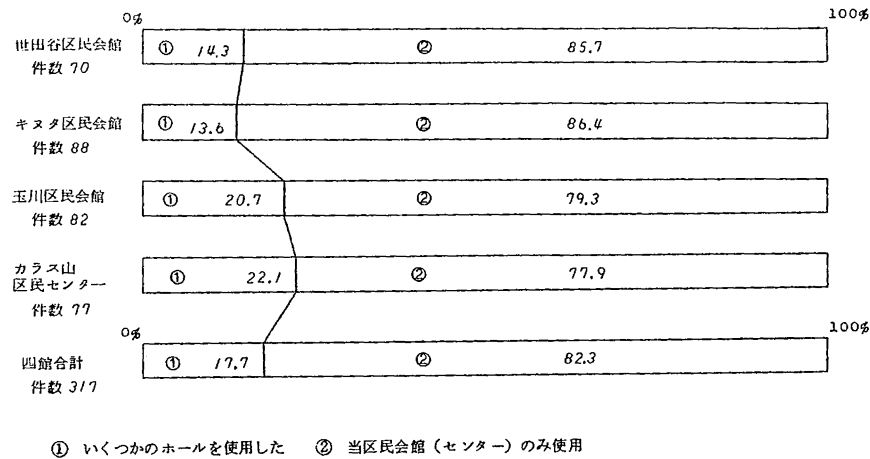


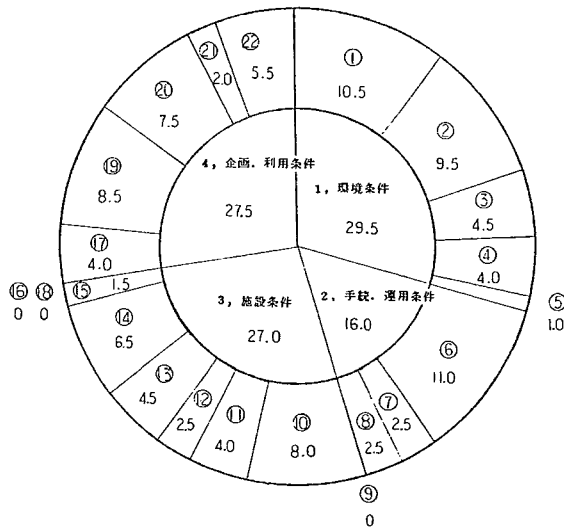
図3-24 当企画は当該ホールのみを使用したか否か。

当該ホールを選択した理由は、環境条件としては、活動拠点がホールの付近にある、メンバーの多くが近辺に住んでいる、交通の便が良く出演者が集合しやすいという回答が多く、かなり地域に密着したホール利用が多いことを示している。また観客の便宜よりも出演者の便宜が優先して考えられる傾向が認められるが、これは営利を目的としないアマチュア活動が中心となっているからだろうか。

手続や運用上の条件としては、利用料金が千頃であることが第一の理由としてあげられる。施設上の条件としては、基本的な条件である客席数や舞台寸法の適合性が重要な選択理由となっている。ただし世田谷区民会館のように、演劇やバレエ公演など、複雑で高度な舞台技術を必要とする演目の多いところでは、各種の舞台設備が整っていることも大きな選択理由となっている。反面他に適切な施設がないという消極的な理由も多々見うけられる。(図3-24a~e)

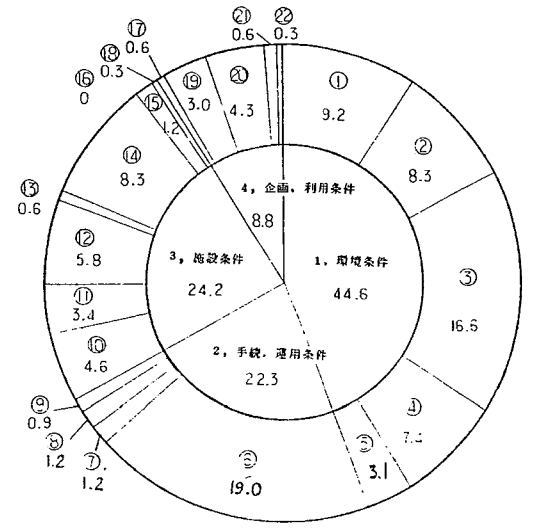
当該ホールを選択した理由～世田谷区民会館

a



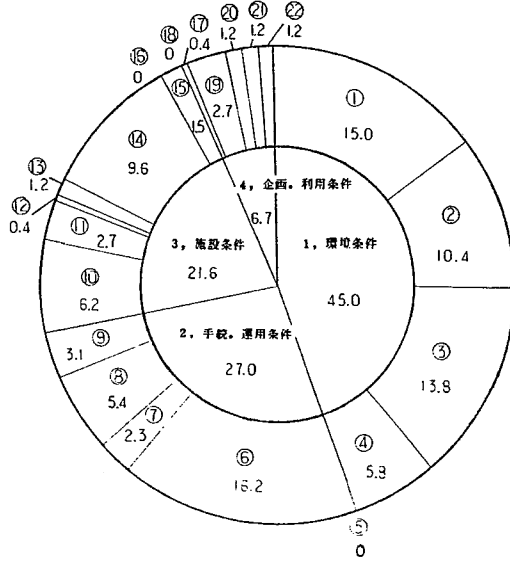
当該ホールを選択した理由～キヌタ区民会館

b



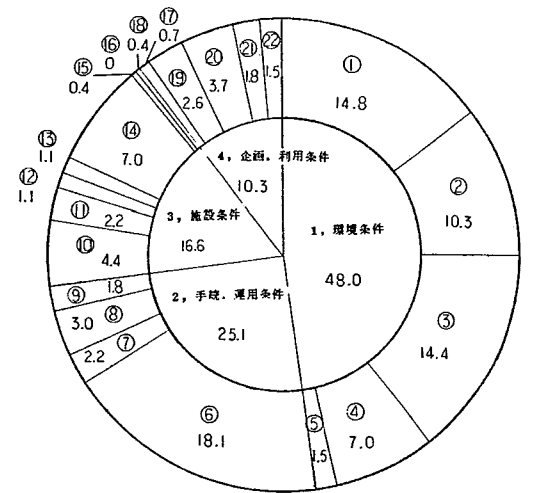
当該ホールを選択した理由～烏山区民センター

c



当該ホールを選択した理由～玉川区民会館

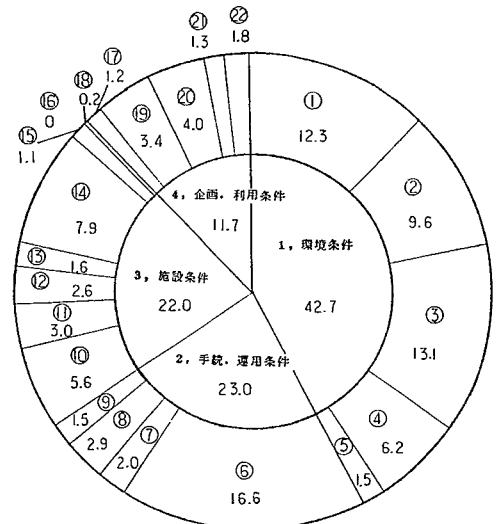
d



- ① 活動拠点(稽古場・事務所等)がホールの付近にある
- ② メンバーの多くが近辺に住んでおり活動しやすい
- ③ 交通の便が良く出演者が集合しやすい
- ④ 観客をあつめやすい場所にある
- ⑤ ホールの周辺環境が演じ物の雰囲気に適している
- ⑥ 利用料金が手頃である
- ⑦ 利用手続きが簡単である
- ⑧ 職員が親切で安心して利用できる
- ⑨ ホールの運用時間(開館時間、閉館時間)が手頃である。
- ⑩ 舞台の寸法(広さ)が手頃である
- ⑪ 舞台設備(吊り物装置、照明設備、音響設備)が手頃である
- ⑫ 良いピアノがある
- ⑬ 音響効果が良い
- ⑭ 客席数が手頃である
- ⑮ 客席の雰囲気が良い
- ⑯ ホワイエ・ロビーの雰囲気が良い
- ⑰ 世田谷区の事業協力があつた
- ⑱ 楽屋環境が整っている
- ⑲ 他に適切な施設がない
- ⑳ いつも使用しており使いなれている
- ㉑ 他のホールの使用を希望したが都合により不可能となつたのでその代りに使用した。
- ㉒ 企画自体がここでやらなければ意味をなさないものであつた

当該ホールを選択した理由～四館合計

e





ホールの利用者には、いわゆる常連が多い。この傾向は特に世田谷区民会館で顕著である。ただし烏山市民センターは新設館のせいから始めて使用する利用者が多く見られた。(図3-25)

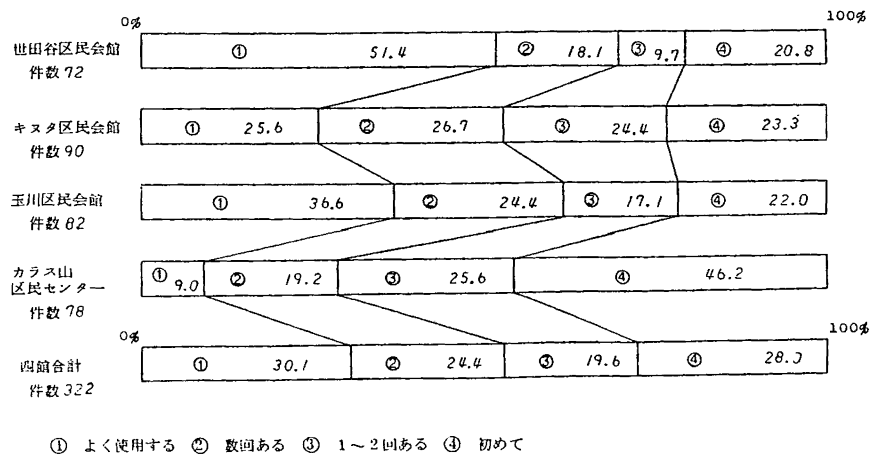


図3-25 当該ホールを以前にも使用したことがあるか

世田谷区民会館を利用する団体は、公共ホールを専ら利用する団体が圧倒的に多いが、他の三館の利用者とは利用者層が異なる傾向にあり、世田谷区内の他のホールを使用した経験のあるものは少ない。おそらく他の区の公共ホールを利用しているのであろう。(図3-26) (図3-27)

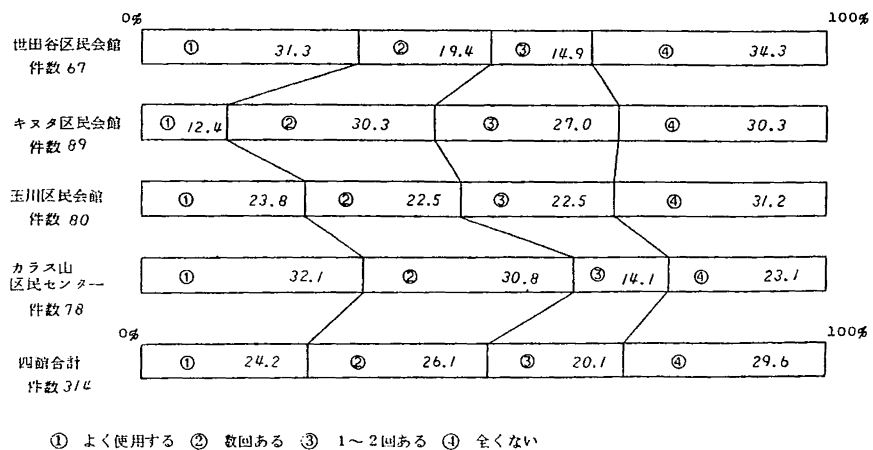


図3-26 他の世田谷区のホールを使用したことがあるか

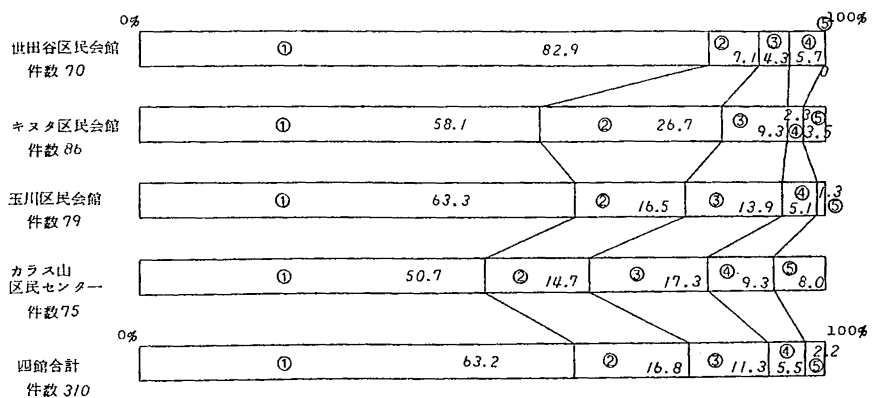
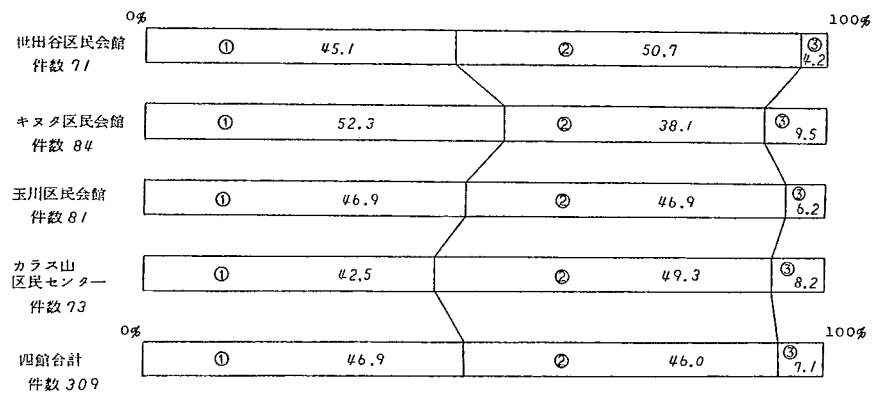


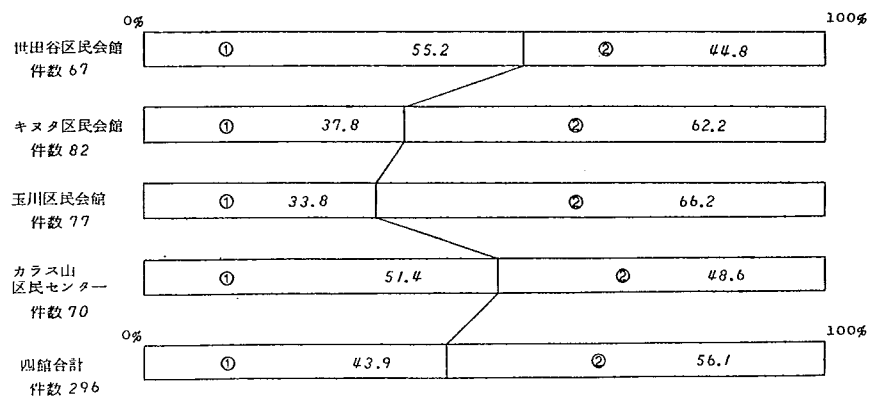
図3-27 公共ホールを利用する割合と民間ホールを利用する割合とどちらが多いか。

いずれの会館においても、ホールを使用する必要がある時は専ら当該ホールを利用すると答えた団体と、必要に応じて使いわけていると答えた団体の比率はほぼ1:1の割合で見られる(図3-28)が、当該ホールでの上演に特別な意味を感じている団体の割合は、世田谷区民会館と烏山区民センターで高く、砧区民会館及び玉川区民会館でやや低い傾向にある。この理由については正確には判らないうが後者を利用する団体のホールの存在への関心度が低いことによると思われる。あるいは、砧区民会館、玉川区民会館の施設のイメージが何らかの理由で低いことも影響しているのではないかと。(図3-29)



- ① ホールを使用する必要がある時はもっぱら当ホールを使用している。
- ② 必要に応じていろいろなホールを使いわけている。当ホールはその中のひとつである。
- ③ その他

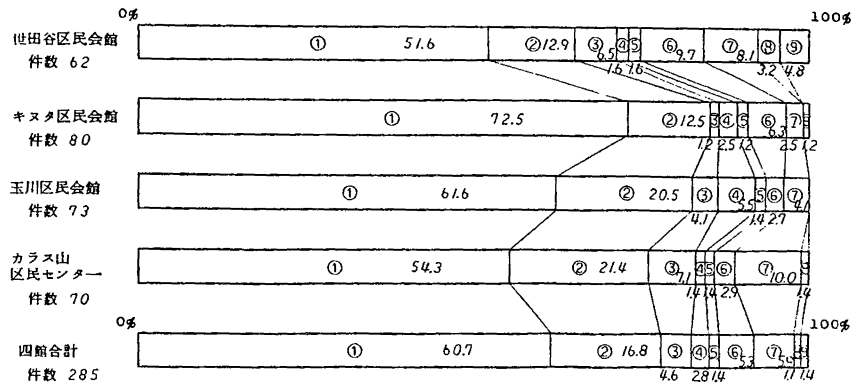
図3-28 当該団体における当該ホール利用の頻度



- ① はい
- ② いいえ

図3-29 当該企画は他のホールではなく当該ホールで上演することに特別な意義はあったか。

当該団体のホールの年間利用回数は、1~2回のものが全体の7割~8割と大半を占める。しかし20回以上も使用する団体もかなり見られる。これらは主として、公演活動を専らとする専門家の利用であろう。(図3-30)



① 1 ② 2 ③ 3 ④ 4 ⑤ 5 ⑥ 6~10 ⑦ 11~20 ⑧ 21~100 ⑨ 101~ (1E)

図3-30 当該団体の年間ホール利用回数

## 2) - c) ホール利用における手続及び施設上の問題点

ホールの手続に関しては、四会館ともに、多くの利用団体はさほどの煩雑さを感じていない。しかし、全会館を通して、15%程度は煩雑さを感じていることを考えると、今後も会館がより使用しやすくなるように、手続の体系を改善してゆく努力は必要と思われる。(図3-31)

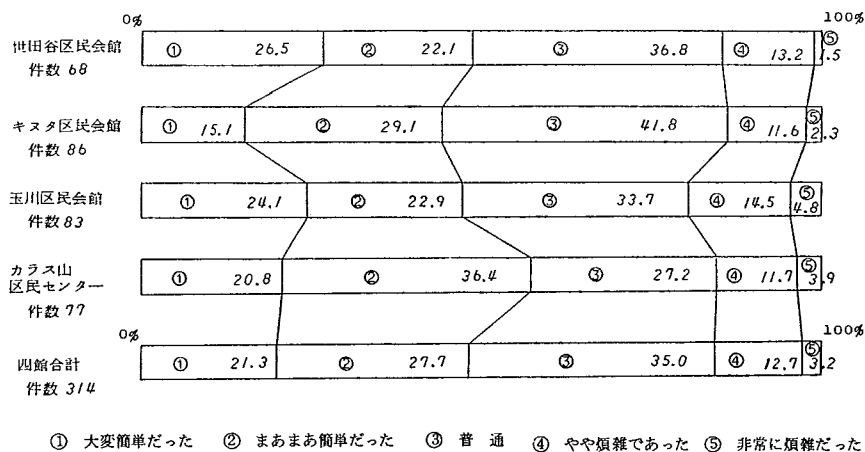


図3-31 ホール利用手続の難易度

ホール利用手続の難易度よりも、利用団体にとって大切なのは、ホールの借用時間や借用日数である。ホールの借用時間についてはかなり多くの団体が不満を感じている。(図3-32)

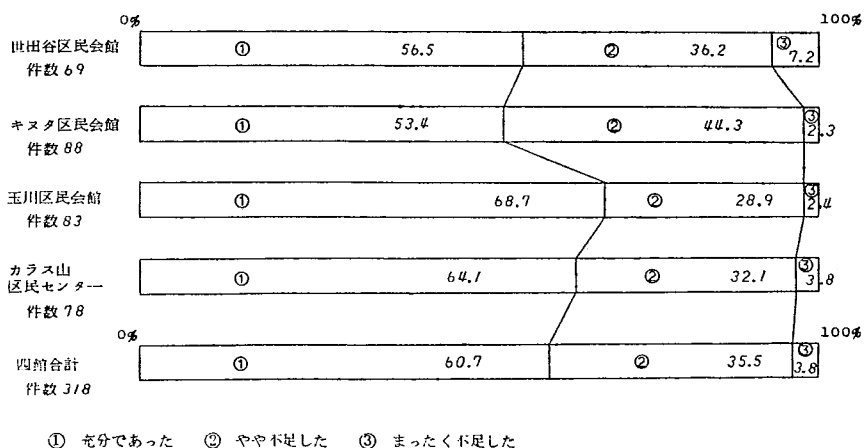


図3-32 当該ホールの借用時間は充分だったか

公共ホールの借用時間の短かさ、特に閉館時間の早さについては、長年の議論のあるテーマであり、容易に解決のつかない困難な問題ではあるが、やはり施設を使い易くする意味で、今後ぜひ、何らかの解決策を見い出してゆくべき重要なポイントではなからうか。

実際に公演を行った時間を図3-33に示す。これによると、公演時間には、1〜2時間程度のものから10時間にも及ぶものまで実に中

広いことがわかる。この時間の違いは上項種目による違いが多きな要素を占めていると推測されるが、この点については本節3項にて詳しく検討する。

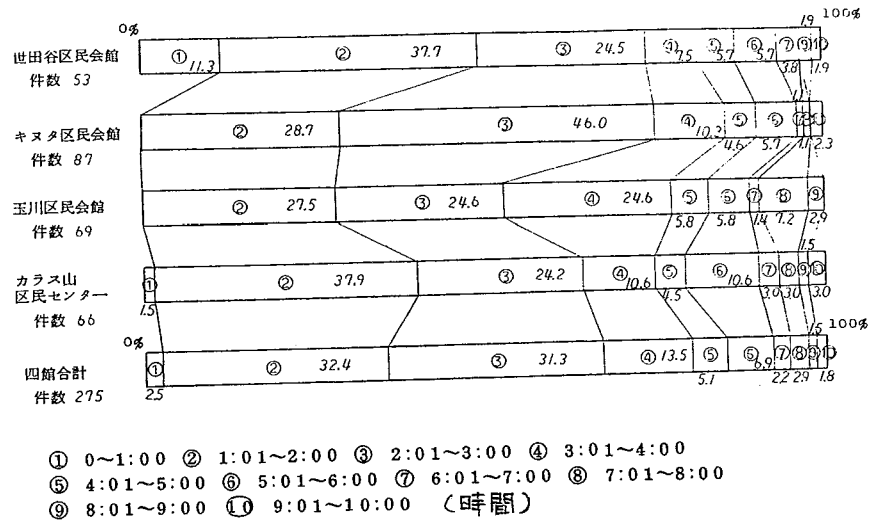


図3-33 公衆時間分布

公衆時間の満足度については、やや少ない傾向が見られる。(図3-34)

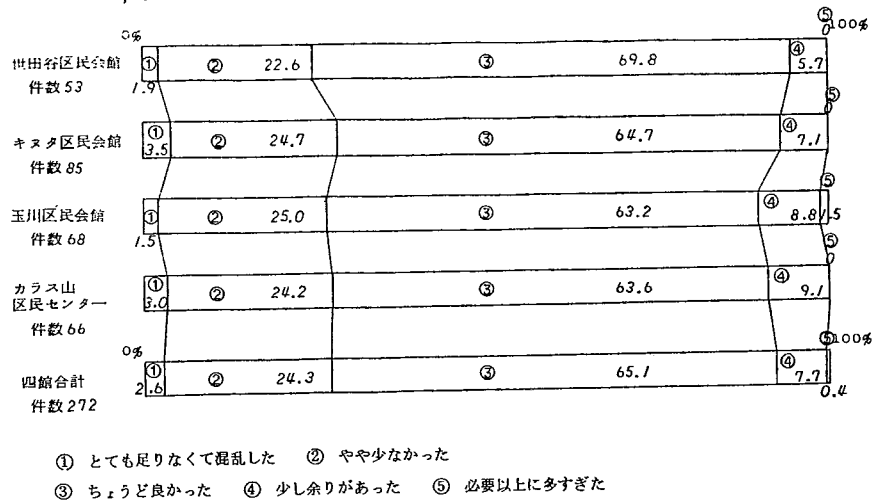


図3-34 公衆時間の満足度

ホールの借用日数については、各館とも8~9割の団体が満足し

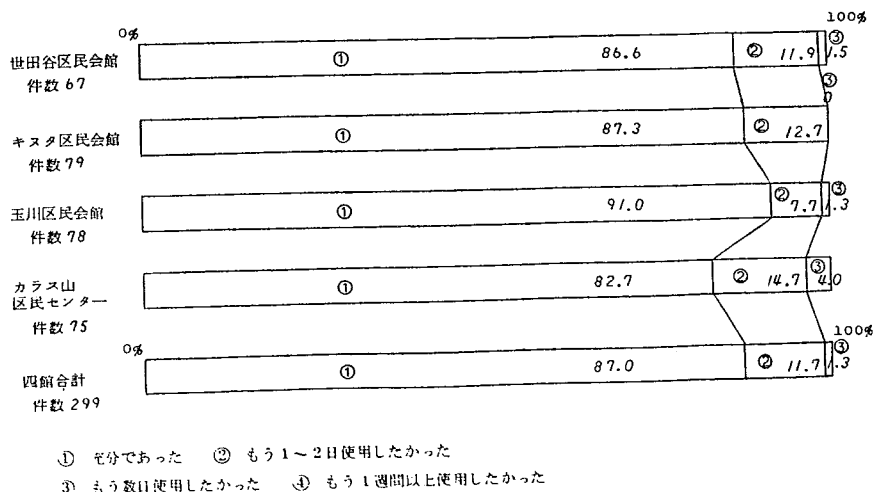
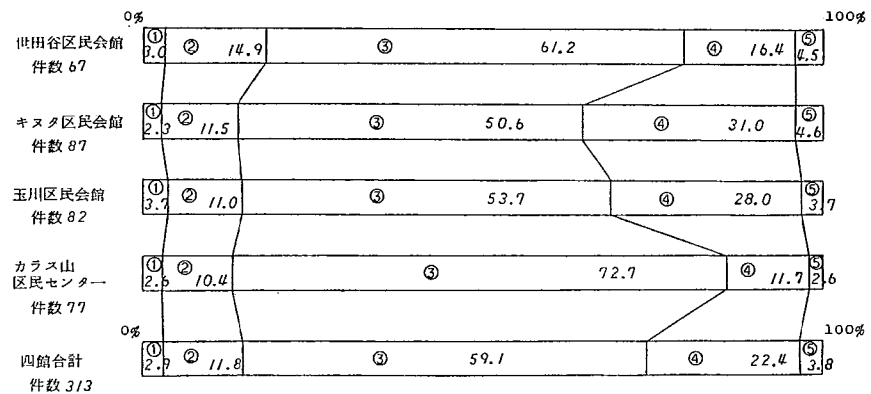


図3-35 ホールの借用日数についての満足度

ている。しかし、各館には、約1割程度、もう少し借用したかと回答した団体が見られることに注意した。本章2節にて、公共ホールでの公演が、主として短期間公演型であることを示したが、世田谷区内の区民会館も最大借用日数は3日である。定着した演劇活動には中期間、長期間の利用の可能性が必要となることもありうるので、こうした使用の方式が公共ホールでも可能となるような運用の方式を工夫することが今後必要となるのではないかと。(図3-35)

ホールの客席数については、世田谷区民会館、烏山区民センターでは、ほぼ満足している状態なのと反して、砧区民会館、玉川区民会館では、やや大きすぎるといった不満が高い。烏山区民センターとほぼ規模が等しいが、施設設備の内容が簡素な、砧区民会館、玉川区民会館で客席数が大きすぎることへの不満が高いのは、施設の規模内容と利用要求とのバランスがやや悪いからと推測される。(図3-36)

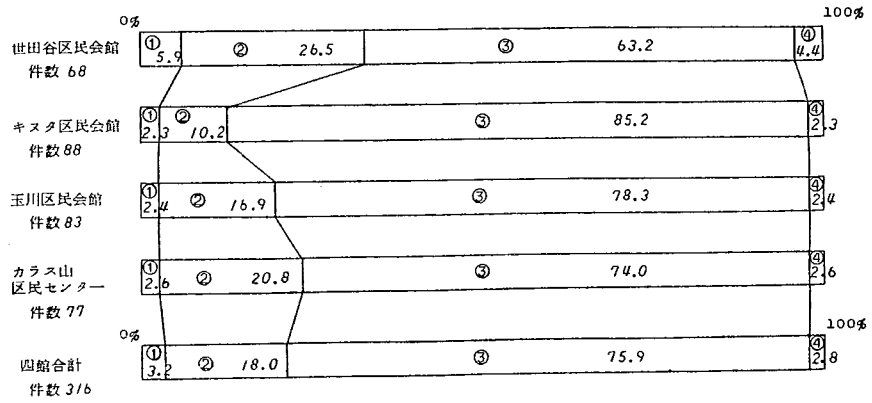


① 少なすぎた ② やや少なかった ③ ちょうど良かった ④ やや大きすぎた ⑤ 大きすぎた

図3-36 客席数に対する満足度

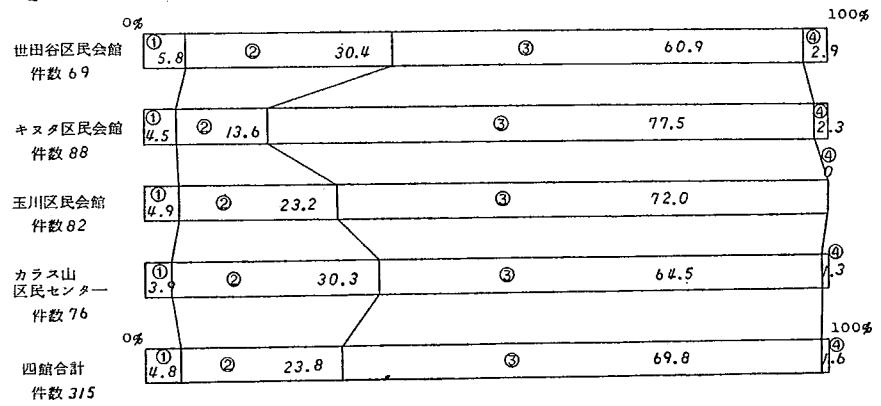
舞台の諸寸法、つりもの設備、音響設備、照明設備、ホールの音響特性、乗屋の収容能力等施設面については、いずれの会館においても不満の声は、かなり高く、今日の要求を満し切っていない。

舞台の基本寸法については、奥行のなさの不満が、最も強い。また、玉川区民会館、砧区民会館という設備の素朴なものよりも、世田谷区民会館、烏山区民センターのように、やや高度な設備をもったものへの不満が高いが、これは、設備内容と舞台空間とのバランスが、やや高度な上演内容のところでバランスを欠いてしていることを示



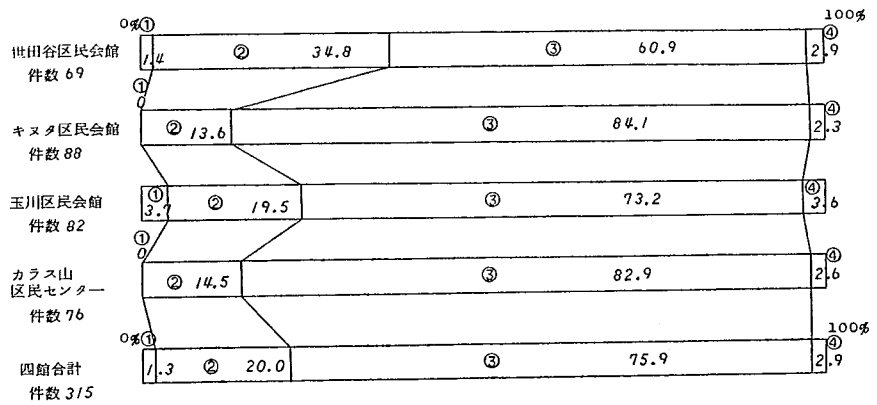
① 大変狭い ② 狭い ③ ちょうど良い ④ 広すぎる

図3-37 舞台の広さに対する満足度



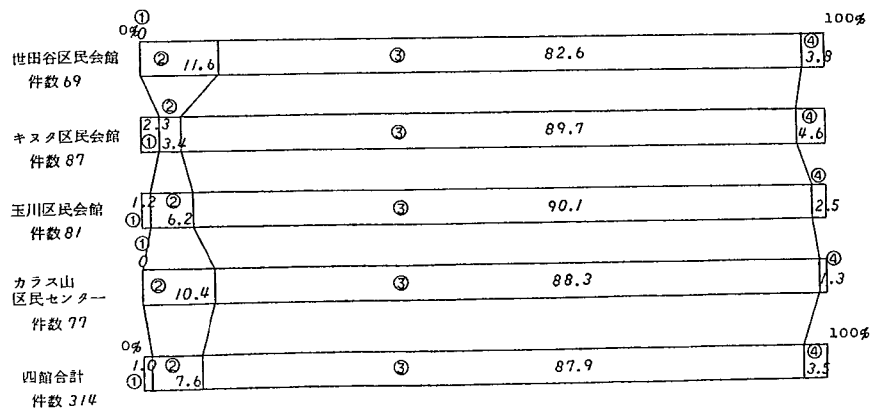
① 大変狭い ② 狭い ③ ちょうど良い ④ 広すぎる

図3-37 舞台の奥行に対する満足度



① 大変狭い ② 狭い ③ ちょうど良い ④ 広すぎる

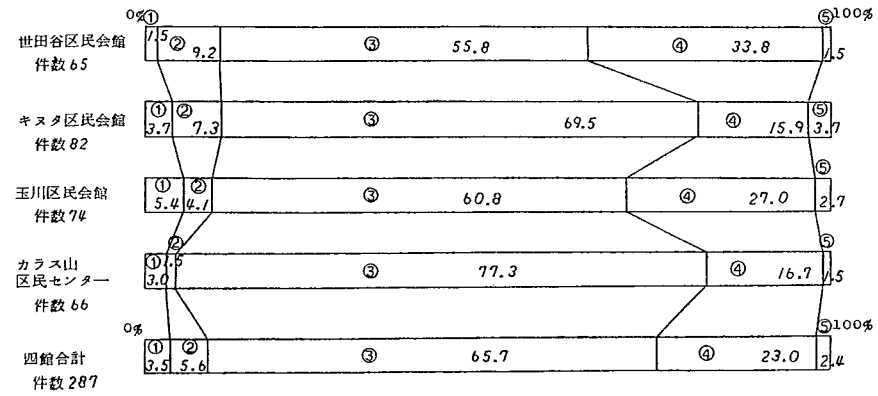
図3-38 舞台の間口に対する満足度



① 大変低い ② 低い ③ ちょうど良い ④ 高すぎる

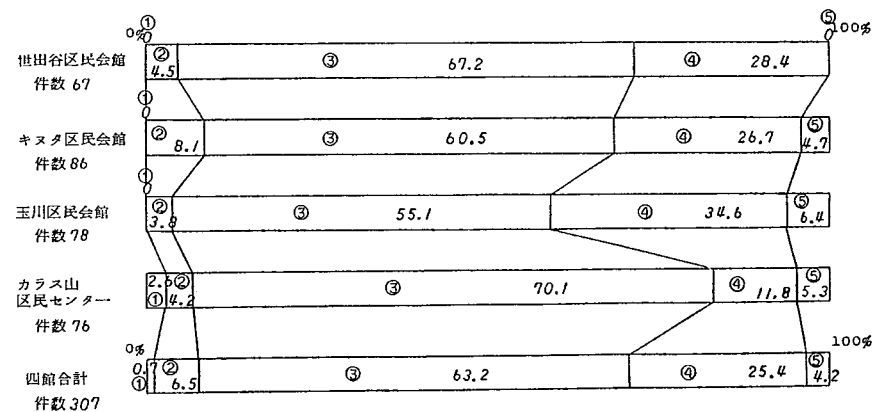
図3-39 舞台開口の高さに対する満足度

しているのことはないか。(図3-37～図3-39)



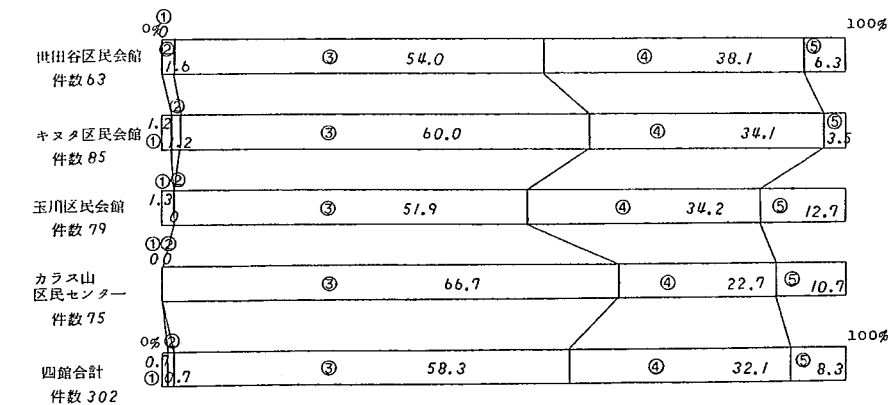
- ① 当公演には大がかりすぎる
- ② やや大がかりである
- ③ ちょうど良い
- ④ やや不備である
- ⑤ 非常に不備である

図3-40 つり物設備についての満足度



- ① 大がかり過ぎて使いきれない
- ② やや大がかりである
- ③ ちょうど良い
- ④ やや不備である
- ⑤ 非常に不備である

図3-41 照明設備についての満足度



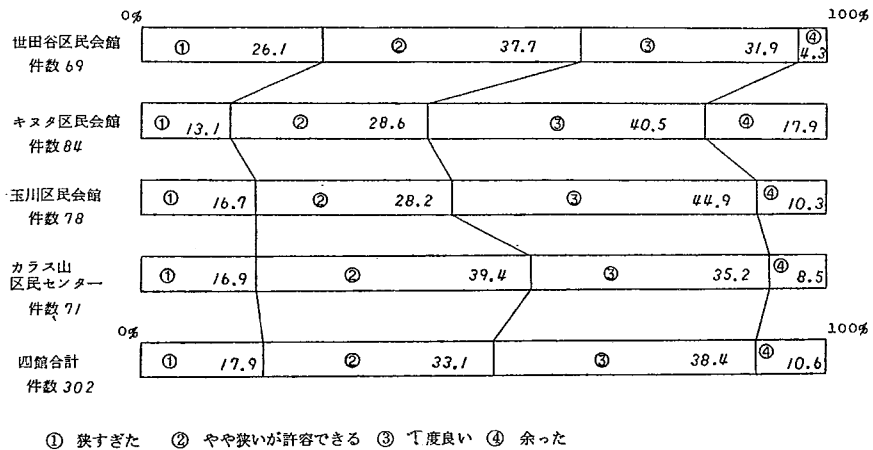
- ① 大がかり過ぎて使いきれない
- ② やや大がかりである
- ③ ちょうど良い
- ④ やや不備である
- ⑤ 非常に不備である

図3-42 電気音響設備についての満足度

つり物, 照明, 電気音響という三大舞台設備についての不満は, 舞台寸法に対する不満よりもやや高い。特に電気音響についての不満が高い。照明については, 設備が比較的しかりとした烏山区民センターで, その満足度が高いことに見られるように, 利用者の反応は敏感である。また, つり物が4館で最も整っている世田谷区民会館での不



満が最も高いことが象徴的に示しているように、舞台設備に対する満足度は、その絶対値ではなく、他の設備や施設形態とのバランスによって相対的に評価されるといえることができよう。この意味でトータルな施設内容のコーディネート的重要性が指摘できる。



注1：楽屋規模 世田谷区民会館 定員52名 楽屋面積125㎡、烏山市民センター 定員14名 楽屋面積40㎡ 玉川区民会館 定員20名 楽屋面積23㎡、砦区民会館 定員24名 楽屋面積54㎡

図3-43 楽屋の収容能力に対する満足度

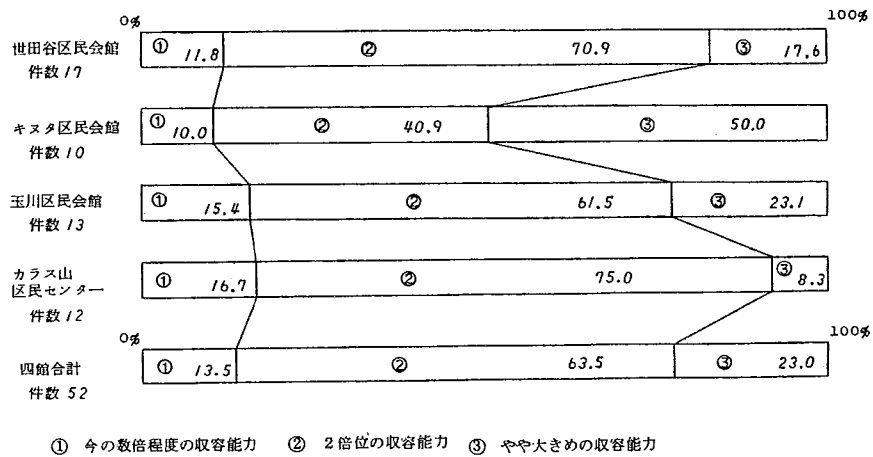


図3-44 楽屋の収容能力に不満を感じた団体の希望する楽屋規模  
楽屋については、非常に多くの団体が不満を持っている。これは、先に示した、出演者数(図3-20)では、その大部分が楽屋定員を上回っていることから推測がつく。(図3-43) ところで、あとどのぐらいの広さがあれば満足できるかを調べたところ、ほぼ2倍程度の収容能力があれば何とか満足してもよめるのではないかと想像される。

2) - d) 公演前のホールにおけるリハーサル及び仕込み、そして後片付け

舞台で何かを上演する場合には、公演前の準備としてのリハーサルや舞台の仕込み（舞台設備、器具の調整、舞台装置の飾り付け等の総称）や、公演後の後片付けも重要な要素であり、上演の質にも大きな影響を与える。しかし、その具体的な作業の様子はなかなか把握しにくく実態の解明はおくれている。そこで、今回のアンケートでは、この点についても重点的に項目を設定した

図3-45によると、多くの団体は本番前のリハーサルに1時間から5時間程度を費している。中には5時間以上リハーサルを行っている団体もあり、どの団体も本番前のリハーサルには相当の時間をさいていることが判る。

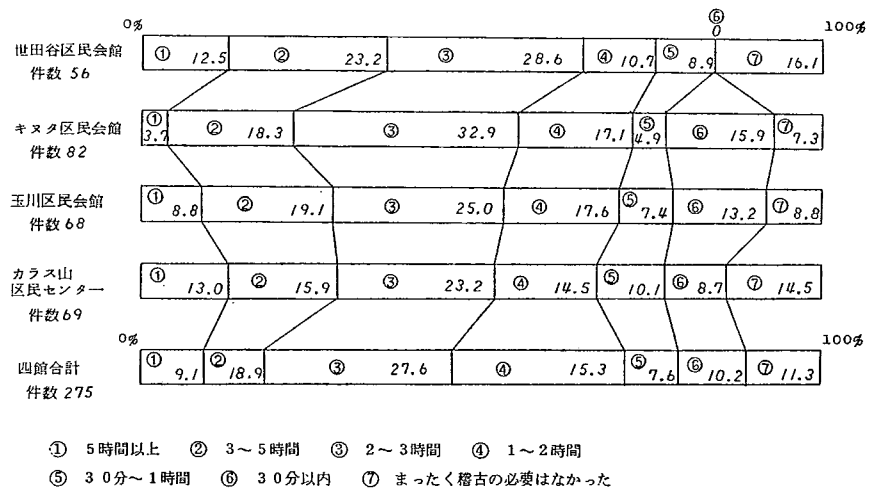


図3-45 本番前のリハーサル時間

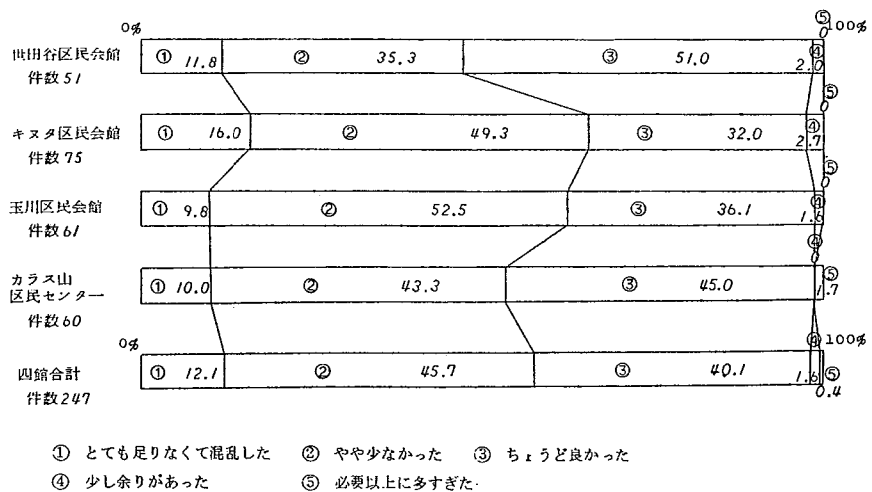


図3-46 リハーサル時間の満足度

今回の調査結果で特に面白い結果となったのは、本番前のリハーサル

に要した時間に対する満足度で、世田谷区民会館や烏山区民センターのように、技術的に高度な公演を多く行っている館よりも砧区民会館や玉川区民会館のように公演内容も技術的に容易なものが多い会館の利用者の方が、公演前のリハーサル時間に多く不満を持っているという事実である。これは後者の会館を利用する人々が前者を利用する人々よりもホールの使用手順に不慣れなためではないかと推測される。(図3-46)

公演当日に使用できるリハーサル室については、各会館とも約6割の団体が必要と答えている。(図3-47)

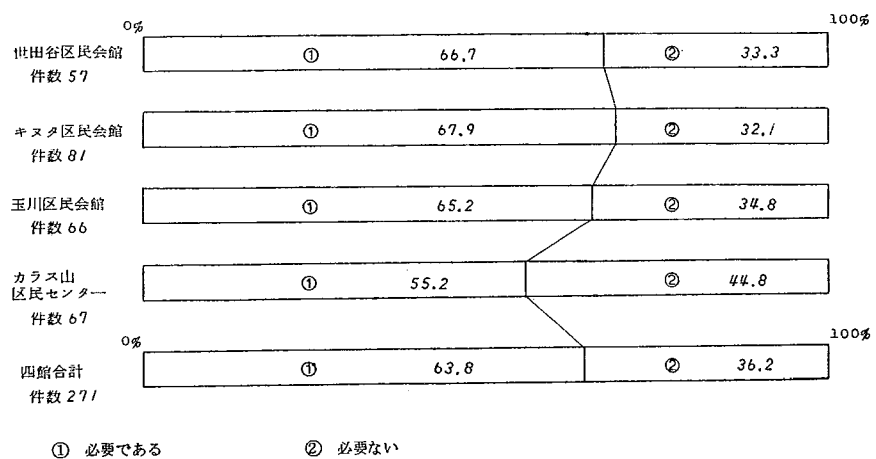


図3-47 リハーサル室の必要性

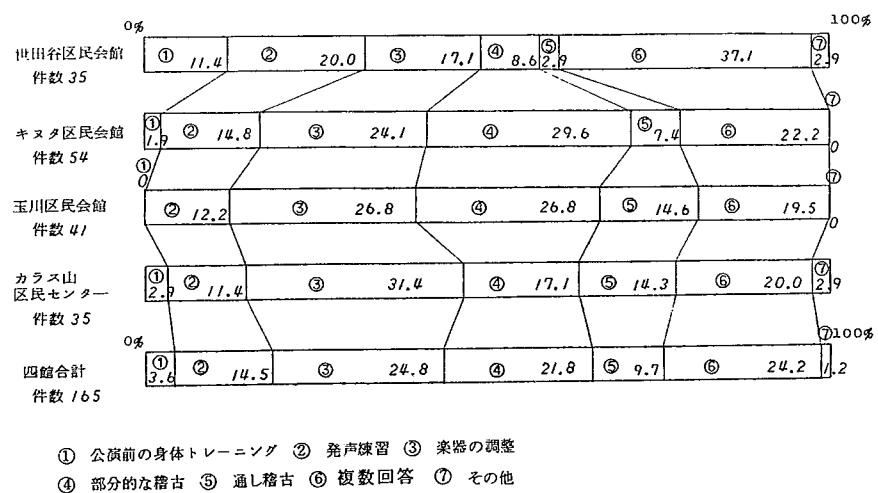


図3-48 リハーサル室の用途

リハーサル室の用途として希望しているのは主として、発声練習、楽器の調整、部分的な稽古である。また、それらの用途を組合せて用いる希望も多い。演劇やバレエの公演の多い世田谷区民会館では身体トレーニングも重要な要素である。世田谷区民会館では複数回答が多い等、他の館より、リハーサルの内容が複雑化している傾向も

読みとれる。

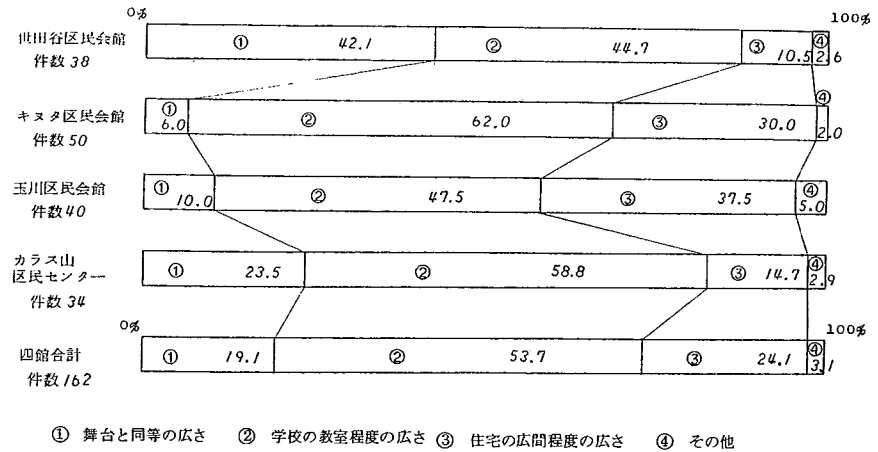


図3-49 リハーサル室が必要と答えた団体の希望するリハーサル室の広さ

希望するリハーサル室の広さは、学校の教室程度の広さを望むものが各館を通じて最も多い。しかし舞台と同等の広さ、あるいは住宅の広間程度の広さを望むものもかなりいる。世田谷区民会館や鳥山区民センターのように、舞台設備の充実している会館ほど、広いリハーサル室を望む傾向にある。(図3-49)

仕込みについては、世田谷区民会館のように舞台設備の複雑な館では、稽古と仕込みを分離する傾向が強くなり、仕込みに費やす時間も長い。(図3-50, 図3-51)。この傾向は後片付けについても見受けられる。(図3-52)

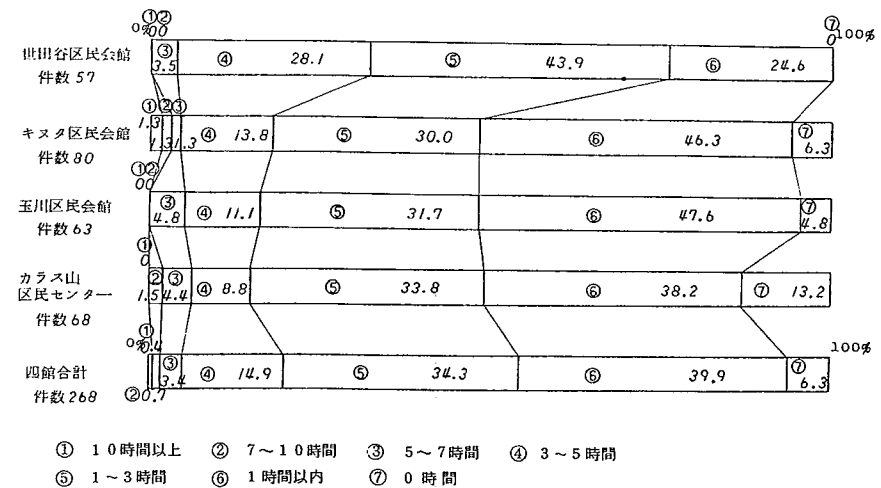
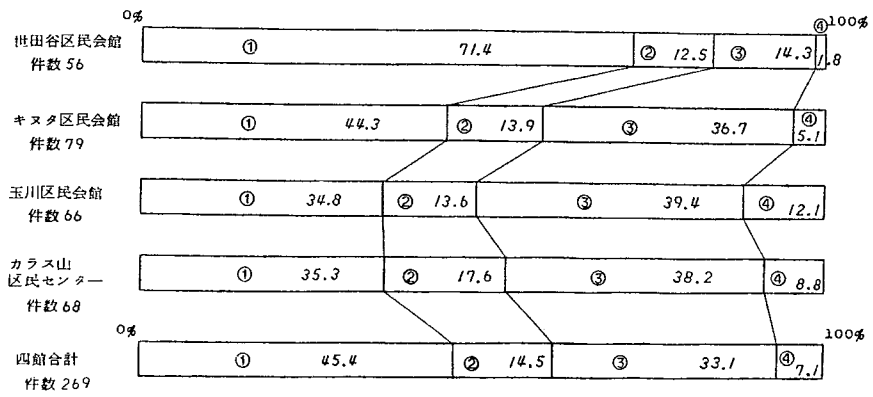
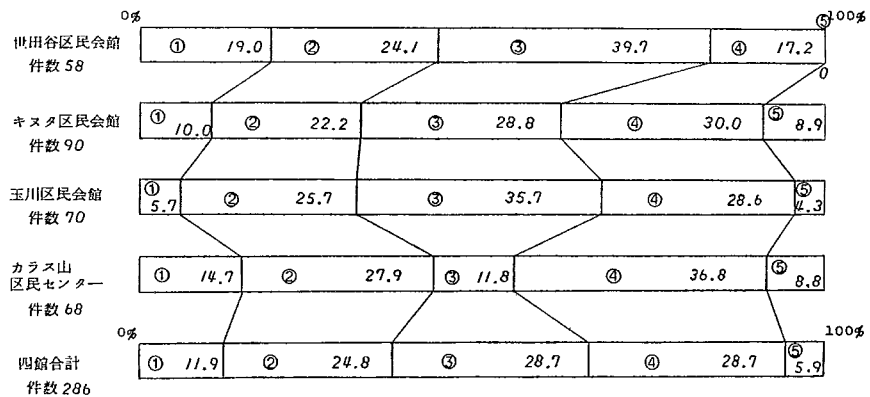


図3-50 仕込みにかかった時間



- ① 本番及び稽古の時間とは別に仕込みの時間を配感した。
- ② 借用時間以前にあらかじめ当ホールの職員が舞台をつくってくれていた
- ③ 舞台稽古に平行して仕込みを行った ④ その他

図 3-51 仕込みの方法



- ① 60分以上 ② 45～60分 ③ 30～45分 ④ 15～30分 ⑤ 15分以内

図 3-52 後片付にかかった時間

2) - e) 企画・制作・稽古のスケジュール

実際に舞台上で上演されるまでには、長い企画・制作・稽古の期間が必要である。各会館とも約7割前後の団体が、半年以上前に公演の企画をたてている。世田谷区民会館を利用する団体は特に長く企画期間をとっており、一年以上前に企画を行っている団体が26.8%もの高率にのぼっている。大きな施設に見合った大きな企画には長い期間を要するということがある。(図3-53)

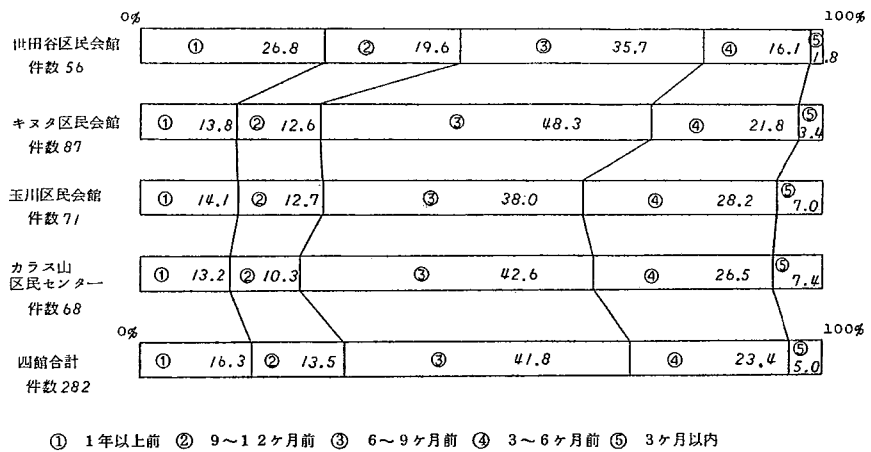


図3-53 企画をたてたのは公演のどのくらい前か

稽古期間については、砧区民会館、玉川区民会館及び烏山区民センターにおいては、3~6ヶ月と答えた団体の割合が約4割近くあり、最も高い。世田谷区民会館では、その公演規模が大きく複雑な為か、他の四館の場合よりも稽古期間を多くとる傾向がある。四館を通して、稽古期間についてはかなりの中が見られることにも注目する必要がある。(図3-54)

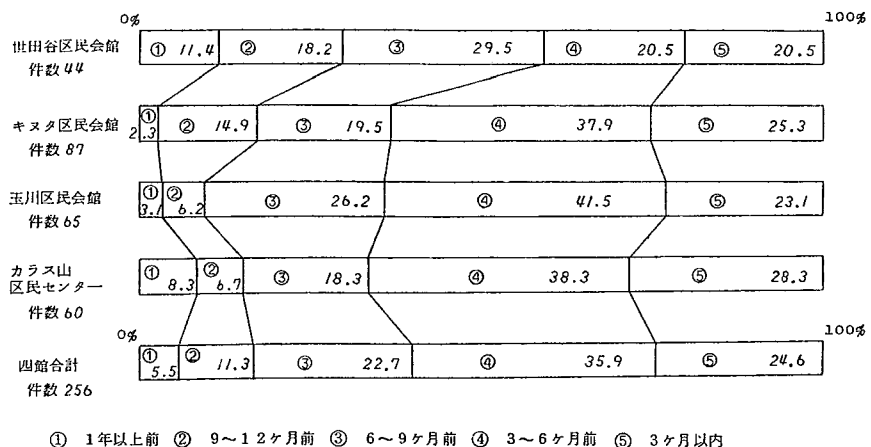


図3-54 稽古を開始したのは公演のどのくらい前か

稽古延日数については4つの会館ともに延日数25日に満たないものが5100日以上に及ぶものまで連続的に大きな巾があるのが特徴である。ここでもやはり世田谷区民会館が他の三館に比べて全体的に稽古日数が多いのが注目される。(図3-55)

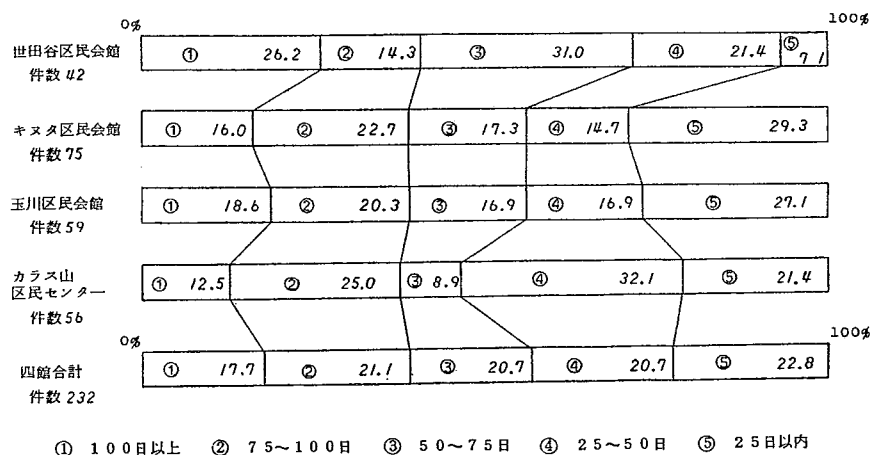


図3-55 稽古延日数

稽古の最終段階である通し稽古の回数は、砧区民会館、玉川区民会館及び鳥山区民センターでは約7割の回答者が5日以内と答えている。世田谷区民会館ではやはり他の三館に比べて通し稽古の回数も多くなる傾向を示している。(図3-56)

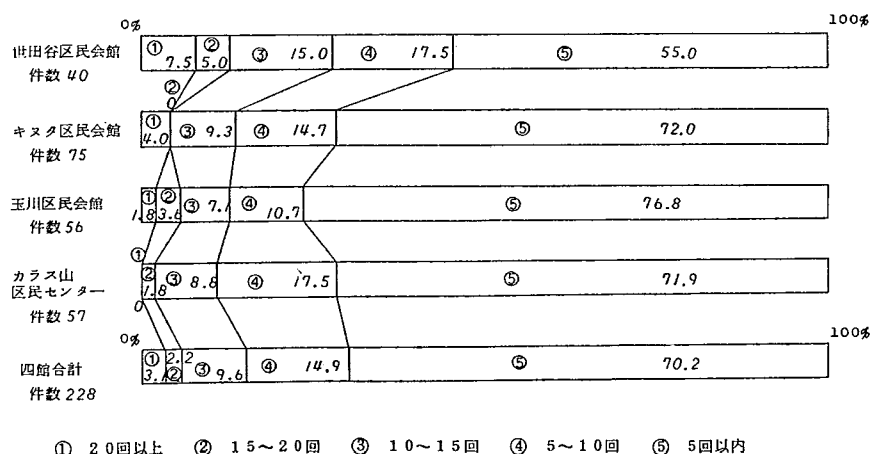


図3-56 通し稽古の回数

専用の稽古場については、四館とも5割~6割の団体が所有していると答えている。特に世田谷区民会館及び鳥山区民センターを利用する団体の所有率は高い。(図3-57)

専用稽古場の広さについては、世田谷区民会館を利用する団体が主として学校の教室程度の広さの稽古場を持っているのに対し、他の三館では、住宅の広間程度の大きさを持っているものが大半を

占めている。これは、ここでの上演種目の質の違いが大きく影響していると考えられるが、これについては本節3項で詳しく触れることとする。烏山区民センターの場合、砧区民会館、玉川区民会館に比べて、広い稽古場を所有する率がやや高い。(図3-58)

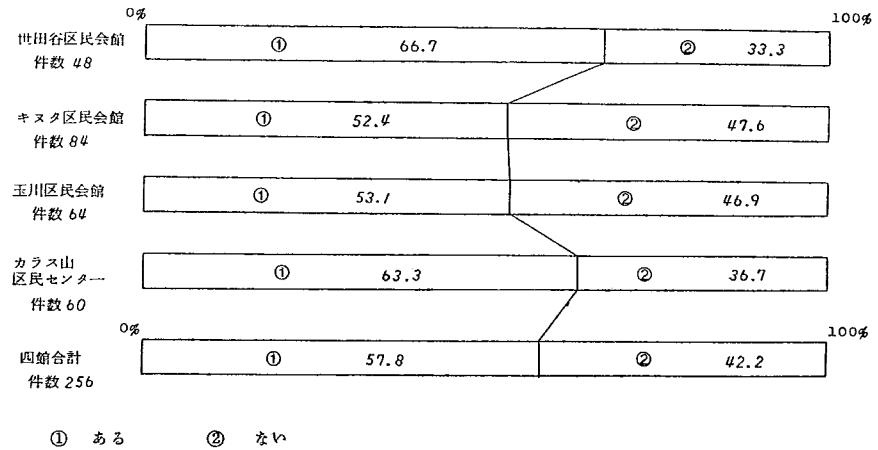


図3-57 専用稽古場の有無

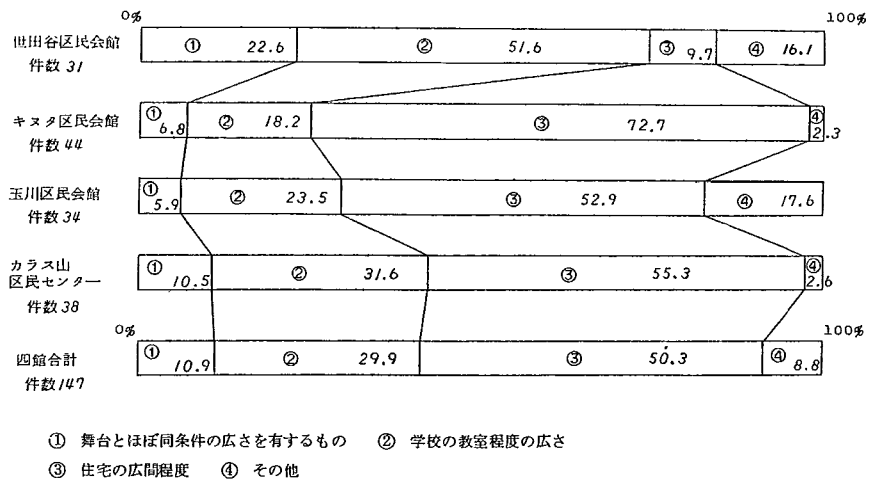


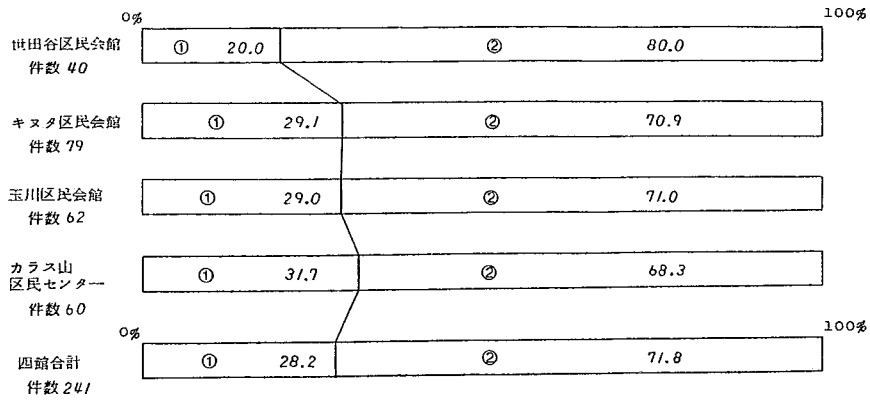
図3-58 専用稽古場の広さ

当該公衆の為には、約2〜3割の団体が稽古場を借用している。(図3-59) その広さは、学校の教室程度のものが最も多いが、世田谷区民会館や烏山区民センターを利用する団体の場合は、舞台とほぼ同条件の広さの稽古場を借用する例が2割強見られる。(図3-60)

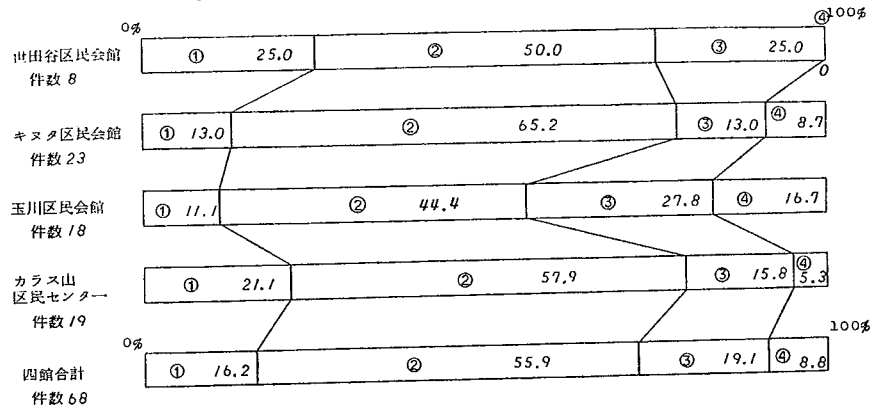
この場合、世田谷区民会館のように施設の大きな館を利用するほど稽古場の確保も困難になる傾向がうかがえる。(図3-61)

利用料金や騒音問題、そして利用時間の制限も稽古場借用時の大きな問題として考えられる。(図3-62)



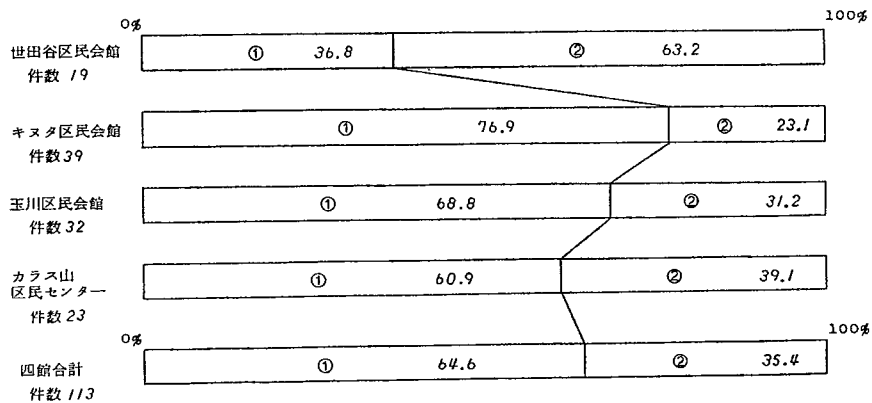


① ハイ ② イイエ  
図3-59 当該公演のために稽古場を借用したか

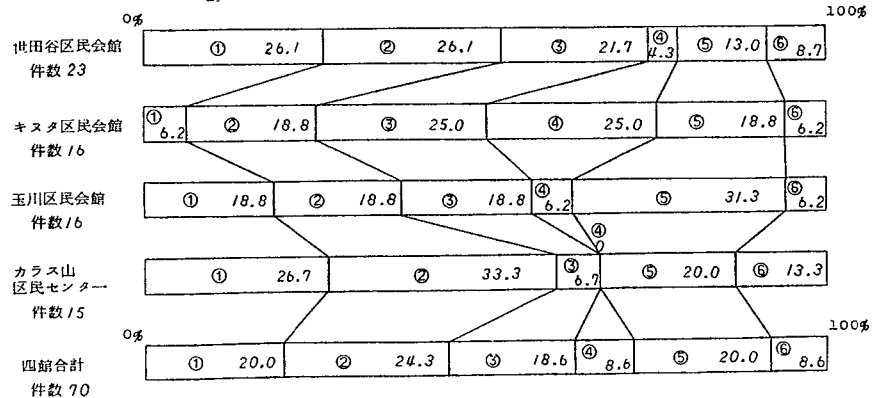


- ① 舞台とほぼ同条件の広さを有するもの ② 学校の教室程度の広さ  
③ 住宅の広間程度 ④ その他

図3-60 借用した稽古場の広さ



① ハイ ② イイエ  
図3-61 稽古場借用の難易度



- ① 利用料金に適切なものがなかった ② 適切な広さの稽古場が見つからなかった  
③ 騒音を出しても周辺に迷惑のかからない稽古場が見つからなかった ④ 交通の便が良いが見つからなかった  
⑤ 利用時間の適切なものがなかった ⑥ その他

図3-62 稽古場借用が困難だった理由  
354

稽古は、主として昼から夜にかけて行われる。(図3-63)

稽古の頻度は週1回程度のものから毎日行っているものまで、大きな巾があるのが特徴である。また、週1回より少ないものはほとんどなく、少なくとも週単位で定期的に稽古をしているといえよう。世田谷区民会館の場合は、他の三館に比べて、全体的に稽古日の密度が高いことが注目される。やはり、これは世田谷区民会館における公演の内容が他の三館に比べて複雑なことが影響していると思われる。(図3-64)

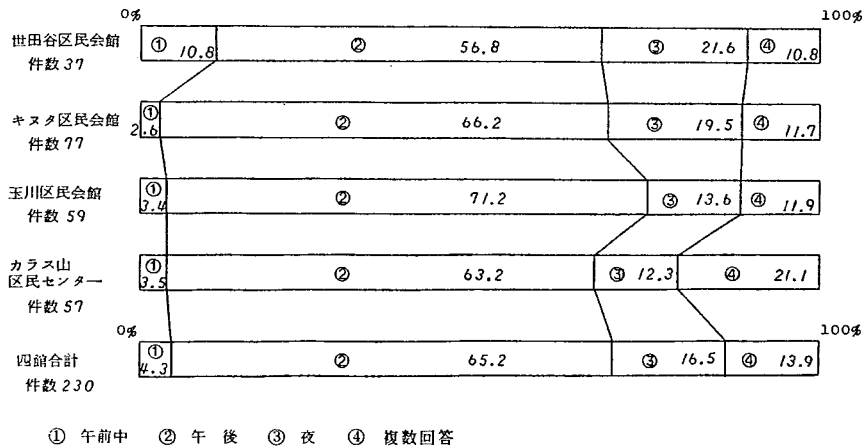


図3-63 稽古を行う時間帯

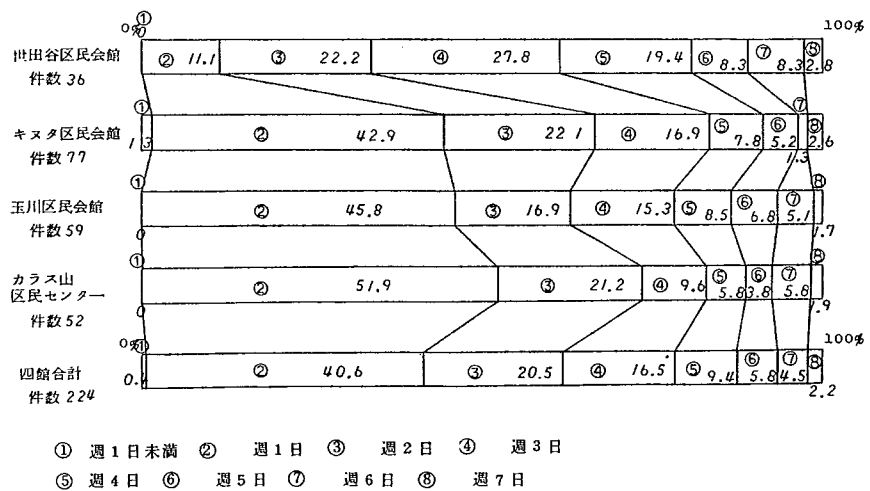
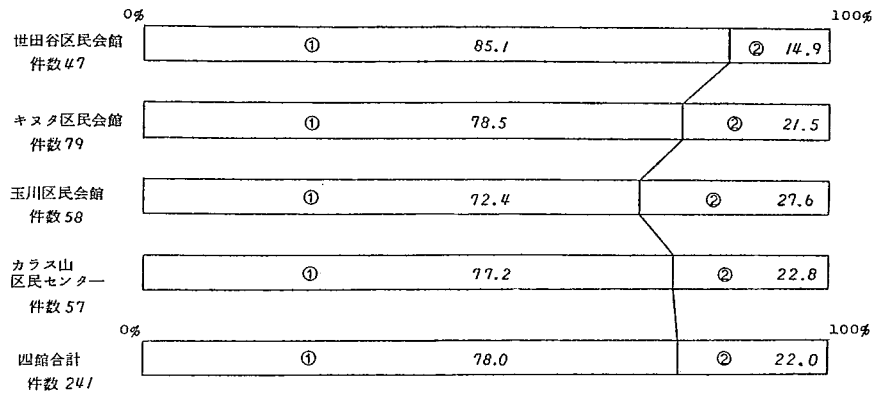


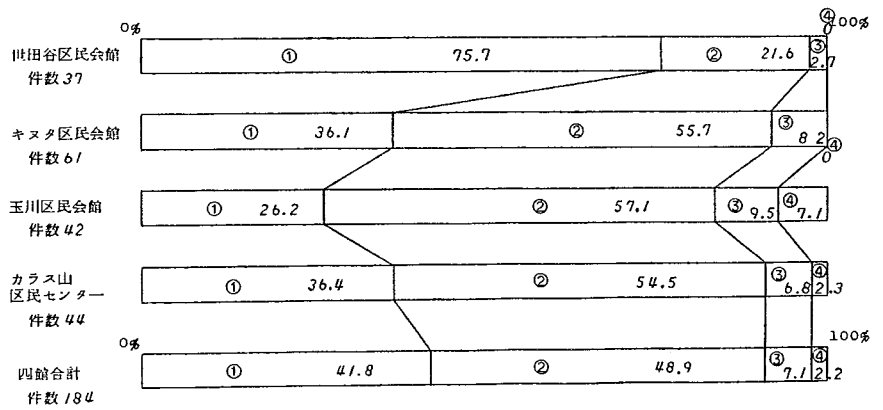
図3-64 稽古の頻度

今回のアンケートに応じた団体のうちで、公共施設に稽古場ができることと便利だと考えている団体は、各館とも全体の8割を占め、公共施設に稽古場ができることへの期待が大きいことを示している。希望する稽古場の大きさとしては、世田谷区民会館の場合は、舞台と同等の広さを有するものが大半を占めるのに対して、他の三館では、学校の教室程度の広さを有する稽古場の希望が高い。(図3-65) (図3-66)



① はい ② いいえ

図3-65 公共施設の中に稽古場が「できると便利だ」と思うか



① 舞台と同等の広さを有するもの ② 学校の教室程度の広さ  
③ 住宅の広間程度の広さ ④ その他

図3-66 公共施設に希望する稽古場の広さ

## 2)-f) 大道具・衣裳及びスタッフのあり方

舞台上演は、多くの裏方によって支えられている。今回の調査ではこうした裏方の作業状況から上演内容の特性を明らかにしようと試みた。

上演内容の複雑度を知るには、公演に大道具を使用したか否かがひとつの目安となる。大道具を使用する場合には、使用しない場合に比べて、舞台転換、照明効果等により高度な技術を必要とするからである。アンケート結果を見ると世田谷区民会館における大道具の使用率が他の館に比べて倍近く高く、ここでの公演の内容が他の三館に比べて複雑なものが多いことを裏付けている。(図3-67)

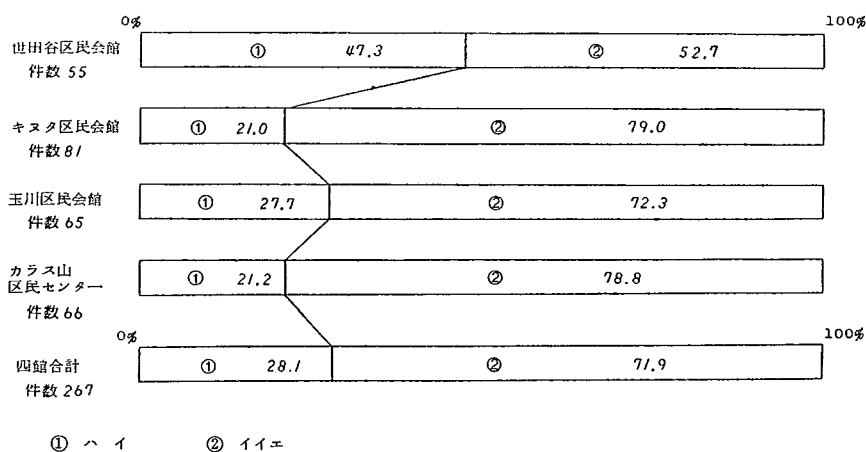


図3-67 当該公演で大道具を使用したか

舞台上で使用する大道具は大半がメンバーの手で作られている。ただし、世田谷区民会館及び烏山区民センターでは、舞台装置製作業者に発注している割合も高い。これは、この2館での大道具が

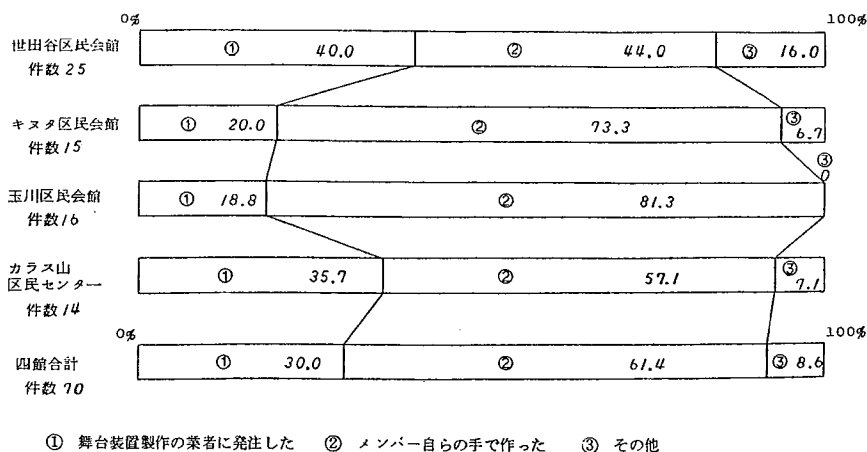
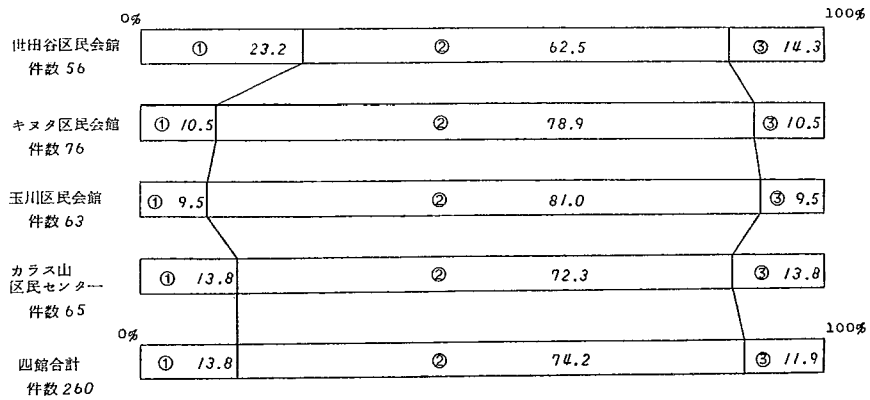


図3-68 大道具製作の方法

を複雑な傾向にあるためと推測されるが、これは、この2館が、他の館より、施設設備的に複雑であることと対応している。(図3-68)

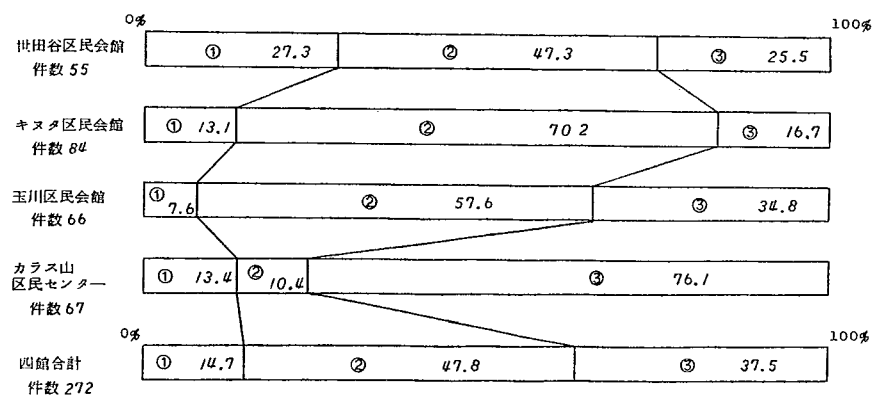
公演当日の作業スタッフは大半がメンバー自らが行っているが、約1割程度は専門の業者に依頼している。この割合は、特に世田谷区民会館で高い。(図3-69)



① 専門の業者に依頼した ② メンバー自ら行った ③ ホールの職員が行った

図3-69 公演当日の作業スタッフはどうしたか。

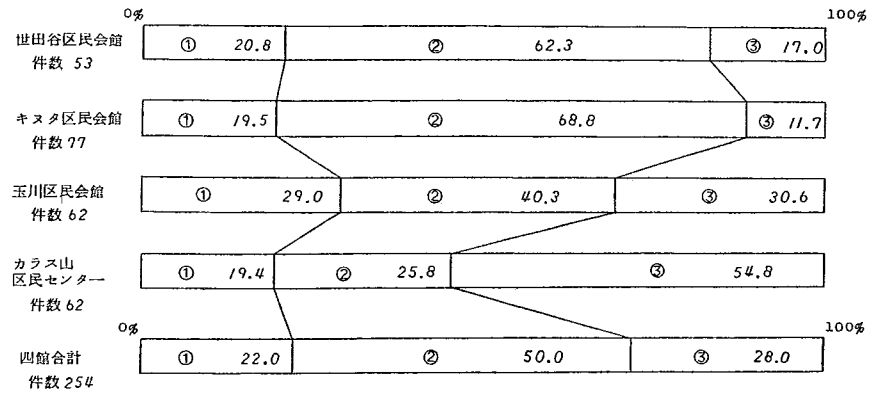
照明の作業スタッフ及び電気音響の作業スタッフは世田谷区民会館、砧区民会館、玉川区民会館においては、メンバー自ら行うケースが大半を占めるが、烏山区民センターのみ、ホールの職員が行うケースが多い。これは、烏山区民センターが新設館で、利用者が、その設備に慣れない為と推測される。(図3-70、図3-71)



① 専門の業者に依頼した ② 自ら団体のメンバーによって行った ③ ホールの職員が行った

図3-70 照明の作業スタッフはどうしたか。

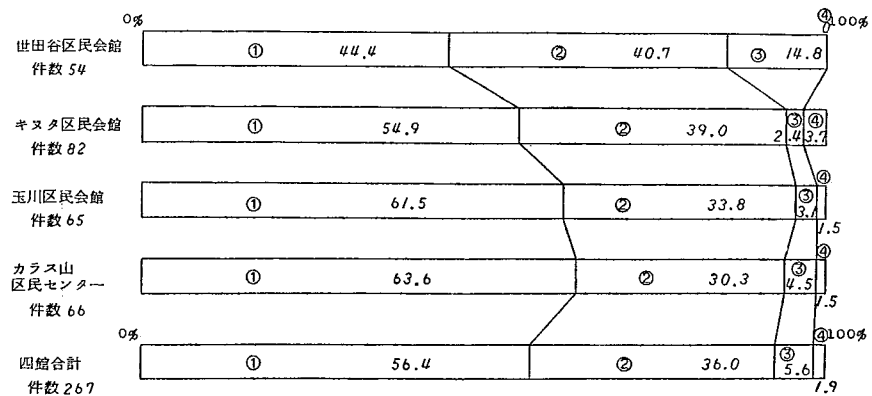
また、世田谷区民会館、烏山区民センターでは、照明作業を業者に委託している割合が高いが、これもやはり、設備の複雑度と対応していると考えてよいであろう。



① 専門の業者に依頼した ② 自ら団体のメンバーによって行った ③ ホールの職員が行った

図3-71 電気音響作業スタッフはどうか

舞台進行については、全体の約5割～6割程度の団体が専門の職にたよっている。残りの3割程度が専門の職(舞台監督)に進行をまかせている。舞台監督の有無が舞台進行の複雑さのバロメーターになるとすれば、この結果は、各会館の上演内容には、その複雑さにおいて、かなりのゆがみがあることが推測される。(図3-72)



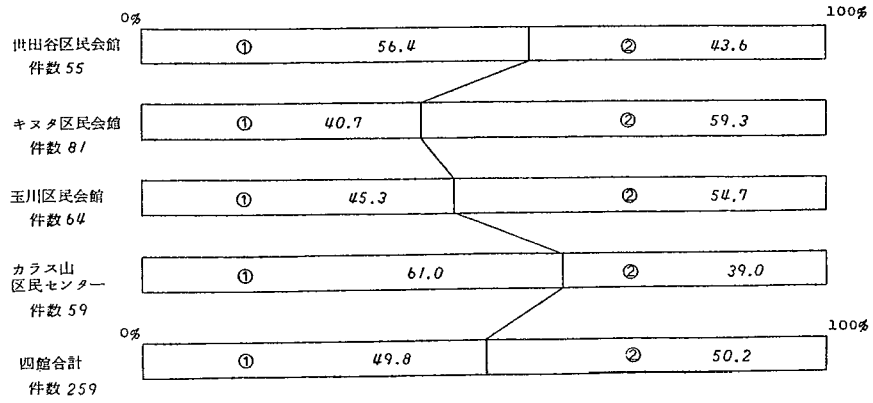
① それほど複雑な内容でないので特に専門の職は必要なかった ② 自ら団体のメンバーの専門の職が行った  
③ 舞台監督及びスタッフは専門の業者に依頼した ④ その他

図3-72 舞台進行の作業スタッフはどうか

舞台衣裳に関しては、世田谷区民会館及び烏山区民センターにおける公演での利用頻度が他の二館よりもやや高い。衣裳の制作については、世田谷区民会館では、他館に比して専門の業者に委託する例が多く見られる。(図3-73, 図3-74)

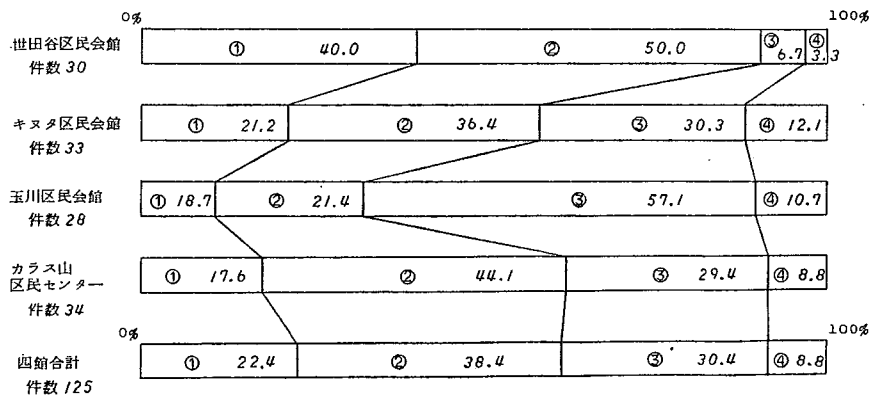
スタッフのあり方に関する限り、総括的に見て、世田谷区民会館における公演内容が、他の館のものに比べて技術的に高度で、上演組織も大がかりであることが示す結果となっている。烏山区民センター

にもややこうした傾向が見うけられる。



① ハイ ② イエ

図3-73 公演当日特別な舞台衣裳は使用したか

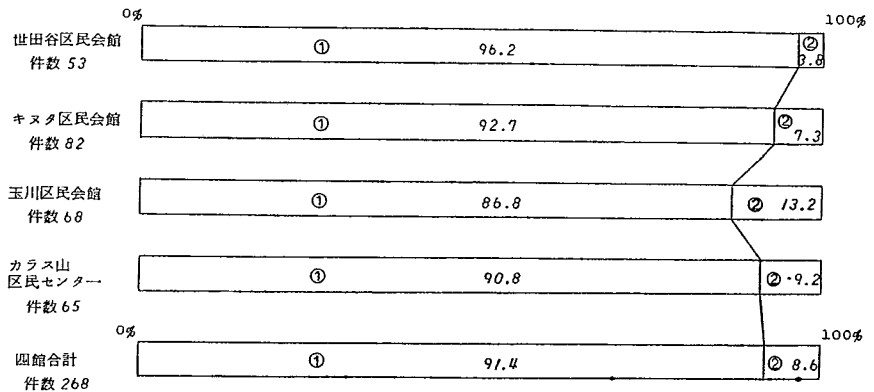


① 専門の業者に依頼した ② 自ら団体のメンバーが制作した  
③ 一人ひとり、思いのままの衣裳を持ち寄った ④ その他

図3-74 舞台衣裳を使用した場合の製作方法

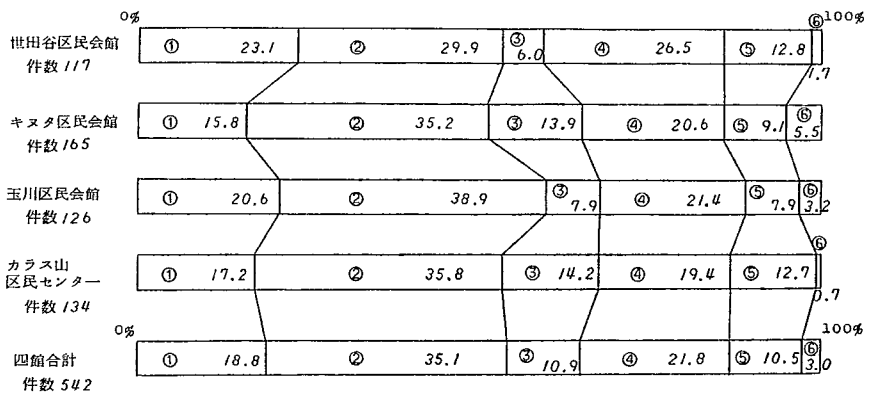
2)~g) 舞台芸術振興に対する区への期待

四会館とも、今回の調査の回答に応じた団体のほとんどが、世田谷区が文化事業として舞台芸術の振興をはかることが必要であると考えている。(図3-75)



① はい ② いいえ

図3-75 区が文化事業として舞台芸術の振興をはかることは必要と考えるか



- ① 世田谷区の主催する公演(自主公演)を企画する
- ② 管理面・施設面でホールをより使い易くする
- ③ 舞台芸術について何でも相談できるような資料収集・情報提供活動を行う
- ④ オーケストラやバレエ、演劇等の練習のできる練習場施設を設ける
- ⑤ 舞台芸術に対する何らかの金銭的補助を行う
- ⑥ その他

図3-76 区が文化事業として舞台芸術の振興をはかることが必要だと考える内容

その内容を図3-76を見ると、管理面・運用面でホールをより使い易くするという希望が最も高く、現在の施設には、また改善すべき点が多く含まれていることが示唆されている。その他、オーケストラやバレエ、演劇等の練習できる稽古場施設を設ける、区主催する公演の企画、舞台芸術に対する金銭的補助、舞台芸術について何でも相談できるような資料の収集、情報提供活動への要求なども高い。こうした要求に答えるため、長期的な展望をもった総合計画をたてこゆく必要がある。



3) 上演種目及び団体の種類と利用形態。

3-a) 上演種目と団体の種類

今回の調査で、四会館とも実に多様な演目を利用してゐることが確認された。またそれぞれの演目についても、種々の性格の異なる団体によって利用されてゐることも確認できた。これらの分布状況を表3-19に示す。本項ではこれらの演目のうち、比較的上演頻度が高く、統計的にも意味のある8つの演目、及び6つの団体種別における施設利用の形態及び施設に対する要求の差異を考察した。

(単位) 上段は件数 下段は演目別百分率	バレエ等 の教室 ・日本舞踊 ・	団地 住民 による 趣味	学幼 校の 教室 ・小学 校・ラ フ中	高 等学 校・大 学の サ ー ク ル	一 般 同 好 団 体	専 門 家	合 計
演劇・ミュージカル・オペラ等	3. 1 3. 1	0. 0 0. 0	3. 3 9. 4	5. 5 15. 6	4. 4 12. 5	1. 1 59. 4	3. 2 9. 9
バレエ・現代舞踊	15 78. 9	0. 0 0. 0	1. 1 5. 3	1. 1 5. 3	0. 0 0. 0	2. 2 10. 5	1. 9 5. 9
人形劇	0. 0 0. 0	0. 0 0. 0	2. 2 33. 3	0. 0 0. 0	0. 0 0. 0	4. 4 66. 7	6. 6 1. 9
民謡・おどり・日本舞踊等	10 40. 0	9. 9 36. 0	0. 0 0. 0	1. 1 4. 0	4. 4 16. 0	1. 1 4. 0	2. 5 7. 7
落語・寄席・詩吟・奇術等	1. 1 14. 3	2. 2 28. 6	0. 0 0. 0	4. 4 57. 1	0. 0 0. 0	0. 0 0. 0	7. 7 2. 2
ポピュラー音楽コンサート	2 4. 5	3 6. 8	0. 0 0. 0	27 61. 4	8 16. 2	4 9. 1	4. 4 13. 6
クラシック音楽コンサート	3 6. 4	2 4. 3	1. 1 2. 1	15 31. 9	5 10. 6	21 44. 7	4. 7 14. 5
合唱・独唱	1 3. 4	2 6. 9	3 10. 3	13 44. 8	8 27. 6	2 6. 9	2. 9 9. 0
ピアノ・バイオリン等おけいこ 教室発表会	94 98. 9	0. 0 0. 0	0. 0 0. 0	1. 1 1. 1	0. 0 0. 0	0. 0 0. 0	9. 5 29. 3
邦楽コンサート及び発表会	3 60. 0	0. 0 0. 0	0. 0 0. 0	2 40. 0	0. 0 0. 0	0. 0 0. 0	5. 5 1. 5
学校や地域の文化祭	0 0. 0	0 0. 0	4 34. 6	4 34. 6	0 0. 0	3 27. 3	1. 1 3. 4
録音・録画	0 0. 0	0 0. 0	0 0. 0	0 0. 0	0 0. 0	4 100. 0	4 1. 2
合計	130 40. 1	18 5. 6	14 4. 3	73 22. 5	29 9. 0	60 18. 5	324 100. 0

表3-19 上演種目と団体の種類の分布(四会館合計)

### 3) - b) 演劇・ミュージカル・オペラ等

表3-20~3-23参照  
(P372~P375)

今回の調査期間中にはオペラの上演は行われず、実質的には演劇が主体であり、自ずから調査の結果も演劇的な性格によるものとなっている。区会館で行われた活動は専門家によるものが全体の6割を占め、しろうとによる活動よりも頻度が高いのが特徴である。活動範囲をみると、世田谷区内を中心とするローカルな活動の率が高い一方、全国的な活動をする団体の多りのも特徴である。参加メンバーについては50人以下のものが大半を占めている。当該ホールばかりでなく、他のホールも積極的に使用する傾向が強くなり必要に応じてホールを使い分けしている。客席数については烏山区民センター、玉川区民会館、砧区民会館(500席以下)では少ないという不満が多く世田谷区民会館(1294席)では大きすぎるという不満が多い。乗員については5割から6割が狭さを訴えている。ホールの建築音響については、特に世田谷区民会館での不満が9割を越えて高いが、これは、客席数が大きすぎ、肉声が後方まで届かないのが大きな理由と思われる。舞台の広さについては予想に反してそれほど不満は高くはない。これは、演劇の上演形態は、施設に対する大きな融通性を持っており、ホールの状況に合わせた演目や上演方式をあらかじめ選んでいるからと推測される。つりものに対する不満はバリエーションではないが、45%程度の利用者が不備と考えている。照明設備の不満は、つりものに対する不満ほどではないがやや高い。音響設備に対する不満は、かなり高く、半数以上の利用者が不満をもちている。最も設備的に勝れた世田谷区民会館でも半数以上の利用者の不満のあることに注目した。

公演時間については全体の6割が2時間以内に終了し、長くても4時間以内にはほぼ全てが終了している。そして公演時間に対する満足度も8割と高い。本番前のリハーサルには3時間以上もかけている団体が全体の3割強もあり、かつ6割強の団体がその必要性を認めており、その用途は主体として部分的な稽古や発声練習などの複合したものである。希望するリハーサル室の広さとしては舞台と同等

の広さを要求する団体が最も多い。舞台の仕込みについては7割強が舞台稽古とは別に時間帯を設けており、かつ5割の団体が3時間以上かけている。このことは、かなり複雑な仕込みが行われていることを示していると考えられる。後片づけは全体の2/3の団体が30分~60分で行っているが、60分以上かけた団体も納る割弱みられる。さらに後片づけの時間の短かさについての不満は5割と高い。大道具、衣裳及びスタッフについては大道具の使用率が7割弱と高いこと、衣裳の使用率が8割と高いことなど技術的に複雑な公演形態をとるものの、照明、舞台作業スタッフ、舞台監督などは6割強の団体が自らの組織のメンバーで行っているのが特徴である。

### 3)-0) バレエ・現代舞踊

世田谷区の四区民会館で行われるバレエ公演は、ほとんどが民間のバレエ教室の発表会であるのが特徴である。従って活動範囲も、世田谷区及び関東地区内というローカルな活動が中心である。参加メンバーは50人以下が圧倒的に多い。利用は、ホールを使い分けるというよりはむしろ、ある特定のホールを専ら利用するという定着度の高い傾向が強く見られる。しかしながら、当該会館を利用する特別な意義はあまり考えていないようである。客席数については烏山区民センター、玉川区民会館、砧区民会館は少ないという不満が多く、世田谷区民会館では大きすぎるという不満が多い。乗屋については例外なく四館ともに全ての団体が狭いと不満を表明している。舞台の広さについても各ジャンルの中でいちばん不満が高く、四館合計で57.9%にものぼっている。最も舞台の広い世田谷区民会館でも4割が不満を示している。これは、演目の性格と舞台上での運動がはげしく、広さについては演劇ほどの融通性のないのも一因と考えられる。ホールの建築音響については演劇ほどの不満はもっていないが、世田谷区民会館では不満の割合が1/3とやや高い。つりもの設備、照明設備、電気音響設備についても、他の種目と比べてとびぬけて高い不満を示す。この傾向は、四館の中で最も設備が充実してい

るはずの世田谷区民会館で最も顕しく、予約割の使用者が不満を訴えている。全体的にみて、四館とも、舞台の広さや乗置容量、設備の充実度からみて、バレエの発表会の要求を満足してはいないと言いうことができよう。また、最も施設規模が大きく最も設備が充実しているにもかかわらず、最も不満が高いということは、施設の設備は、その絶対量ではなく、施設規模や用途とのバランスが最も重要であることを示唆している。

公演時間は2時間から4時間と答えた団体が最も多く、やや長い傾向を持つ。本番前のリハーサル時間は全てのジャンルの中ごとびぬけて長く、3時間以上の稽古を行っている団体が全体の3/4もある。その上、本番前のリハーサル時間の不足を3/4の団体が訴えており、バレエ、現代舞踊には、本番前のリハーサル時間が長く、かつ重要であることがわかる。その内容は主としてトレーニング及び部分的な稽古が主体である。6割強の団体がリハーサル室の必要性を主張し、その希望する広さは、舞台の広さ、若しくは、学校の教室程度の広さである。舞台の仕込みについては演劇と同様、6割強が舞台稽古とは別に行い、その多くが1〜3時間又はそれ以上の仕込み時間をとっているが、これは仕込みが相当複雑であることを示している。後片づけは全体の約1/4が30分〜60分で残りの1/4が60分以上かけて終了している。後片づけの時間の不満は5割と高い。スタッフについては、舞台監督、舞台作業スタッフ、照明スタッフ、電気音響スタッフいずれも、専門の業者に依存する率が高いのが特徴で、演劇の場合と好対照をなす。

### 3) -d) 民謡・おどり・日本舞踊等

各館とも全体の使用の使用団体の割合としては少ないが、独特な使い方がなされている。その活動の大半は、おけいこ教室及び地域住民の趣味団体が地域的な密着性が高い。公演の参加メンバーには大きな巾があり、250人以上の大規模なものも割近くもあるのが特徴である。団体活動における当該ホールの利用の比重が高く、当

該ホールでの上演の意義を認める団体が多いこととみても、生活活動の一環としての地域性が強いことがうかがえる。客席については各館ともに不満が少なく、団体規模に見合った活動場所を選択しているようである。出演者が多いので、当然のことながら乗屋規模への不満は高い。舞台の広さや建築音響への不満はそれほど高くない。舞台設備に対する不満は概して高くないが、ただし、世田谷区民会館の舞台照明に対しては特異的に不満が高いことに注目したい。

公演時間については、他のジャンルと比較して特異的に長時間のものが多く、これは出演者が多く、一番一つ替わるかわりに踊ったり歌ったりする公演方式をとるからと考えられる。それにひきかえ、本番前のリハはあまり行わない。リハ時間に対する満足度も高いのを見ると、本番前のリハの比重はそれほど高くないといえよう。ただし、公演前のリハールームは必要としており、その内容は演し物の稽古が主体である。広さは舞台の広さを持つ大きなものを希望している。仕込みについては、演劇やバレエなどと比較すると簡単で、大半が3時間以内に納まっているが舞台稽古と仕込みはやはりはっきり区別している。スタッフについては、メンバー自ら、あるいはホールの職員が行ったと答えた団体が多い。これは、その作業が比較的単純な場合が多いことを示していると考えられる。

### 3) e) ホビュラー音楽コンサート

全体の9割を越える団体がしるうとの活動である。公演に参加したメンバーも50人以下がほとんど、小さな集団によるものが中心である。公立の施設を利用する割合は高いが、当該ホールにおける上演の意味を認識している団体は少なく、適当にホールを使い分けているのが特徴である。客席規模については各館ともに不満は見られるが、いずれにおいても大きい不満と小さい不満がほぼバランスを保っており、館の規模に応じてある程度適切な状態で利用されていると考えられる。乗屋規模については5割～6割が狭さを訴えている。舞台の広さについては満足している団体が多いものの、最も

広い舞台を持つ世田谷区民会館が最も不満が高い特徴がある。これは、催し物の規模が大きくなるほど施設に対する要求がきびしくなるからと考えられる。ホールの建築音響は他のジャンルに比べて不満の率が高い。設備については、何をあっても、電気音響設備への不満が、全館を通して高いのが特徴である。

公演時間は2~4館が最も多くやや長い傾向がある。公演時間の不足に対する不満は他のジャンルに比べて高い。本番前のリハーサルは3時間以上もかかっているものが45%もあり、かつリハーサル時間の不足を訴えている。この点については同じ音楽系のクラシック音楽コンサートよりもどちらかというところむしろ演劇やバレエに近い性格をもっている。スタッフについては主としてメンバー自ら行っているが、電気音響スタッフについては専門の業者に依頼しているものが多い。ホピュラ-音楽コンサートにおける電気音響重視の傾向がうかがえる。

### 3)-f) クラシック音楽コンサート

演劇とならんで専門家による公演の割合が高い。従って活動も世田谷区内に限らず、より広い地域にわたる場合が多い。公演に参加したメンバーは50人以下のものがほとんどであるが、50人を越える場合も少なからず見受けられる。主として公共ホールを中心に活動しているが、施設を適宜使いわけている。世田谷区内での他のホールを利用した経験も、他のジャンルに比べて高く移動性の高い活動をしているといえよう。ホールの客席規模についてはホピュラ-音楽と同様それぞれの館の規模に応じた利用のされ方をしているが、細かく観察すると、世田谷区民会館においてはより大規模な施設へ、他の3館ではより小さな施設への要求がやや目立っている。乗屋については6割以上の利用者が不満を持っている。舞台の広さについては、規模が他の館より大きい世田谷区民会館での不満が大きいのは、ここで行われる演奏の規模がフルオーケストラのように大規模なものが多いためである。ホールの建築音響については、他の音楽

系のジャンルや演奏と並んで概して不満が高いが、世田谷区民会館に限ればそれほど悪くない。設備については、ポップラー音楽コンサートと同様、音響設備への不満が非常に高い。

公演時間については、他のジャンルに比べて短かく、2時間以内に終了するものが多い。リハーサル時間は1〜3時間程度である。他のジャンルに比べて公演及びリハーサルがゆったりしており不満は少ないのが特徴である。リハーサル室の用途はほとんど楽器の調整である。広さは学校の教室程度という希望が多い。仕込みは舞台稽古と平行して行い、仕込みにかかる時間も1時間以内に終るものがほとんどを占める。これは作業内容が他のジャンルに比して簡素であるからと考えられる。従って後片づけも30分以内に終了するものが多い。舞台作業もそれほど複雑なことを必要としないせいか、メンバー自ら、又はホールの職員が行う場合が多く、専門の業者に依頼する例はほとんどない。

### 3)-9) 合唱・独唱

ほとんどが30以上の団体による活動である。活動については関東地区以内を中心とするものが多い。公演に参加したメンバーは、50人以下の小規模な場合と、250人以上の大規模な場合のふたつのタイプが区別される。ホールの客席規模についての満足度は、クラシック音楽コンサートに見られたような、大きな公演ではより大きな施設を、小規模な公演ではより小さな施設を望む傾向がよりはっきりした形で現われている。楽屋については半数以上の団体が狭さを訴え、特に世田谷区民会館における不満が高い。舞台の広さや建築音響についても5割強の利用者が不満を示している。舞台設備についての不満はそれほど高くはないが、(いって言えば)、音響設備についての不満がやや高い。

公演時間については、クラシック音楽コンサートよりやや長い傾向にあるが、4時間以内には大半が公演を終了している。公演前のリハーサルについてはポップラー音楽コンサートと同様な傾向を示し、3時

間以上もかける団体が4割強もあり、長いのが特徴である。しかし、しかし、ホップユラー音楽コンサートとは反対にリハーサル時間の満足度は高い。これはホップユラー音楽コンサートに比べ仕込みの量が少ないため、稽古に十分な時間が費せるからと考えられる。公演前のリハーサル室を希望する団体は回答者の77%と高く、その用途は発声練習・楽器の調整で、希望する室の広さは教室程度のものが最も多い。仕込み、後片づけはクラシック音楽コンサートに似て、簡素なものが多く、かかる時間は少ない。スタッフ関係についてもクラシック音楽コンサートに類似し、メンバー自ら、またはホールの職員によるものが大半で、舞台裏での複雑な作業はほとんど必要とされていないといえよう。

### 3) -h) (ポプ)・バイオリン等おけいこ教室発表会

これは音楽教室の発表会で、その性格上、全てしろうとの上演である。活動範囲は世田谷区内が47.6%と高く地域性の強い活動を行っている。公演に参加したメンバーは50名以下のものが多く、同じ趣味教室としての性格をもち、大人数を擁する民謡・おどり、日本舞踊の場合とは対象的である。発表には特定のホールを選んで使用している。客席数については砧区民会館、玉川区民会館、烏山区民センターですら大きすぎるといふ不満が50%を占め、より小さなホールを求めるといふ傾向がはきり読みとれる。世田谷区民会館は規模があまりに大きいせいも、特殊な例をのぞいてほとんど利用されていない。楽屋、舞台の広さ、建築音響、舞台設備についてはあまり厳しい要求はもっていないようである。

公演に要した時間は2~4時間程度のものが多く、かつ4時間以上かけた団体も2割程度みられ、出演者の少ない割には長めの公演時間が特徴である。公演前のリハーサルには1~3時間かける団体が最も多いが、これはクラシック音楽コンサートの1/4と類似している。リハーサル時間についての不満は低い。公演前のリハーサル室の必要性についての要求は他のジャンルに比べて低いが、それ



でも5割強が必要と答えている。希望する広さは住宅の広間程度と答えたものが最も多く、他のジャンルに比べて小さな空間の希望が強い。仕込み、後片づけについては全てのジャンルの中で最も簡単で、単時間で済ませている。舞台の諸作業も簡単でメンバー自ら、又はホールの職員に行ってもらったと答えた割合が高い。

### 3)-i) 学校や地域の文化祭

最も地域とのつながりが強い。参加者は250人以上のものが多いのが大半を占めている。もちろん、この場合は、出演者というよりは、舞台、客席一体となった活動をしているのが特徴である。

ある特定のホールへの定着度が高いのは地域性の強い活動によるものである。客席規模は世田谷区民会館のような大規模なものが好まれるようである。舞台の広さや乗屋規模への不満は、参加者の多い割には強くない。舞台設備については、つりもの不満がやや高いものの全体としての不満率は低い。

公演時間については民謡・おどろり・日本舞踊について長く4時間を越えるものが半数を占める。公演前のリハーサル時間はほとんど1時間以内と短かいが、リハーサル時間の長さに対する不満の高いのを見ると、リハーサルはそれほど円滑には行われていないと想像される。公演前のリハーサル室の要望は非常に高く、ほとんどが学校の教室程度の広さを望んでいる。仕込み時間は比較的少なく、1時間以内のものが半数を占める。後片づけについてはクラシック音楽コンサートよりは長くかかっているが、演劇、バレエ、オペラ・音楽コンサートほどではない。スタッフについてはほとんどメンバー自らが行っているのが特徴である。

### 3)-j) 団体の種別による相違

活動の地域性の強いのは(ア)・日本舞踊・バレエ等の教室、地域住民による趣味団体、幼稚園・小学校・中学校のクラブや教室で、反対に高等学校・大学のサークル、一般同好会は地域性が薄い。そして比較的、地域性の強い団体が、その活動における当該ホールの重みを大きく、かつ当該ホールでの上演の意義を強く感じている。ただし、専門家については、活動の地域性は小さいものの、当該ホールでの上演の意義を強く意識しているのが特徴である。

設備については、一般的に、しろうとよりも専門家のほうが不満を訴える傾向が強い。この意味では、高校・大学のサークルや一般同好団体の要求は専門家に近い高い要求を持っている。

公演時間については概ね専門家のほうが、しろうとより短かい傾向にある。リハーサル室の広さについては専門家のほうが「舞台の広さ」を主体とした広いリハーサル室を希望している。仕込み時間の満足度は専門家よりしろうとのほうが低い。これは専門家のほうが作業に馬鹿、あらかじめ十分な時間を見込んでいるためと思われる。しかし後片づけについては専門家の不満が高いが、これは閉館時間が定められているため、融通のある運用ができないからと思われる。

単位は演目別、団体別ごとの百分率	専門家としらうとの比率		活動範囲			公演に参加したメンバー数			他の世田谷区内ホールの利用経験の有無	
	専門家	しらうと	世田谷区	関東地区	全国	50人以下	50人～250人	250人以上	数回以上	1～2回以下
演劇・ミュージカル・オペラ等	59.4	40.6	45.2	35.5	19.4	71.0	16.2	12.9	43.8	56.2
バレエ・現代舞踊	10.3	89.7	42.1	52.7	5.3	82.3	17.6	0	5.3	94.7
民謡・おどり・日本舞踊等	4.0	96.0	44.0	52.0	4.0	32.0	52.0	16.0	20.0	80.0
ポピュラー音楽コンサート	9.1	90.9	12.2	87.8	0	88.1	11.9	0	18.2	81.8
クラシック音楽コンサート	44.7	55.3	22.2	63.9	13.9	65.8	26.3	7.9	43.5	56.5
合唱・独唱	6.9	93.1	29.6	70.4	0	60.0	8.0	32.0	20.6	79.3
ピアノ・バイオリン等おけいこ教室発表会	0	100	47.6	50.0	2.4	83.5	15.1	1.2	5.4	94.6
学校や地域の文化祭	18.5	81.5	81.8	18.2	0	9.1	18.2	72.7	26.3	72.7
ピアノ・日本舞踊・バレエ等の教室	しらうと		44.9	53.4	1.7	77.8	20.5	1.8	7.8	92.2
地域住民による趣味団体			52.9	47.1	0	35.3	35.3	29.4	33.3	66.7
幼稚園・小学校・中学校の教室やクラブ			100	0	0	23.1	7.7	69.2	21.4	78.6
高等学校・大学のサークル			13.9	84.7	1.4	65.8	23.2	10.9	13.7	86.3
一般同好団体			19.2	80.7	0	77.7	22.2	0	24.1	75.9
専門家	専門家		37.5	31.3	31.3	79.2	8.4	12.4	56.0	44.0

単位は演目別、団体別ごとの百分率	公立ホールと民営ホールの利用の比率		活動における当該ホールの利用の重み		当該ホールでの上演の意義の有無		世田谷区民会館の客席数に対する満足度		他の三館の客席数に対する満足度	
	公立ホールが多い	民営ホールが多い	当ホールを専ら使う	他館と使い分ける	ある	ない	少なすぎる	大きすぎる	少なすぎる	大きすぎる
演劇・ミュージカル・オペラ等	75.0	14.3	24.1	62.1	56.7	43.3	16.7	33.4	31.6	5.3
バレエ・現代舞踊	83.4	5.6	61.1	27.8	37.5	62.5	0	20.0	25.0	0
民謡・おどり・日本舞踊等	96.0	4.0	79.2	20.8	76.2	33.8	0	0	5.0	5.0
ポピュラー音楽コンサート	80.9	4.8	40.9	56.8	27.3	72.7	20.0	20.0	15.4	20.5
クラシック音楽コンサート	80.0	13.4	23.9	69.6	42.2	57.8	21.4	14.3	15.4	20.5
合唱・独唱	75.8	10.3	32.1	60.7	35.7	64.3	37.0	12.5	4.8	23.8
ピアノ・バイオリン等おけいこ教室発表会	76.9	8.8	61.8	29.2	42.5	57.5	50.0	50.0	9.8	50.0
学校や地域の文化祭	100	0	63.6	27.3	54.5	45.5	14.3	14.3	50.0	25.0
ピアノ・日本舞踊・バレエ等の教室	80.0	8.0	63.6	27.3	45.0	55.0	8.3	25.0	10.4	41.7
地域住民による趣味団体	88.9	5.6	66.7	33.3	76.5	23.5	50.0	0	7.1	14.3
幼稚園・小学校・中学校の教室やクラブ	100	0	78.6	21.4	91.7	8.3	22.2	22.2	20.0	0
高等学校・大学のサークル	90.0	4.3	41.7	50.0	26.0	74.0	17.6	17.6	18.5	13.0
一般同好団体	62.9	11.1	26.9	65.4	11.1	88.9	0	66.7	3.8	26.9
専門家	69.2	17.2	13.8	81.0	60.3	39.7	20.8	16.7	28.1	12.5

単位は演目別、団体別ごとの百分率	楽屋の満足度				舞台の広さの満足度				ホールの建築音響の満足度			
	四館全体		世田谷区民会館		四館全体		世田谷区民会館		四館全体		世田谷区民会館	
	狭い	満足	狭い	満足	狭い	満足	狭い	満足	不満	満足	不満	満足
演劇・ミュージカル・オペラ等	51.6	48.1	58.4	41.6	20.0	80.0	9.1	90.9	54.9	45.1	91.7	8.3
バレエ・現代舞踊	100	0	100	0	57.9	42.1	40.0	60.0	23.6	76.4	33.3	66.7
民謡・おどり・日本舞踊等	73.9	26.1	66.7	33.3	26.1	73.9	0	100	21.7	78.3	0	100
ポピュラー音楽コンサート	54.5	45.5	60.0	40.0	27.3	72.7	40.0	60.0	54.5	45.5	40.0	60.0
クラシック音楽コンサート	61.0	39.0	73.3	26.7	31.6	68.2	53.3	46.7	56.8	43.2	31.3	68.7
合唱・独唱	57.7	42.3	75.0	25.0	24.1	75.9	37.5	62.5	53.8	46.2	37.0	63.0
ピアノ・バイオリン等おけいこ教室発表会	23.0	77.0	0	100	4.2	95.8	0	100	37.0	63.0	0	100
学校や地域の文化祭	50.0	50.0	33.3	66.7	18.2	81.8	28.6	71.4	45.5	54.5	28.6	71.4
ピアノ・日本舞踊・バレエ等の教室	39.5	60.5	83.3	16.7	11.7	88.3	25.0	75.0	32.5	67.5	27.3	72.7
地域住民による趣味団体	66.6	33.4	100	0	20.0	80.0	0	100	33.4	66.6	50.0	50.0
幼稚園・小学校・中学校の教室やクラブ	46.2	53.8	37.5	62.5	21.4	78.6	22.2	77.8	50.0	50.0	55.5	44.5
高等学校・大学のサークル	60.0	40.0	72.2	27.8	33.4	66.6	50.0	50.0	49.7	50.3	44.5	55.5
一般同好団体	64.2	35.7	33.3	66.7	27.8	72.2	0	100	55.1	44.9	66.7	33.3
専門家	53.6	46.4	56.0	44.0	24.6	75.4	33.4	66.6	53.5	46.5	40.0	60.0

単位は演目別、団体別ごとの百分率	つりもの設備の満足度				照明設備の満足度				音響設備の満足度			
	四館全体		世田谷区民会館		四館全体		世田谷区民会館		四館全体		世田谷区民会館	
	不備	満足	不備	満足	不備	満足	不備	満足	不備	満足	不備	満足
演劇・ミュージカル・オペラ等	43.3	56.7	45.5	54.5	30.0	70.0	27.3	72.7	53.3	46.7	54.5	45.5
バレエ・現代舞踊	62.6	37.4	77.8	22.2	64.7	35.3	77.8	22.2	41.1	58.9	66.7	33.3
民謡・おどり・日本舞踊等	13.0	87.0	33.3	66.7	34.8	65.2	66.7	33.3	17.4	82.6	0	100
ポピュラー音楽コンサート	27.9	72.1	20.0	80.0	50.0	50.0	20.0	80.0	58.2	41.8	60.0	40.0
クラシック音楽コンサート	30.2	69.8	37.6	62.4	28.9	71.1	25.0	75.0	46.5	53.5	57.1	42.9
合唱・独唱	26.9	73.1	12.5	87.5	24.0	76.0	0	100	37.0	63.0	25.0	75.0
ピアノ・バイオリン等おけいこ教室発表会	10.0	90.0	0	100	13.0	87.0	0	100	35.2	64.8	0	100
学校や地域の文化祭	27.3	72.7	28.6	71.4	9.1	90.9	0	100	18.2	81.8	14.3	85.7
ピアノ・日本舞踊・バレエ等の教室	16.5	83.5	60.0	40.0	22.3	77.7	54.5	45.5	32.0	68.0	45.5	54.5
地域住民による趣味団体	0	100	0	100	26.7	73.3	50.0	50.0	20.0	80.0	0	100
幼稚園・小学校・中学校の教室やクラブ	16.7	83.3	22.2	77.8	7.1	92.9	0	100	28.5	71.5	22.2	77.8
高等学校・大学のサークル	32.6	67.3	16.7	83.3	46.5	53.5	22.2	77.8	46.4	53.6	41.2	58.8
一般同好団体	22.2	77.8	33.3	66.7	24.1	75.9	33.3	66.7	46.4	53.6	66.7	33.3
専門家	41.9	58.1	47.8	52.2	33.4	66.6	29.2	70.8	57.4	42.6	57.1	42.9

単位は演目別、団体別ごとの百分率	公演に要した時間			公演時間の満足度		本番前のリハーサル時間内			リハーサル時間の満足度	
	2時間以内	2時間～4時間	4時間以上	足りない	満足	1時間以内	1時間～3時間	3時間以上	足りない	満足
演劇・ミュージカル・オペラ等	60.0	33.3	6.7	20.0	80.0	26.8	38.5	34.6	65.2	34.8
バレエ・現代舞踊	38.5	61.5	0	13.3	86.7	0	25.0	75.0	75.0	25.0
民謡・おどり・日本舞踊等	4.8	9.5	85.7	21.7	78.3	66.7	9.6	23.8	37.5	62.5
ポピュラー音楽コンサート	12.5	72.5	15.0	40.5	59.5	11.4	43.2	45.4	74.4	25.6
クラシック音楽コンサート	75.0	25.0	0	32.4	67.6	16.7	69.5	13.9	36.2	63.8
合唱・独唱	47.8	39.1	13.0	25.0	75.0	17.3	39.1	43.4	42.9	57.1
ピアノ・バイオリン等おけいこ教室発表会	18.8	60.0	21.4	25.1	74.9	37.0	51.9	11.1	58.9	41.1
学校や地域の文化祭	10.0	40.0	50.0	20.0	80.0	72.8	0	27.3	66.7	33.3
ピアノ・日本舞踊・バレエ等の教室	20.0	53.6	26.3	21.8	78.2	36.6	44.7	18.8	61.2	38.8
地域住民による趣味団体	12.5	18.8	68.8	23.5	76.5	57.1	28.6	14.3	25.0	75.0
幼稚園・小学校・中学校の教室やクラブ	54.5	27.3	18.2	25.0	75.0	72.8	9.1	18.2	42.9	57.1
高等学校・大学のサークル	30.3	59.1	10.5	22.7	77.3	7.7	41.6	50.7	69.8	30.2
一般同好団体	36.0	44.0	20.0	33.3	66.7	18.5	44.4	37.0	56.0	44.0
専門家	75.0	22.7	2.3	45.0	55.0	28.2	52.2	19.5	45.3	54.7

単位は演目別、団体別ごとの百分率	本番前のリハーサル室の必要性		本番前のリハーサル室の用途				希望するリハーサル室の広さ		
	ある	ない	トレーニング	発声練習 楽器調整	稽古	複数用途	舞台の広さ	学校の教室程度	住宅の広間程度
演劇・ミュージカル・オペラ等	64.3	35.7	0	5.9	23.6	70.6	52.9	29.4	11.8
バレエ・現代舞踊	62.5	37.5	50.0	0	50.0	0	40.0	60.0	0
民謡・おどり・日本舞踊等	66.7	33.3	0	30.8	61.6	7.7	46.2	30.8	23.1
ポピュラー音楽コンサート	75.0	25.0	3.1	53.3	21.9	21.9	12.9	54.8	29.0
クラシック音楽コンサート	47.8	52.8	0	64.3	28.5	7.1	17.6	58.8	23.5
合唱・独唱	77.3	22.7	0	82.4	0	17.6	11.8	88.2	0
ピアノ・バイオリン等おけいこ教室発表会	55.7	44.3	0	31.0	45.2	23.8	0	43.6	48.7
学校や地域の文化祭	81.8	18.2	0	33.3	22.2	44.4	11.1	77.8	11.1
ピアノ・日本舞踊・バレエ等の教室	58.3	41.7	6.7	28.4	48.3	16.7	8.8	45.6	40.4
地域住民による趣味団体	66.7	33.3	0	77.7	11.1	11.1	33.3	55.6	11.1
幼稚園・小学校・中学校の教室やクラブ	63.6	36.4	0	57.1	14.3	28.6	28.6	71.4	0
高等学校・大学のサークル	79.7	20.3	2.0	51.0	20.4	26.5	14.3	63.3	22.4
一般同好団体	73.1	26.9	0	55.0	25.0	20.0	0	77.8	16.7
専門家	48.9	51.1	5.0	5.0	30.0	60.0	60.0	30.4	4.3

単位は演目別、団体別 ごとの百分率	仕込みはいつ行ったか			仕込みにかかった時間			仕込みの時間の 満足度		あとかたづけにかかった時間			あとかたづけの時間の 満足度	
	舞台稽古 と別時間	職員があ らかじめ	舞台稽古 と平行	3時間以 上	1~3時 間	1時間以 内	足りない	満足	60分以 上	30分~ 60分	30分以 内	足りない	満足
演劇・ミュージカル・オペラ等	69.2	0	26.9	48.1	37.0	14.8	46.2	53.8	27.6	65.5	6.9	51.7	48.3
バレエ・現代舞踊	62.5	0	31.3	31.3	62.5	6.3	53.9	46.1	26.7	73.3	0	53.3	46.7
民謡・おどり・日本舞踊等	50.0	22.7	9.1	9.6	42.9	47.6	39.1	60.9	13.0	69.5	17.4	31.8	68.2
ポピュラー音楽コンサート	75.0	4.5	20.5	34.0	54.5	11.4	51.2	48.8	20.9	72.1	7.0	62.8	37.2
クラシック音楽コンサート	30.6	11.1	50.0	8.4	19.4	72.3	20.0	80.0	0	37.8	62.2	50.0	50.0
合唱・独唱	37.5	16.7	37.5	16.7	33.3	50.0	36.4	63.6	0	45.8	54.2	50.0	50.0
ピアノ・バイオリン等お けいこ教室発表会	21.9	27.4	41.1	4.2	16.9	78.9	30.8	69.2	4.7	38.8	56.5	39.5	60.5
学校や地域の文化祭	40.0	30.0	30.0	10.0	30.0	60.0	55.5	44.5	9.1	54.6	36.4	27.3	72.7
ピアノ・日本舞踊・バレ エ等の教室	31.7	22.1	35.6	10.7	25.2	64.1	34.4	65.4	8.7	45.2	46.1	41.4	58.6
地域住民による趣味団体	33.3	33.3	20.0	20.0	26.7	53.3	56.3	43.8	11.1	55.5	33.4	23.5	76.5
幼稚園・小学校・中学校 の教室やクラブ	30.0	50.0	10.0	0	30.0	70.0	50.0	50.0	7.7	61.6	30.8	30.8	69.2
高等学校・大学のサークル	60.6	4.5	30.3	33.3	43.9	22.7	46.2	53.8	11.9	70.2	17.9	62.7	37.3
一般同好団体	44.4	7.4	40.7	19.2	42.3	38.5	52.0	48.0	11.1	48.1	40.7	40.7	59.3
専門家	61.7	2.1	36.2	22.9	39.6	37.5	24.4	75.6	21.7	50.0	28.3	53.3	46.7

単位は演目別、団体別ごとの 百分率	舞台監督は誰が行ったか (注) その他はのぞく			舞台作業スタッフはどうしたか			照明スタッフはどうしたか			電気音響スタッフはどうしたか		
	専門の職 は不必要	メンバー の専門職	専門の職 者に依頼	専門の業 者に依頼	メンバー 自ら	ホールの 職員	専門の業 者に依頼	メンバー 自ら	ホールの 職員	専門の業 者に依頼	メンバー 自ら	ホールの 職員
演劇・ミュージカル・オペラ等	37.0	55.6	7.4	19.2	80.8	0	25.9	63.0	11.1	18.5	77.8	3.7
バレエ・現代舞踊	25.0	18.8	56.3	75.0	25.0	0	81.3	6.3	12.5	56.3	37.5	6.3
民謡・おどり・日本舞踊等	47.8	47.8	0	9.1	81.8	9.1	13.6	31.8	54.5	8.7	39.1	52.2
ポピュラー音楽コンサート	40.9	52.3	4.5	16.3	83.7	0	22.7	68.2	9.1	68.2	31.8	0
クラシック音楽コンサート	68.8	28.1	0	0	81.8	18.2	0	57.1	42.9	13.8	62.1	24.1
合唱・独唱	66.7	29.2	0	14.3	71.4	14.3	8.3	45.8	45.8	9.5	61.9	28.6
ピアノ・バイオリン等おけいこ 教室発表会	76.7	21.9	0	8.7	69.6	21.7	1.3	40.3	58.4	3.0	41.8	55.2
学校や地域の文化祭	54.5	36.4	9.1	0	72.7	27.3	0	72.7	27.3	9.1	72.7	18.2
ピアノ・日本舞踊・バレエ等の 教室	69.2	22.1	7.7	18.0	65.0	17.0	13.9	34.3	51.9	11.3	43.3	45.4
地或住民による趣味団体	52.9	35.3	5.9	20.0	73.3	6.7	12.5	31.3	56.3	23.5	35.3	41.2
幼稚園・小学校・中学校の教室 やクラブ	81.8	18.2	0	0	72.7	27.3	0	54.5	45.5	9.1	54.5	36.4
高等学校・大学のサークル	44.8	49.3	3.0	10.9	85.9	3.1	16.7	65.2	18.2	40.6	51.6	7.8
一般同好団体	61.5	38.5	0	11.5	84.6	3.8	7.4	51.9	40.7	33.3	45.8	20.8
専門家	37.2	51.2	9.3	11.6	76.7	11.6	22.2	57.8	20.0	14.3	71.4	14.3

### 3)-b) 公演までの稽古活動

ここでは、アンケートの対象となった団体が、区民会館における上演までに、11かなる稽古活動を行い、かつ、それらの稽古活動が演目の種類や団体の種類によつて、11かなる相違点があるかまとめた。(表3-28~表3-30)<sup>\*1)</sup>ここに、11くつかの特徴をまとめる。

\*1) P378~P379

- 1) 稽古は概ね、公演の3ヶ月~1年ぐらゐ前に始められる。演目別に見ると、バレエ・現代舞踊、民謡・おどろ・日本舞踊、各種コンサートなどが長い稽古期間をとる。団体別に見ると、地域住民による趣味団体、高等学校・大学のサークル等が長く、専門家は短い傾向にある。
- 2) 稽古の頻度をみると、民謡・おどろ・日本舞踊やピアノ・バイオリン等おけいこ教室などの習いものは、週に1~2回程度の定期的な稽古を行い、反対に演劇は週に5日以上集中的な稽古をするものが多い。どちらかという定期的な稽古はその開始時期がはやく、息の長い稽古期間をとるのに対して集中的な稽古の場合には稽古期間が比較的短かいのが特徴である。後者は特に専門家に多く見られる。
- 3) 稽古日数については大きな巾があり100日以上も費した団体から、25日以内のものまで、ほぼ均等に分布している。しかし全体としては100日を越えるケースは少ない。演目別に見ると、それぞれの演目の中でもばらつきが多いが、大きくみると、バレエ・現代舞踊がやや多くの稽古日数をかけ、反対に演劇は比較的少ない稽古日数となっている。団体の種類では、しろうとより専門家のほうが稽古日数が少ない。これは専門家は基礎技術をすでに身につけているのと経済的な理由によるものと推察される。
- 4) 稽古の時間帯は午前中に行うものは幼稚園・小学校・中学校の教室をのぞいてはほとんどなく、主として昼に集中しており、

また夜の稽古もかなり見られる。夜の稽古の多い演目は、演劇、民謡・おどり・日本舞踊、ホピュラーコンサートなどで、団体別では地域住民による趣味団体、高等学校・大学のサークル、一般同好団体である。専門家はいろいろな時間帯にまたがって稽古をする傾向がうかがえる。

5) 専用の稽古場は全体の57%が持っていると言っているが、上演種別にみると、バレエ・現代舞踊、民謡・おどり・日本舞踊の所有率が高く、演劇、ホピュラー音楽コンサート、クラシック音楽コンサートの所有率が低い。団体別には一般同好団体の所有が低い。

6) 当該公演のため特別に稽古場を借りたと答えたのは全体の約28%であるが、中でも演劇、民謡・おどり・日本舞踊、ホピュラー音楽コンサート関係の団体の借用率が高い。団体別にみると、地域住民による趣味団体、一般同好会、専門家が多くの稽古場を借りている。

7) 稽古場の借用にはかなりの困難がともなうようである。特に演劇、バレエ・現代舞踊、クラシック音楽コンサート、学校や地域の文化祭の場合にそれが自立。その困難な理由の主なものは図3-61に示したとおりである。

8) 公共施設に稽古場があると便利かという質問には、全ての団体で、便利であると答えた率が圧倒的に高い。その中で、演劇・ミュージカル、バレエ・現代舞踊、クラシック音楽コンサート、学校や地域の文化祭というジャンル、あるいは、幼稚園・小学校・中学校の教室やクラブ、専門家という団体の種類では、舞台の広さの大きな稽古場を希望し、その他は、学校の教室程度の広さの稽古場を希望している。

ここに見るように、専門家の活動にせよ、しろうとの活動にせよ、いかなる演目を上演する場合にも、そのためには長い稽古期間が必要であることが確認された。しかし、その内容については、演目の種類によって大きな差異があることも認められた。公共施設としての稽古場の要求も強く見られる。



単位は演目別、団体別 ごとの百分率	稽古を開始したのは公演の 何ヶ月前か			稽古の延べ日数			稽古の時間帯				稽古の頻度 (注) 週1回未満ははぶく		
	半年以前	3ヶ月前 ～半年前	3ヶ月前 以内	100日 以上	50日～ 100日	50日以下	朝	昼	夜	複数の時間 帯	週に1日 ～2日	週に3日 ～4日	週に5日 以上
演劇・ミュージカル・オペラ等	40.0	15.0	45.0	16.7	16.7	66.6	0	28.4	41.2	29.4	31.3	31.3	37.6
バレエ・現代舞踊	66.7	33.7	0	13.3	73.3	13.3	6.7	80.0	13.3	0	46.7	46.7	6.7
民謡・おどり・日本舞踊等	65.2	26.1	8.7	22.7	40.9	36.4	0	30.0	35.0	35.0	80.9	9.6	9.6
ポピュラー音楽コンサート	46.3	31.7	22.0	15.0	32.5	52.5	5.0	62.5	25.0	7.5	40.0	42.5	15.0
クラシック音楽コンサート	41.6	25.0	33.3	33.3	16.6	50.0	4.3	56.5	13.0	26.1	54.6	27.3	18.2
合唱・独唱	50.0	27.3	22.7	18.2	45.4	36.4	20.0	55.0	20.0	5.0	60.0	35.0	5.0
ピアノ・バイオリン等おけいこ教室発表会	22.1	55.8	22.1	14.7	45.5	37.9	0	91.5	1.4	7.0	83.5	12.0	4.5
学校や地域の文化祭	10.0	10.0	80.0	0	40.0	60.0	0	50.0	25.0	25.0	33.3	44.4	22.2
ピアノ・日本舞踊・バレエ等の教室	32.7	46.6	20.7	18.8	45.8	35.4	0	84.2	5.9	9.9	82.5	14.4	3.1
地域住民による趣味団体	64.7	23.5	11.8	18.8	25.0	56.2	21.4	21.4	35.7	21.4	86.7	6.7	0
幼稚園・小学校・中学校の教室やクラブ	37.5	0	62.5	0	50.0	50.0	40.0	60.0	0	0	16.7	83.3	0
高等学校・大学のサークル	49.2	32.3	18.5	26.2	41.5	32.3	1.6	68.3	23.8	6.3	33.3	44.5	22.2
一般同好団体	36.0	28.0	36.0	0	36.0	64.0	4.0	44.0	32.0	20.0	60.0	32.0	8.0
専門家	32.0	24.0	44.0	13.6	9.1	77.3	13.6	22.7	18.2	45.5	38.8	11.2	50.0

単位は演目別、団体別ごとの 百分率	専用稽古場の有無		専用稽古場の広さ			当該公演の為に稽古場を借用したか		借用した稽古場の広さ			稽古場確保の難易度	
	ある	ない	舞台の広さ	学校の教室程度	住宅の間程度	はい	いいえ	舞台の広さ	学校の教室程度	住宅の間程度	容易だった	困難だった
演劇・ミュージカル・オペラ等	41.7	58.3	30.0	40.0	10.0	63.2	36.7	25.0	66.7	8.3	28.6	71.4
バレエ・現代舞踊	86.7	13.3	23.1	61.5	7.7	35.7	64.3	60.0	20.0	0	40.0	60.0
民謡・おどり・日本舞踊等	81.0	19.0	0	17.6	70.6	50.0	50.0	18.2	54.5	9.1	60.0	40.0
ポピュラー音楽コンサート	40.5	59.5	29.4	29.4	29.4	48.7	51.3	5.3	52.6	31.6	82.8	17.2
クラシック音楽コンサート	44.0	56.0	27.3	36.4	36.4	18.2	81.8	0	25.0	50.0	50.0	50.0
合唱・独唱	59.1	40.9	7.7	76.9	15.4	14.3	85.7	0	100	0	76.9	23.1
ピアノ・バイオリン等おけいこ教室発表会	63.8	36.3	0	5.9	86.3	7.5	91.3	16.7	66.7	16.7	75.0	25.0
学校や地域の文化祭	60.0	40.0	0	83.3	0	20.0	80.0	0	100	0	50.0	50.0
ピアノ・日本舞踊・バレエ等の教室	68.8	31.2	2.7	14.7	76.0	16.5	82.6	27.8	50.0	16.7	69.2	30.8
地域住民による趣味団体	68.8	31.2	0	36.4	54.5	62.5	37.5	10.0	40.0	30.0	69.2	30.8
幼稚園・小学校・中学校の教室やクラブ	75.0	25.0	0	83.3	0	12.5	87.5	0	0	0	25.0	75.0
高等学校・大学のサークル	47.7	52.3	25.8	51.6	16.1	27.0	73.0	5.9	70.6	17.6	72.5	27.5
一般同好団体	32.0	68.0	0	62.5	37.5	45.8	54.2	18.2	54.5	18.2	64.7	35.3
専門家	51.5	48.5	37.5	18.8	18.8	50.0	50.0	18.2	63.6	18.2	38.5	61.5

表 3-30 単位は演目別、団体別ごとの百分率	公共施設の中に稽古場があると便利か		公共施設の中にはいい稽古場の広さ		
	はい	いいえ	舞台の広さ	学校の教室	住宅の広間程度
演劇・ミュージカル・オペラ等	92.3	7.7	62.5	33.3	0
バレエ・現代舞踊	86.7	13.3	92.3	7.7	0
民謡・おどり・日本舞踊等	90.5	9.5	36.8	42.1	10.5
ポピュラー音楽コンサート	82.5	17.5	29.4	61.8	8.8
クラシック音楽コンサート	86.4	13.6	44.4	44.4	11.1
合唱・独唱	77.3	22.7	37.5	62.5	0
ピアノ・バイオリン等 おけいこ教室発表会	56.7	43.3	24.3	62.2	10.8
学校や地域の文化祭	81.8	18.2	62.5	37.5	0
ピアノ・日本舞踊・バレエ等の教室	66.7	33.3	35.9	51.6	10.9
地域住民による趣味団体	86.7	13.3	16.7	50.0	16.7
幼稚園・小学校・中学校の教室やクラブ	77.8	22.2	66.7	33.3	0
高等学校・大学のクラブ	65.9	14.1	44.4	51.9	3.7
一般同好団体	89.8	19.2	14.3	78.2	9.5
専門家	99.3	9.7	78.6	17.9	0

#### 4) まとめ

本調査の結果をまとめると次のようになる。

1) 四会館とも、各種の催し物に対して、分け入たなく利用できる多目的な貸ホールとして計画されている。しかし、極めて大がかりに見ると、それぞれの会館の規模、設備内容が利用者の範囲を定める一種の「ふるい」のような機能を果たし、どこでの上演種目にある制限を与えている様子が読みとれた。最も重要な要素は客席規模であり、規模の大きく異なる世田谷区民会館と、他の三館とは、その利用内容に大きな違いが見られる。設備も、「ふるい」として機能していると認められ、同程度の客席数でも設備内容の異なる烏山区民センターと、他の二館(玉川区民会館、砧区民会館)とは利用状況がかなり異なる。

\*1)

2節「東京都における舞台  
芸術活動と文化会館」  
表3-17

2) 全館とも、いわゆるプロの公演というよりもしるうとの発表会に主として利用される。前節の表3-17から、世田谷区の区民会館における昭和55年1年間における「ふあ」に載せられた広義の演劇活動を拾い出すと、世田谷区民会館では、演目数6、公演数12、烏山区民センターでは演目数7、公演数23、砧区民会館では演目数2、公演数2、玉川区民会館では演目数3、公演数3である。(ただし、音楽活動は含まれていない。) 烏山区民センターは都内では8番目に演劇活動の利用頻度が高く、(公演数比較)この意味では、都内でも有数の一般客を対象とした、つまり、プロ的指向を持つ公演の多いホールであるといえる。しかし、ここでも、館の年間活動を通して見たメーターとしては、しるうと用の施設の色彩が強い。

3) 四つの会館とも、施設の内容(舞台の広さ、楽屋、舞台設備)については、現在の上演技術の水準に合わなくなっている。このことはほぼ全てのジャンルについていえる。ここで重要なのは、施設設備は、その絶対値の比較で優劣が決まるというよりも、その施設規模に合せた、全体のシステム全体のバランスがより評価に影響を

よえるということである。

4) 上演種目の種類によって、出演者の数やそれに対応する楽屋の規模、適正な客席数、適正な舞台設備、稽古や上演の方式等に大きな差異がある。現在のような二タイプ四館(高山区民会館をさらに一タイプと考之れば三タイプ)では、これから全ての要求を十分に満たすことには無理があり、どの会館も能力以上の要求が過剰になるという嫌いがある。今後、これらの要求を軽減する方向に持ってゆくべきである。このためには、ホール側がより積極的に、そこでの上演が適切な演目と、会館借用者に対しては、きりと表明してゆく必要があると思われる。東京都内に今日、多数のホールが存在している今日、特定の館が、特定の演目に焦点をあてた運用を行っても、全体的に見れば、利用者の自由な利用を妨げるものではない。むしろ、利用者にとっても選択の目安が与えられて好ましいと考える。

5) 上記と少し矛盾した記述になるが、あるひとつのジャンル、たとえば音楽の中でも、多様な要求があり、ジャンルを限定したからといって、直ちに、それに対応する規模や設備内容を一律に決められるとは言い難い。たとえば、クラシック音楽コンサートの中にも、極めて小規模な施設を好む指向と、大規模な施設を望む指向とが見つけられる。また逆に、異なるジャンルに所属しているものでも、類似の指向を示すものもある。たとえば、ポピュラー音楽コンサートは、その舞台設備については、同じ音楽のジャンルのクラシック音楽コンサートよりは、むしろ、演劇に近い側面ももっている。従ってあまりにも画一的なジャンル設定は、ホール計画に大きな落とし穴をつくる危険がある。あまりにも画一的なジャンル設定とは、たとえば、単に、音楽、演劇、舞踊などと細かな考察をせずに分類してしまうことを指す。

6) 700のホール利用形態としろうとの利用形態には、やはり、質的な差異がありこれも会館の運用上の混乱の一因になっていると思わ

れる。今後、この質的差異を会館の運用にいかに対処させてゆくか検討する必要がある。

⑦利用者にとって公共ホールのイメージが弱い。どうしても便利屋的な存在で、特徴がなく主張が弱い。従って区民の文化活動への訴えかける効果に欠ける。民間の小劇場が、施設の設備条件の悪さを、その企画力でカバーしているのは対照的である。もっとホールの存在を主張する工夫をしたい。

⑧ホールでの上演に至るまでに、利用者は長期間にわたる稽古活動を行っている。しかし、この活動は、稽古場不足により必ずしも順調に行われていない。今までのホールは、発表の場を提供するのみであったが、今後はこうした発表に至るまでの過程にまで配慮の行きとどいた文化行政が望まれる。ただし、稽古のスタイルは演目や団体の種類によって差異が認められる。従ってこれらの点も充分に考慮されねばならない。

このように、大きくみて世田谷区の文化会館のあり方は施設の老朽化も含めて、ひとつの曲がり角にあると考えられる。今、最も必要なのは、ホールの個性をいかに利用者にアピールできるかという点にあると思われる。現在のホールは、多様な要求に対して、あまりに画一的でありすぎる。